

医療に関する市民アンケート調査
【調査報告書】

令和3年（2021年）3月
吹田市

目 次

I. 調査概要.....	1
1. 調査の目的.....	1
2. 調査の概要.....	1
3. 報告書の見方.....	1
4. 信頼区間について.....	2
II. 調査結果.....	3
1. 回答者属性.....	3
2. 医療機関の役割分担・選定療養費について.....	8
3. かかりつけ医について.....	13
4. かかりつけ歯科医について.....	21
5. かかりつけ薬局について.....	23
6. かかりつけ医等と他項目との相関関係について.....	25
7. お薬手帳・ジェネリック医薬品について.....	27
8. 在宅医療について.....	32
9. 救急医療について.....	43
10. 医療の充実について.....	46
11. 自由回答.....	47
III. 調査結果からみた課題.....	50
1. 医療機関の役割分担について.....	50
2. かかりつけ医等について.....	51
3. 在宅医療について.....	53
4. 救急医療・医療の充実について.....	55
IV. 資料.....	56
1. クロス集計結果（性別・年齢別・地域別）.....	56
2. アンケート調査票.....	69

I. 調査概要

1. 調査の目的

本調査は、在宅医療をはじめとした地域医療を本市において推進するための基礎資料として、医療機関の役割分担やかかりつけ医など、医療制度に関する意識や医療に対するニーズ等の情報を把握することを目的として実施しました。

2. 調査の概要

調査対象者	吹田市に在住する20歳以上の男女
配布数	3,000人
抽出方法	無作為抽出
調査方法	郵送配布・郵送回収
回収数	1,852人
回収率	61.7%
調査期間	令和2年(2020年)11月5日～令和2年(2020年)11月23日

3. 報告書の見方

- 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答(複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式)であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。
- 複数回答(複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式)の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- 図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判断が困難なものです。
- 図表中の「N (number of case)」は、集計対象者総数(あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人)を表しています。
- 本文中の設問の選択肢は簡略化している場合があります。

4. 信頼区間について

アンケート調査においては、アンケート回答者（標本）の回答傾向と、母集団の回答傾向との間に一定の誤差（標本誤差）が生じます。誤差の範囲は、母集団の大きさ、標本数、回答率と信頼度（算出された範囲に誤差が収まる確率）から統計的に求めることが可能です。

信頼度を社会調査において一般的な 95%とした場合の標本誤差は、以下の数式によって求めることができます。

$$E = \pm 1.96 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}}$$

E=標本誤差
 N=母集団（20歳以上男女の総数）
 n=回答者総数
 P=回答比率

本調査における標本誤差は以下の表の通りとなります。信頼区間は、下表の数値を本調査の回答率の値（%）の前後に加えた範囲となります。

N（人）※	305,360									
n（人）	1,852									
P（%）	5.0	10.0	15.0	20.0	25.0	30.0	35.0	40.0	45.0	50.0
	95.0	90.0	85.0	80.0	75.0	70.0	65.0	60.0	55.0	50.0
E（%）	1.0	1.4	1.6	1.8	2.0	2.1	2.2	2.2	2.3	2.3

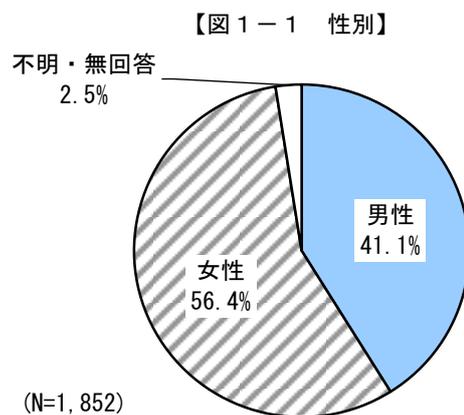
※吹田市住民基本台帳（令和2年（2020年）11月末）による20歳以上の人口

Ⅱ. 調査結果

1. 回答者属性

(1) 性別

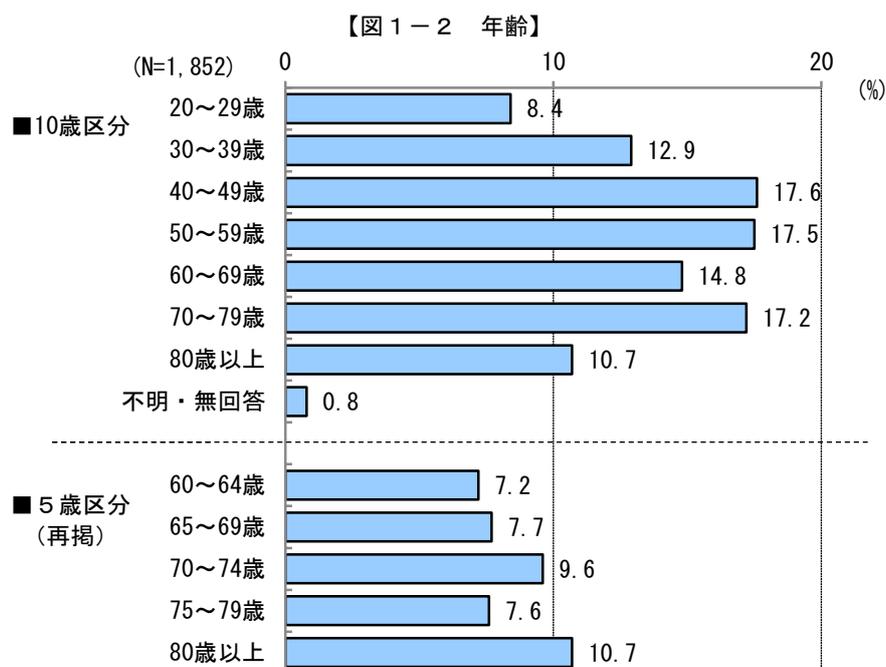
問1 あなたの性別を教えてください。



性別についてみると、「男性」が41.1%、「女性」が56.4%となっています。

(2) 年齢

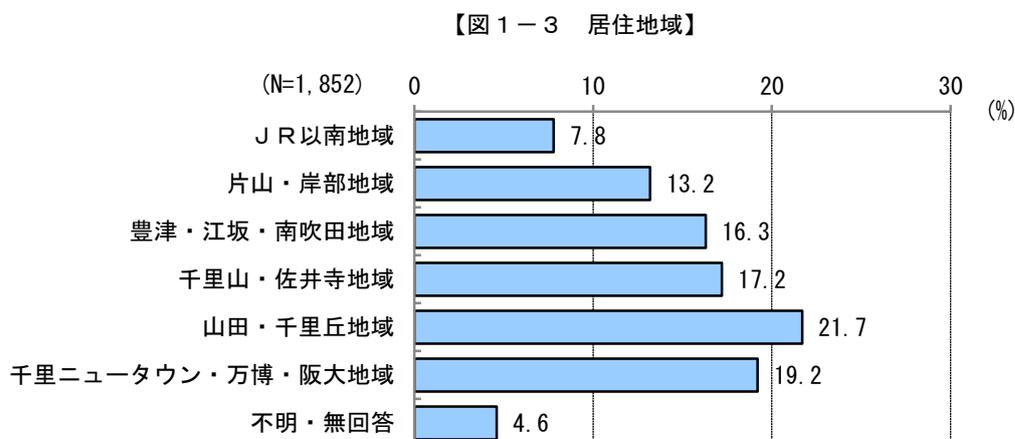
問2 あなたの年齢（令和2年11月1日現在）を教えてください。



年齢についてみてみると、「40～49歳」が17.6%と最も高く、次いで、「50～59歳」が17.5%、「70～79歳」が17.2%となっています。

(3) 居住地域

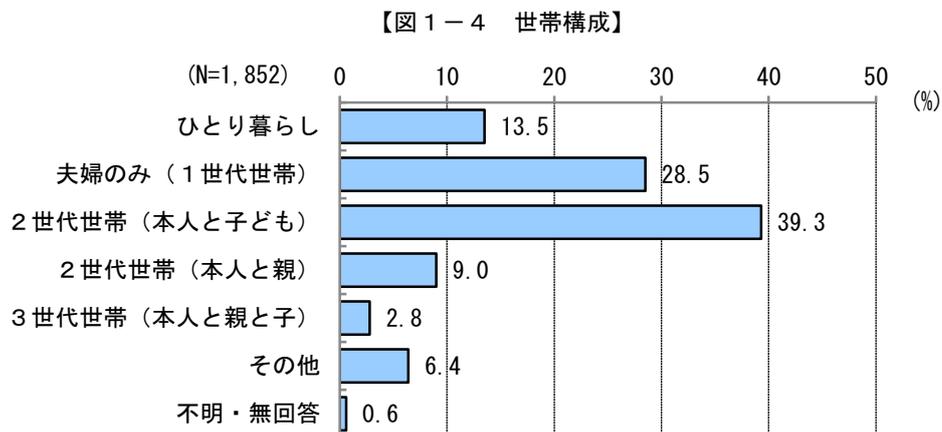
問3 あなたは現在、どの地域にお住まいですか。



居住地域についてみると、「山田・千里丘地域」が21.7%と最も高く、次いで、「千里ニュータウン・万博・阪大地域」が19.2%、「千里山・佐井寺地域」が17.2%となっています。

(4) 世帯構成

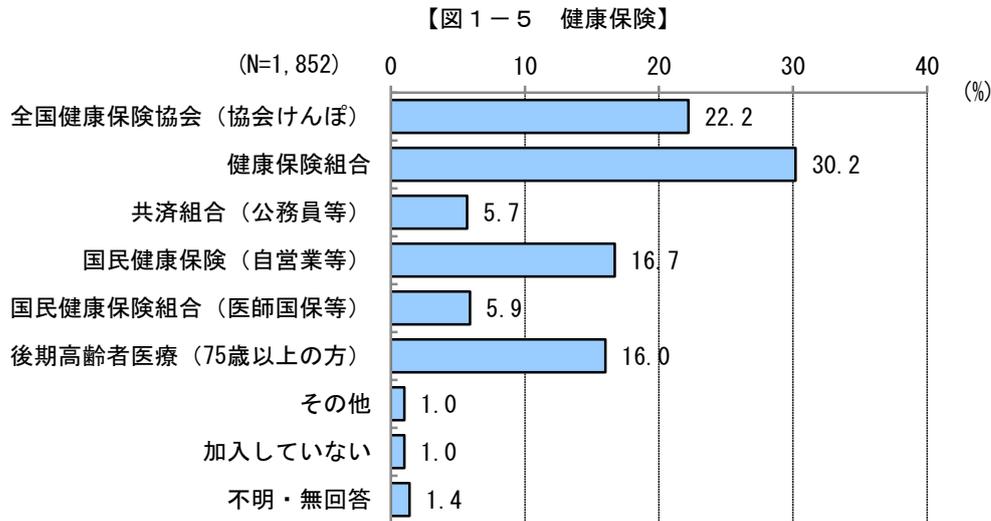
問4 あなたの世帯構成を教えてください。



世帯構成についてみると、「2世代世帯（本人と子ども）」が39.3%と最も高く、次いで、「夫婦のみ（1世代世帯）」が28.5%、「ひとり暮らし」が13.5%となっています。

(5) 健康保険

問5 あなたが加入している健康保険は、次のうちどれですか。

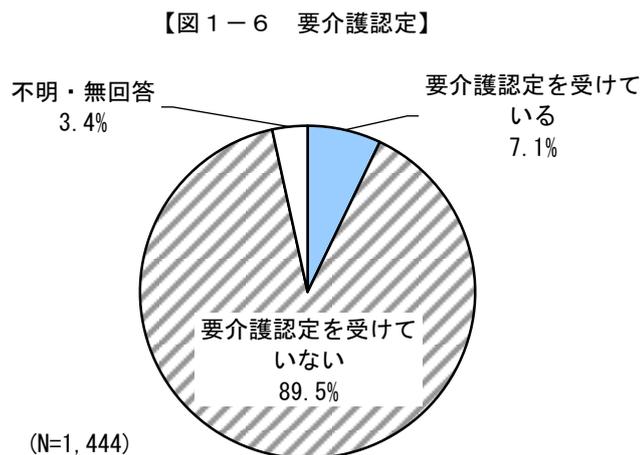


加入している健康保険についてみると、「健康保険組合」が30.2%と最も高く、次いで、「全国健康保険協会 (協会けんぽ)」が22.2%、「国民健康保険 (自営業等)」が16.7%となっています。

(6) 要介護認定

【40歳以上の方にお伺いします。】

問6 あなたは、介護保険の要介護認定を受けていますか。



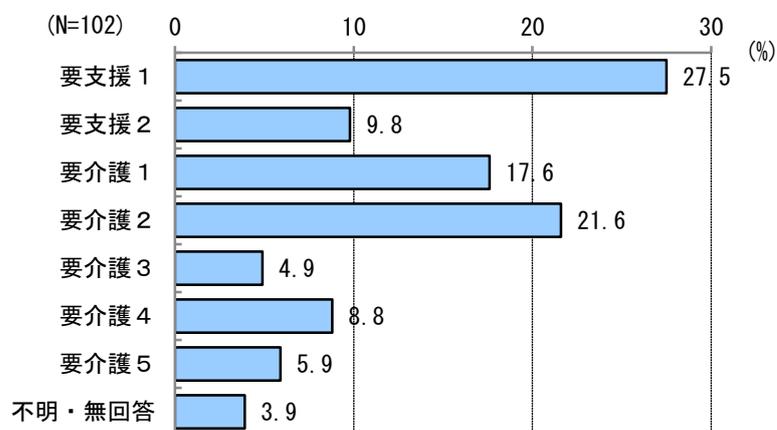
要介護認定の有無についてみると、「要介護認定を受けている」が7.1%、「要介護認定を受けていない」が89.5%となっています。

(7) 要介護度

【問6で「1. 要介護認定を受けている」を選択した方にお伺いします。】

問7 あなたの現在の要介護度を教えてください。

【図1-7 要介護度】

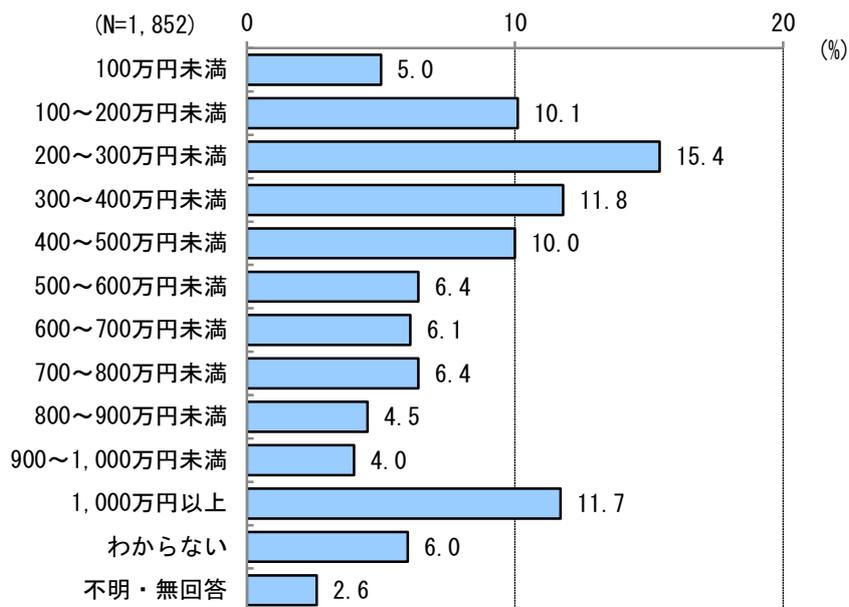


要支援・要介護度についてみると、「要支援1」が27.5%と最も高く、次いで、「要介護2」が21.6%、「要介護1」が17.6%となっています。

(8) 年間収入

問8 あなたの世帯の1年間の収入について教えてください。

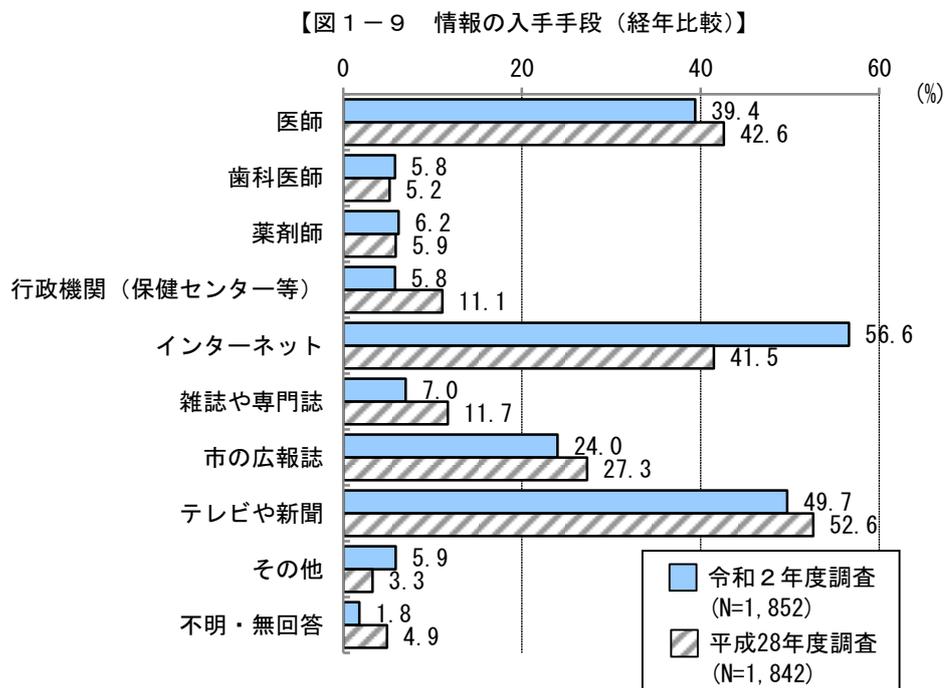
【図1-8 年間収入】



世帯の年間収入についてみると、「200~300万円未満」が15.4%と最も高く、次いで、「300~400万円未満」が11.8%、「1,000万円以上」が11.7%となっています。

(9) 情報の入手手段

問9 あなたは、医療に関する情報を何から知ることが多いですか。(複数回答)



医療に関する情報の入手手段についてみると、「インターネット」が56.6%と最も高く、次いで、「テレビや新聞」が49.7%、「医師」が39.4%となっています。

前回調査(平成28年度)と比較すると、「インターネット」が15.1ポイント上昇しています。医療情報を発信する手段としてインターネットを活用することがより重要になってきていることがわかります。

【図1-9-1 情報の入手手段(年齢別)】 ※上位3項目を掲載

	第1位	第2位	第3位
20歳～29歳 (N=156)	インターネット 83.3%	テレビや新聞 34.0%	医師 19.2%
30歳～39歳 (N=238)	インターネット 85.3%	テレビや新聞 37.8%	医師 26.1%
40歳～49歳 (N=326)	インターネット 81.0%	テレビや新聞 46.3%	医師 28.2%
50歳～59歳 (N=325)	インターネット 72.0%	テレビや新聞 48.9%	医師 37.5%
60歳～69歳 (N=275)	テレビや新聞 60.7%	インターネット 48.4%	医師 46.5%
70歳～79歳 (N=319)	テレビや新聞 58.0%	医師 57.7%	市の広報誌 34.8%
80歳以上 (N=199)	テレビや新聞 54.8%	医師 52.3%	市の広報誌 31.2%

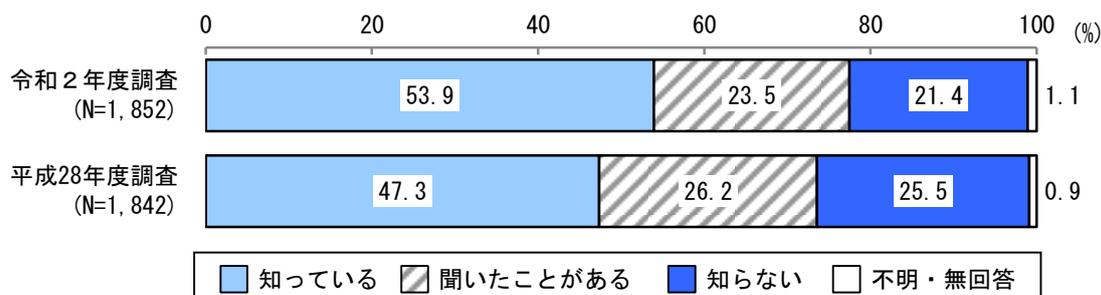
医療に関する情報の入手手段について、年齢別で見ると、60歳未満では「インターネット」、60歳以上では「テレビや新聞」の割合が最も高くなっています。

2. 医療機関の役割分担・選定療養費について

(1) 役割分担の認知度

問10 あなたは、医療機関には役割があり、役割に応じた医療機関を受診することが望ましいことを知っていますか。

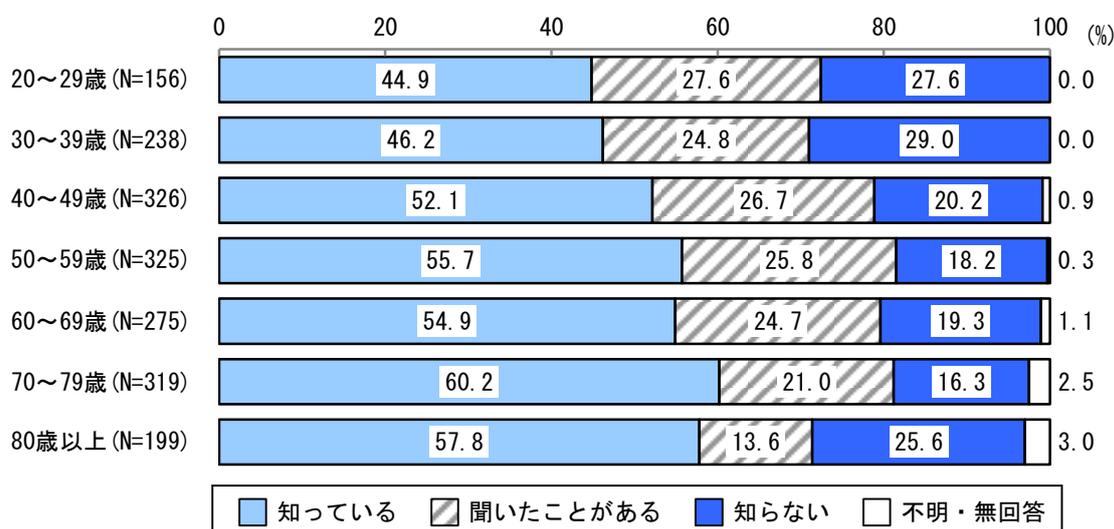
【図2-1 役割分担の認知度（経年比較）】



医療機関の役割分担の認知度についてみると、「知っている」が53.9%、「聞いたことがある」が23.5%、「知らない」が21.4%となっています。

前回調査（平成28年度）と比較すると、「知っている」が6.6ポイント上昇しています。

【図2-1-1 役割分担の認知度（年齢別）】

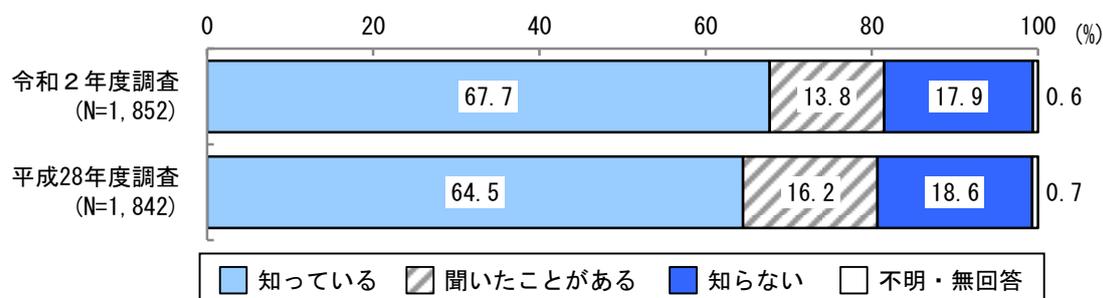


医療機関の役割分担の認知度について、年齢別で見ると、年齢層が上がるにつれて医療機関の役割分担について「知っている」の割合も高くなっており、70～79歳で60.2%と最も高くなっています。

(2) 初診時選定療養費

問 11 あなたは、医療機関からの紹介状なしで大規模病院を受診した場合には、通常の医療費だけでなく、初診時選定療養費が必要となることを知っていますか。

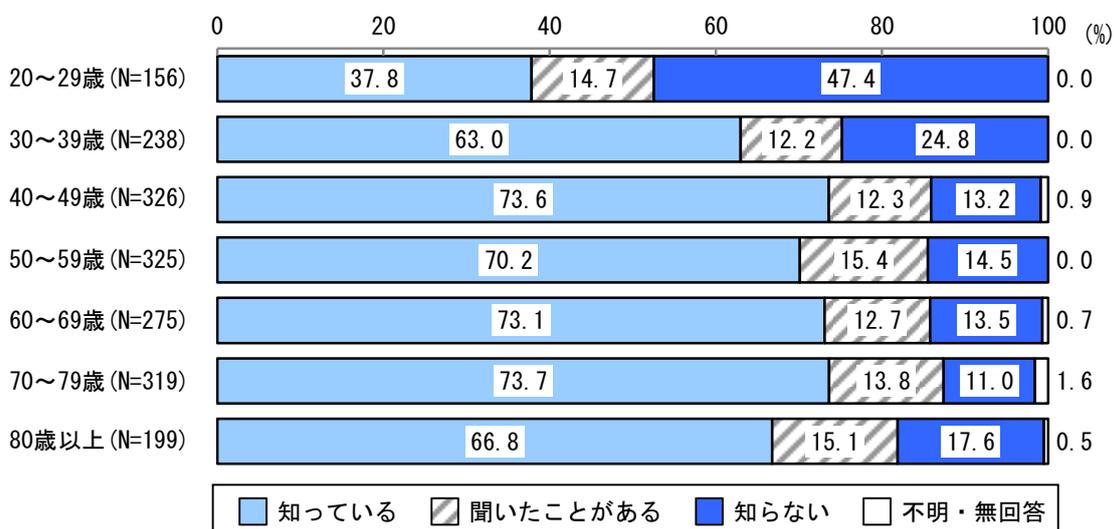
【図 2-2 初診時選定療養費（経年比較）】



初診時選定療養費の認知度についてみると、「知っている」が67.7%、「聞いたことがある」が13.8%、「知らない」が17.9%となっています。

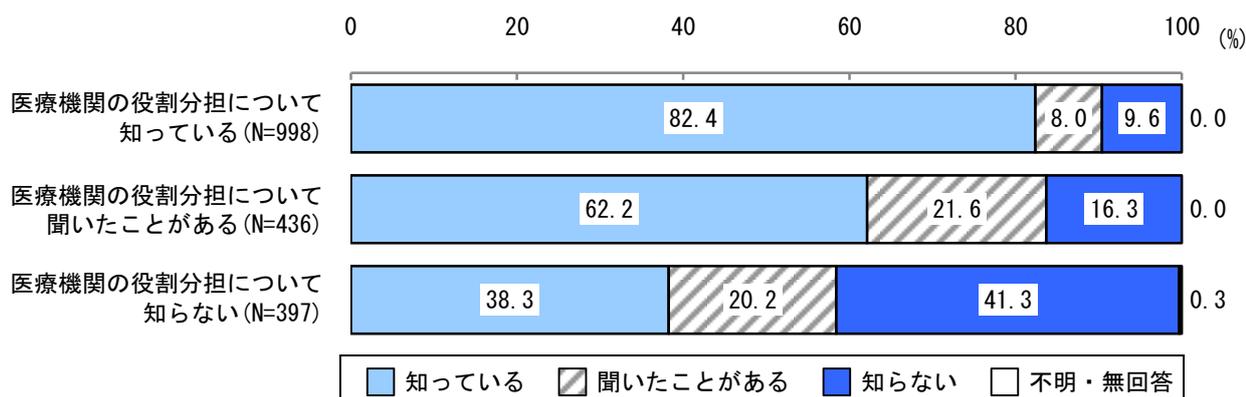
前回調査（平成28年度）と比較すると、「知っている」が3.2ポイント上昇しています。

【図 2-2-1 初診時選定療養費（年齢別）】



初診時選定療養費の認知度について、年齢別でみると、初診時選定療養費について「知っている」の割合は、20～29歳では4割弱（37.8%）、30歳以上では6割以上となっています。

【図 2-2-2 初診時選定療養費（役割分担の認知度別）】

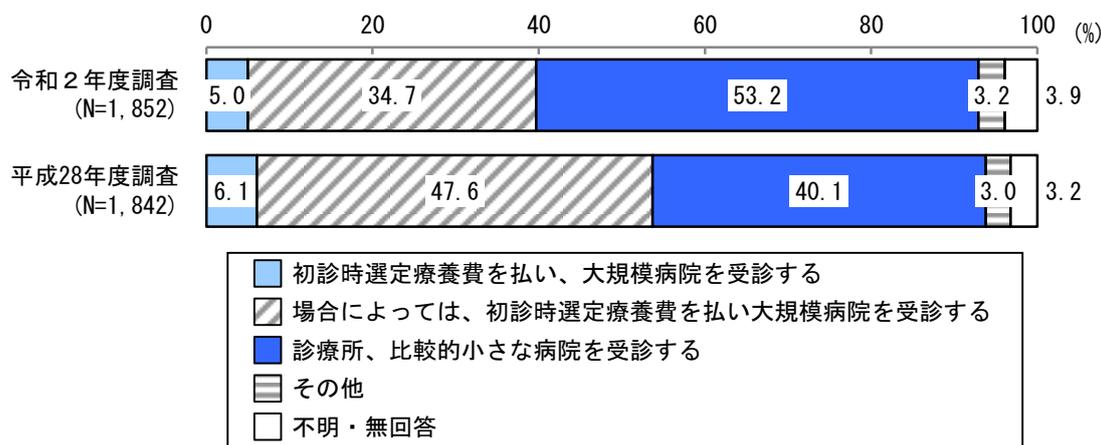


初診時選定療養費の認知度について、医療機関の役割分担の認知度別でみると、初診時選定療養費を「知っている」の割合は、医療機関の役割分担について「知っている」では 82.4%、医療機関の役割分担について「知らない」では 38.3%となっています。

(3) 初診時選定療養費と受診行動

問 12 医療機関からの紹介状なしで大規模病院を受診した場合には、通常の医療費だけでなく、初診時選定療養費が必要となります（救急搬送等を除く）が、この仕組みをふまえた上で、あなたが病気になった時の行動について教えてください。

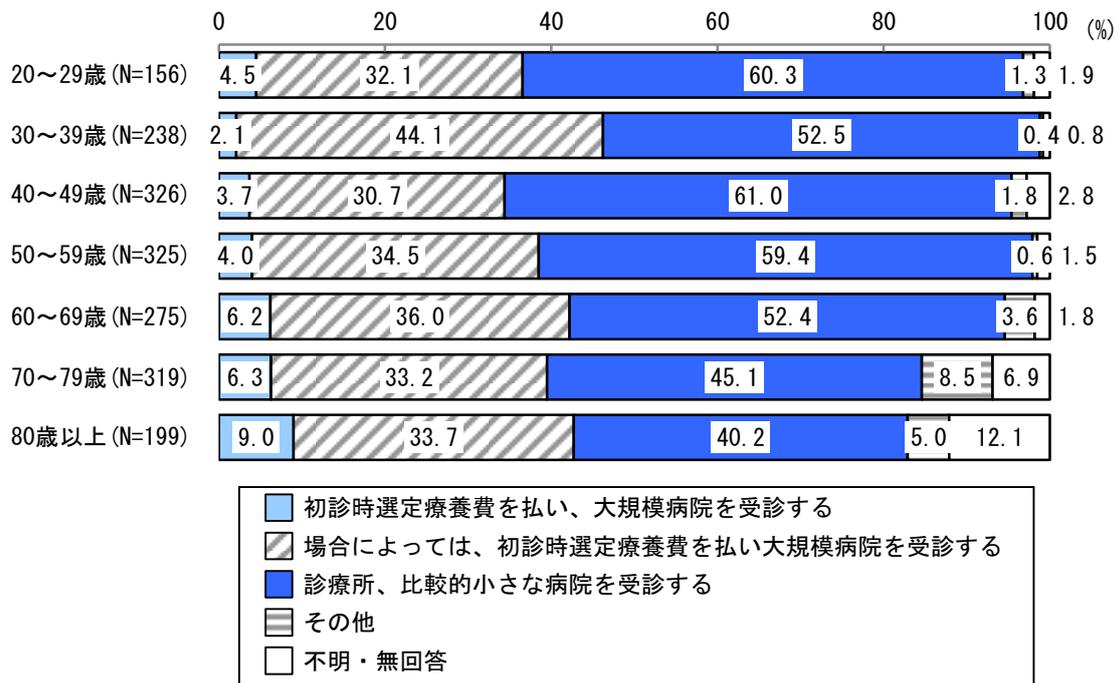
【図 2-3 初診時選定療養費と受診行動（経年比較）】



初診時選定療養費の仕組みをふまえた上での行動についてみると、「診療所、比較的小さな病院を受診する」が 53.2%と最も高く、次いで、「場合によっては、初診時選定療養費を払い大規模病院を受診する」が 34.7%となっています。

前回調査（平成 28 年度）と比較すると、「場合によっては、初診時選定療養費を払い大規模病院を受診する」が 12.9 ポイント下降し、「診療所、比較的小さな病院を受診する」が 13.1 ポイント上昇しています。このことから、医療機関の役割分担についての理解が進んでいるものと考えられます。

【図2-3-1 初診時選定療養費と受診行動（年齢別）】



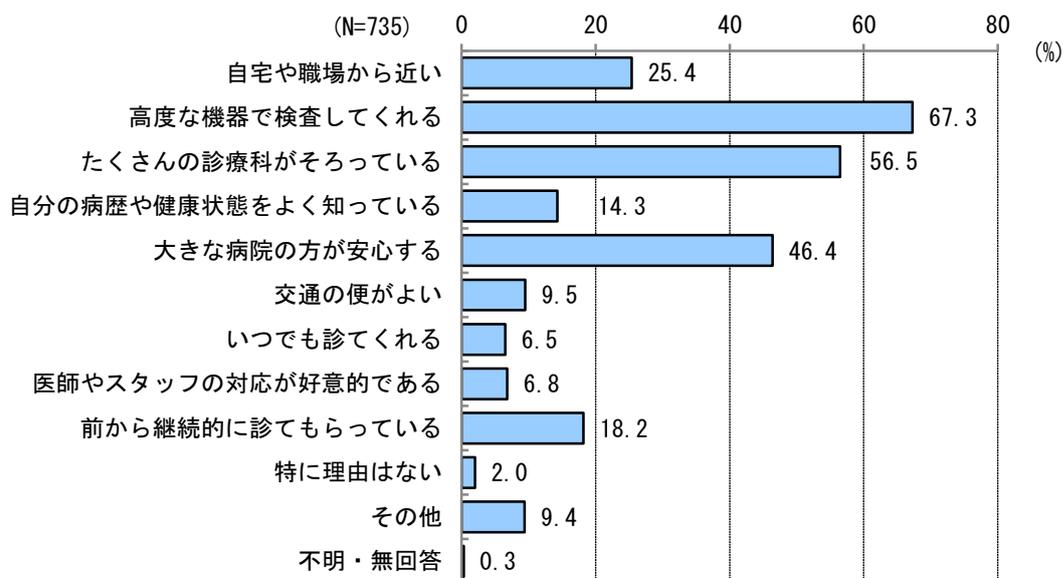
初診時選定療養費の仕組みをふまえた上での行動について、年齢別でみると、30～39歳において『初診時選定療養費を払い大規模病院を受診する（「場合によっては、初診時選定療養費を払い大規模病院を受診する」を含む）』の割合が46.2%と最も高くなっています。

(4) 大規模病院を受診する理由

【問12で「1. 初診時選定療養費を払い、大規模病院を受診する」または「2. 場合によっては、初診時選定療養費を払い大規模病院を受診する」を選択した方にお伺いします。】

問13 初診時選定療養費を払い、大規模病院を受診する理由について教えてください。
(複数回答)

【図2-4 大規模病院を受診する理由】



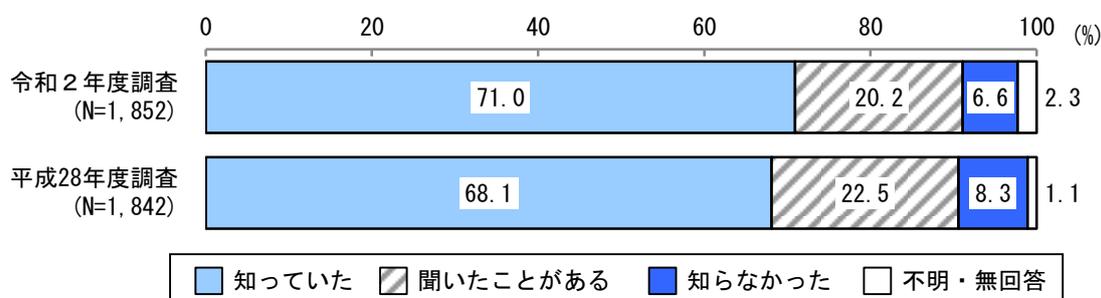
大規模病院を受診する理由についてみると、「高度な機器で検査してくれる」が67.3%と最も高く、次いで、「たくさんの診療科がそろっている」が56.5%、「大きな病院の方が安心する」が46.4%となっています。

3. かかりつけ医について

(1) かかりつけ医の認知度

問 14 あなたは、かかりつけ医という仕組みを知っていましたか。

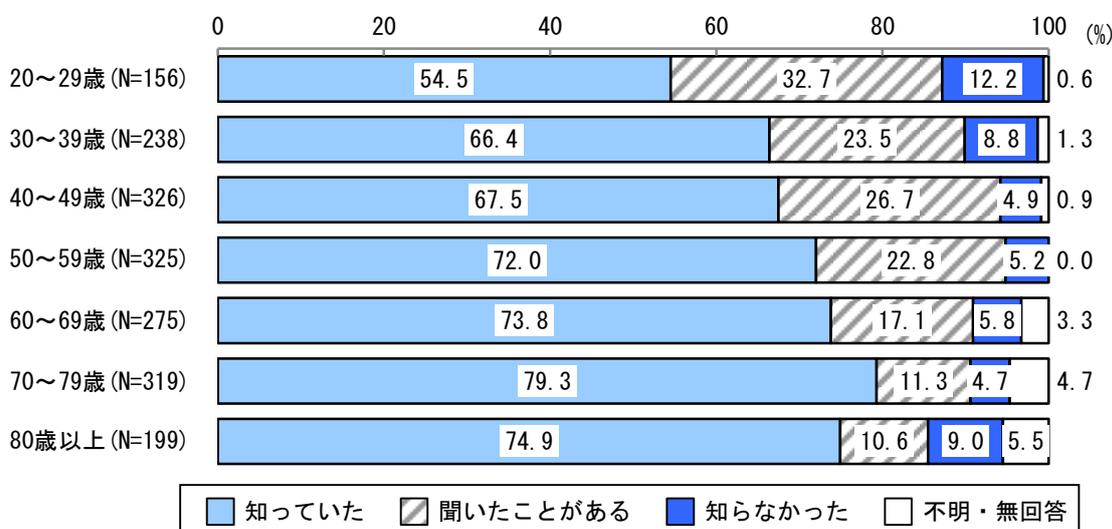
【図3-1 かかりつけ医の認知度（経年比較）】



かかりつけ医の仕組みの認知度についてみると、「知っている」が71.0%、「聞いたことがある」が20.2%、「知らなかった」が6.6%となっています。

前回調査（平成28年度）と比較すると、「知っている」が2.9ポイント上昇しています。

【図3-1-1 かかりつけ医の認知度（年齢別）】

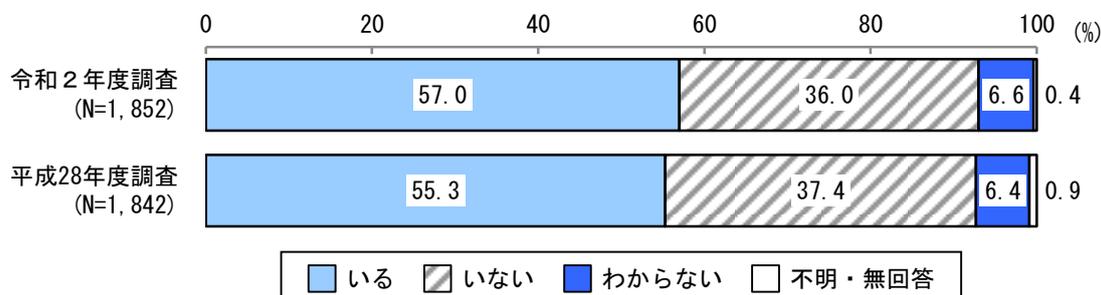


かかりつけ医の仕組みの認知度について、年齢別で見ると、年齢層が上がるにつれてかかりつけ医の仕組みを「知っている」の割合も高くなっており、70～79歳で79.3%と最も高くなっています。

(2) かかりつけ医の有無

問 15 あなたには、かかりつけ医がいますか。

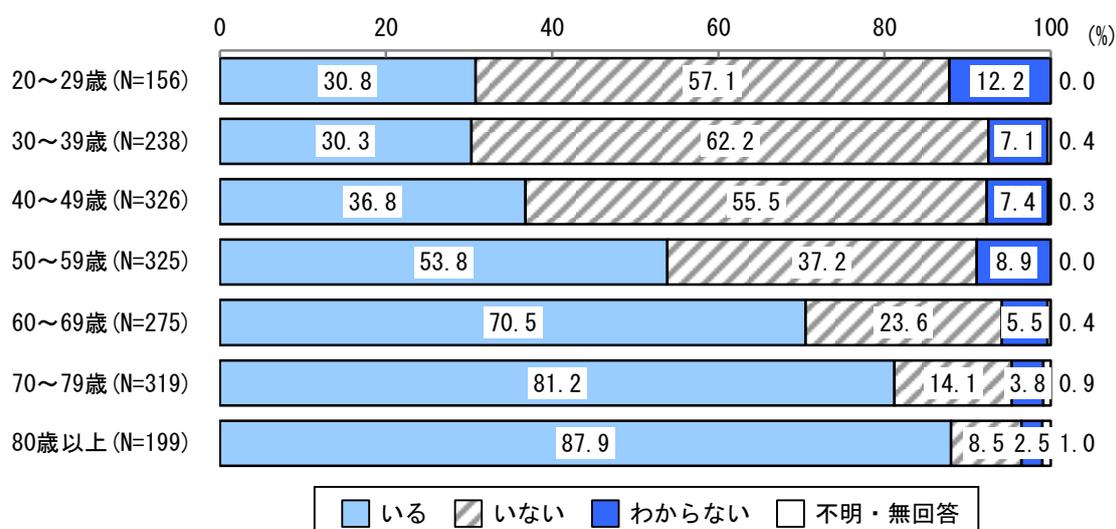
【図3-2 かかりつけ医の有無（経年比較）】



かかりつけ医の有無についてみると、「いる」が57.0%、「いない」が36.0%、「わからない」が6.6%となっています。

前回調査（平成28年度）と比較すると、「いる」が1.7ポイント上昇しています。

【図3-2-1 かかりつけ医の有無（年齢別）】

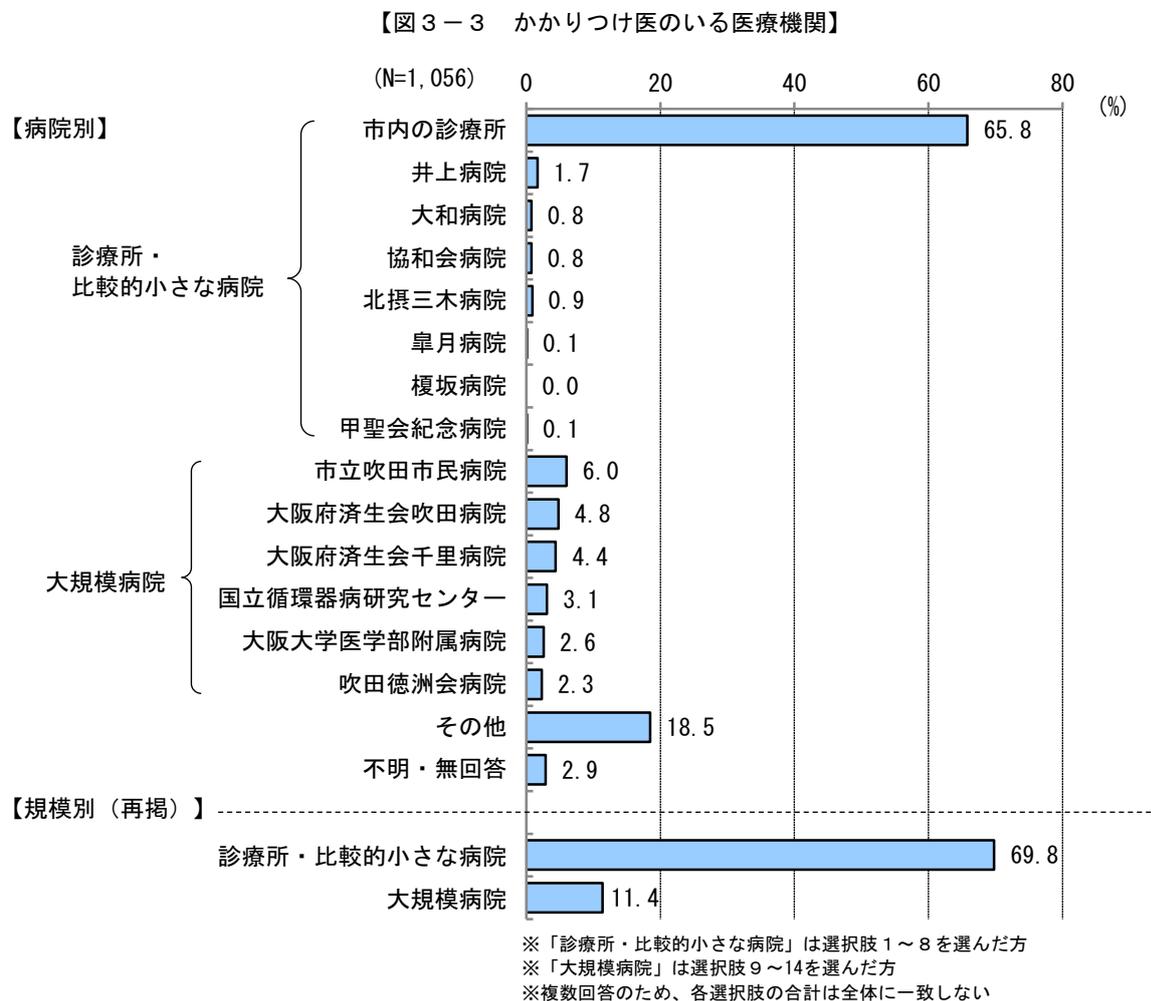


かかりつけ医の有無について、年齢別でみると、年齢が上がるにつれてかかりつけ医が「いる」の割合も高くなっており、80歳以上で87.9%と最も高くなっています。

(3) かかりつけ医のいる医療機関

【問15で「1. いる」を選択した方にお伺いします。】

問16 あなたのかかりつけ医は、どちらの医療機関におられますか。(複数回答)



かかりつけ医のいる医療機関についてみると、「市内の診療所」が65.8%と最も高くなっています。

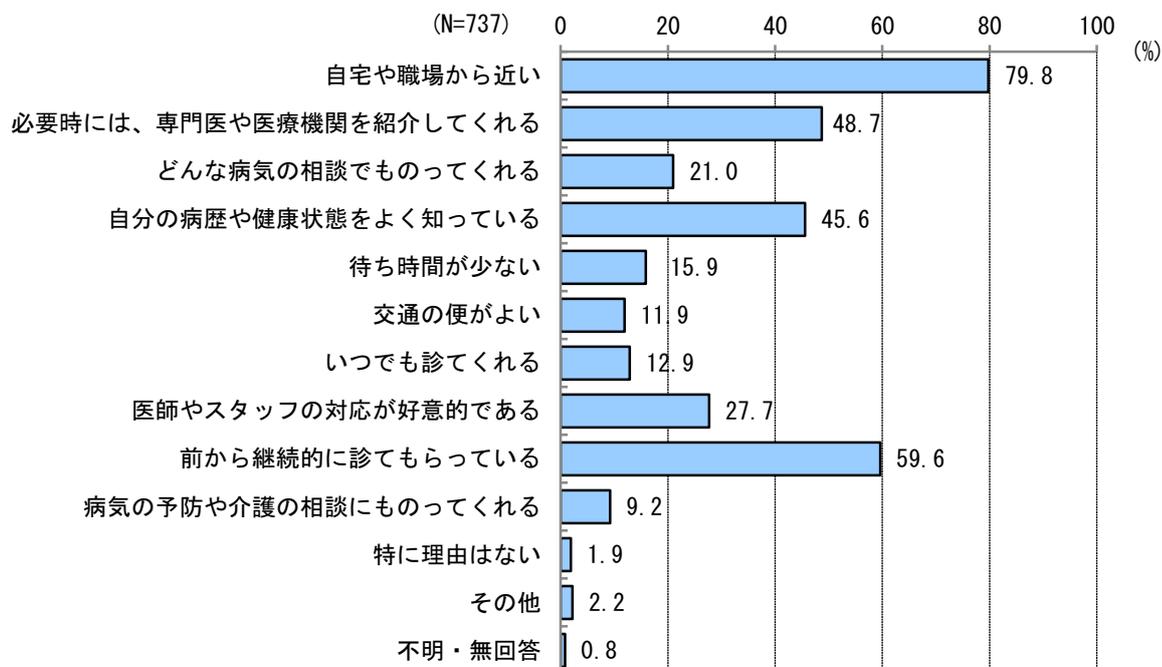
規模別では、『診療所・比較的小さな病院（「市内の診療所」～「甲聖会記念病院」）』は69.8%、『大規模病院（「市立吹田市民病院」～「吹田徳洲会病院」）』は11.4%となっています。

(4) 診療所・比較的小さな病院をかかりつけ医としている理由

【問 16 で選択肢 1～8 を選択した方にお伺いします。】

問 17 その医療機関の医師をかかりつけ医としている理由について教えてください。
(複数回答)

【図 3-4 診療所・比較的小さな病院をかかりつけ医としている理由】



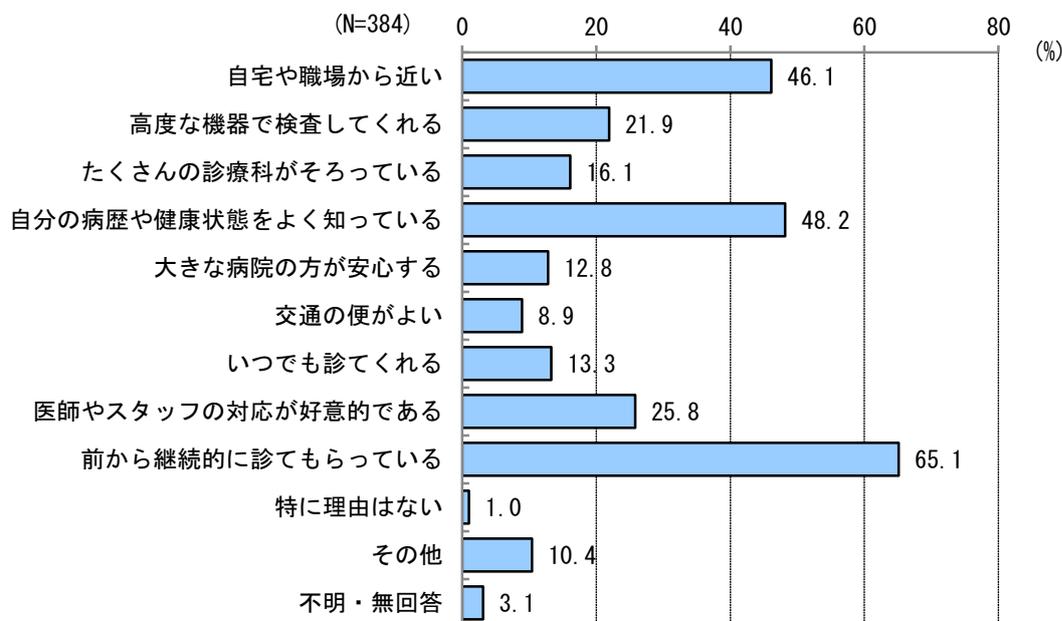
診療所や比較的小さな病院にかかりつけ医がいる理由についてみると、「自宅や職場から近い」が 79.8%と最も高く、次いで、「前から継続的に診てもらっている」が 59.6%、「必要時には、専門医や医療機関を紹介してくれる」が 48.7%となっています。

(5) 大規模病院をかかりつけ医としている理由

【問 16 で選択肢 9～15 を選択した方にお伺いします。】

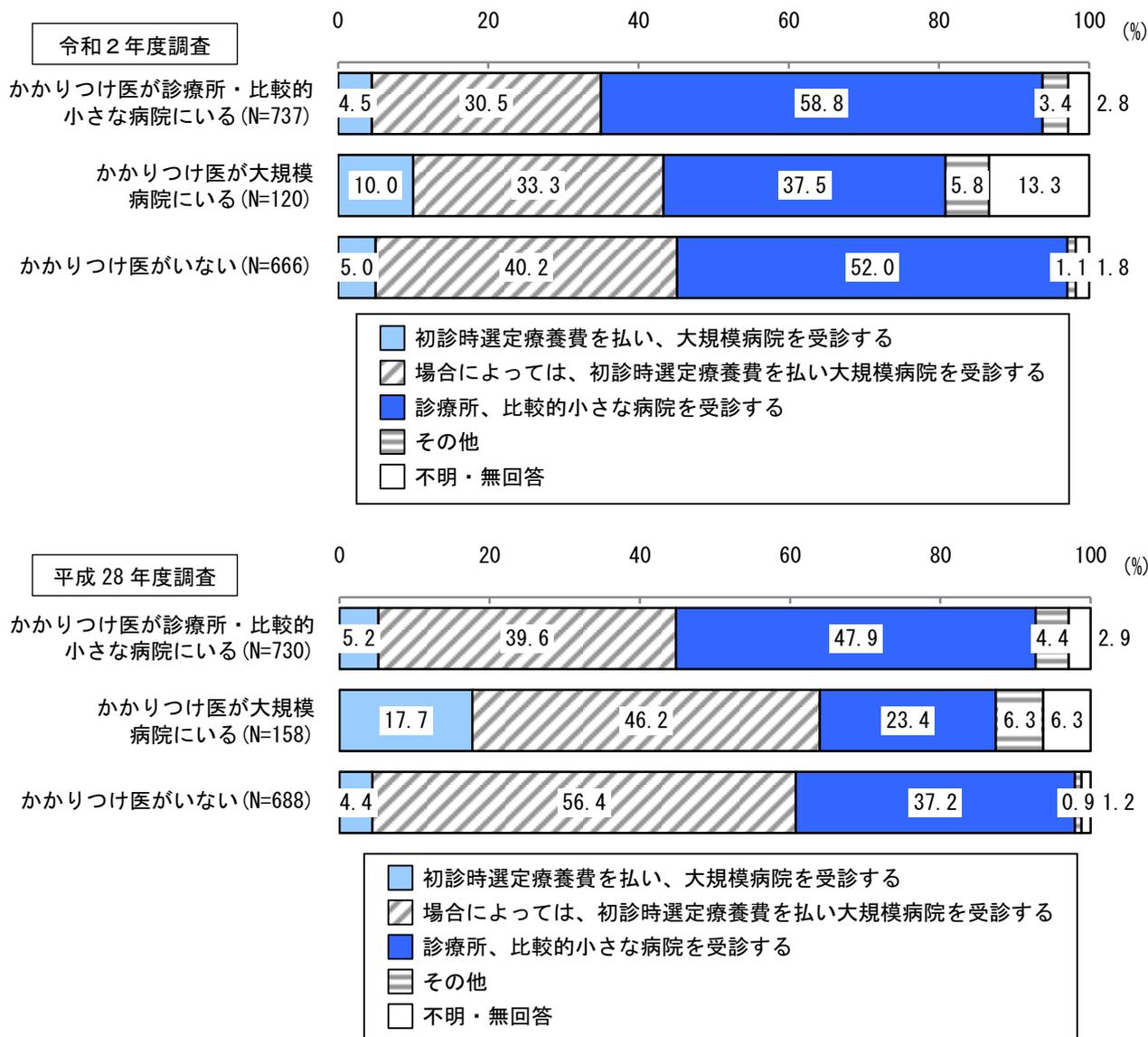
問 18 その医療機関の医師をかかりつけ医としている理由について教えてください。
(複数回答)

【図 3-5 大規模病院をかかりつけ医としている理由】



大規模病院にかかりつけ医がいる理由についてみると、「前から継続的に診てもらっている」が 65.1%と最も高く、次いで、「自分の病歴や健康状態をよく知っている」が 48.2%、「自宅や職場から近い」が 46.1%となっています。

【図3-5-1 初診時選定療養費と受診行動（かかりつけ医の有無およびかかりつけ医のいる医療機関別）】



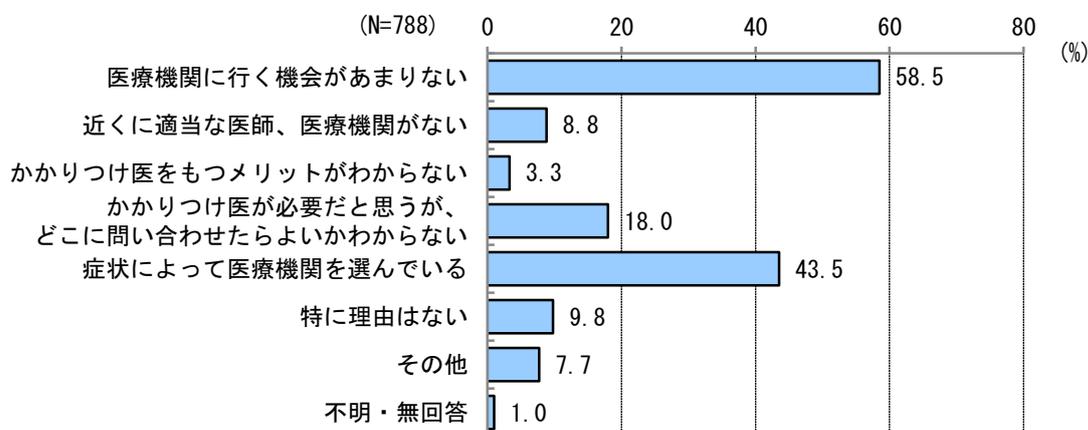
診療所をかかりつけ医にしている人は、病気になった時に約6割が診療所を受診すると答え、前回より10.9ポイント上昇しています。診療所をかかりつけ医にしているも大病院を受診すると答えた人は約3割で、前回より9.8ポイント下降しています。かかりつけ医がいない人では、病気になったとき診療所を受診する人が14.8ポイント上昇し5割を超えました。

(6) かかりつけ医を持たない理由

【問15で「2. いない」「3. わからない」を選択した方にお伺いします。】

問19 あなたがかかりつけ医を持たない理由を教えてください。(複数回答)

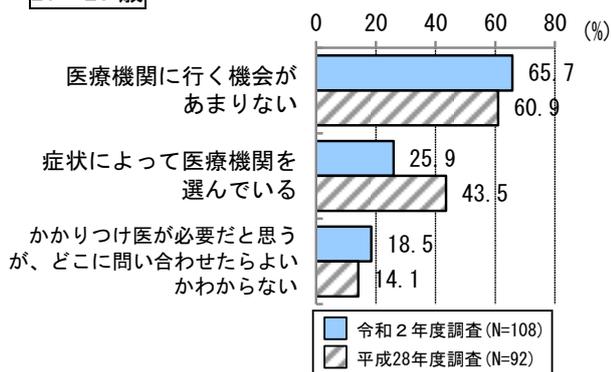
【図3-6 かかりつけ医を持たない理由】



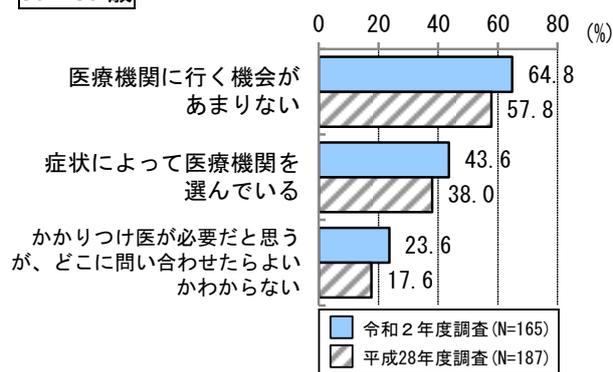
かかりつけ医を持たない理由についてみると、「医療機関に行く機会があまりない」が58.5%と最も高く、次いで、「症状によって医療機関を選んでいる」が43.5%、「かかりつけ医が必要だと思うが、どこに問い合わせたらよいかわからない」が18.0%となっています。

【図3-6-1 かかりつけ医を持たない理由（年齢別・経年比較）】※上位3項目を掲載

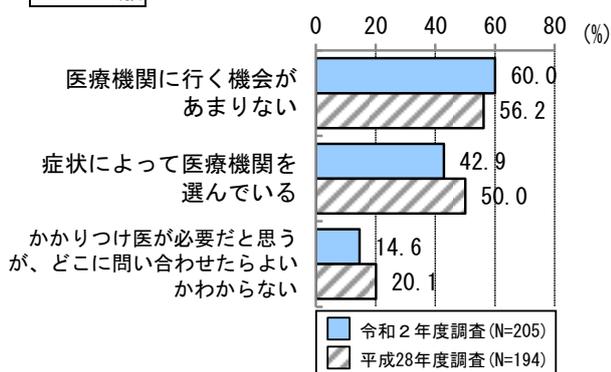
20～29歳



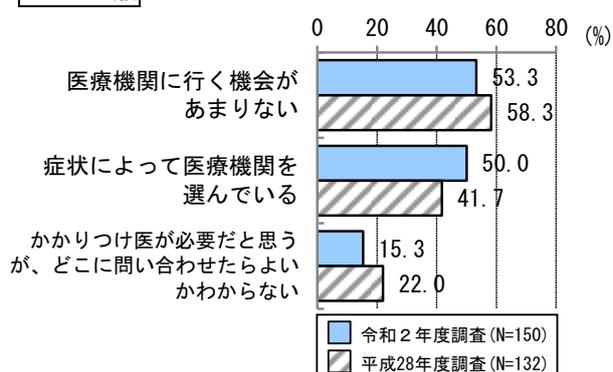
30～39歳



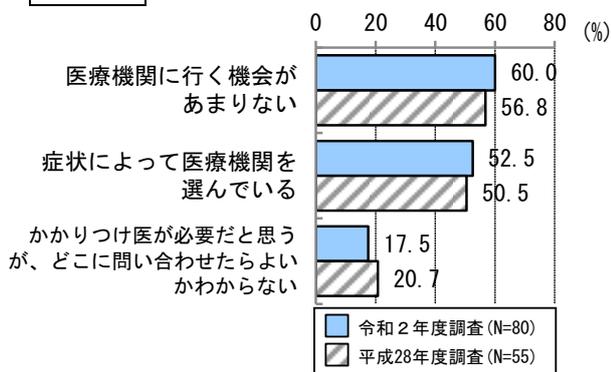
40～49歳



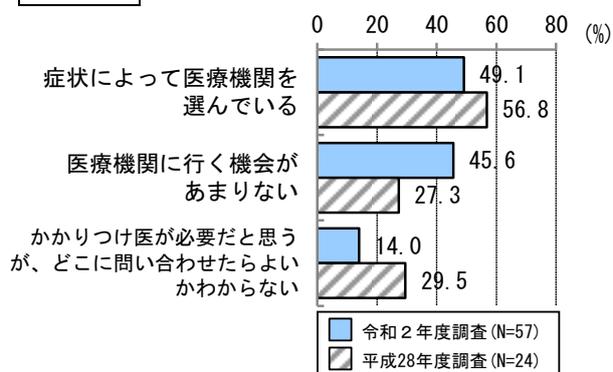
50～59歳



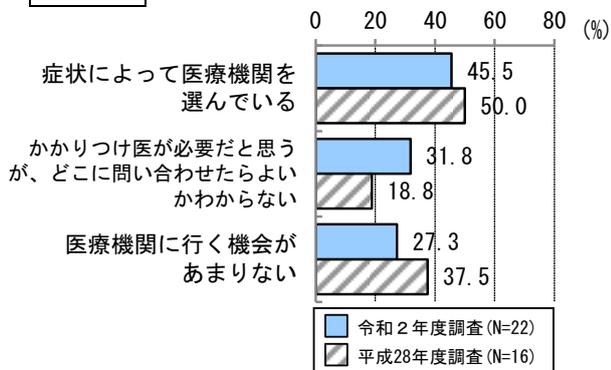
60～69歳



70～79歳



80歳以上



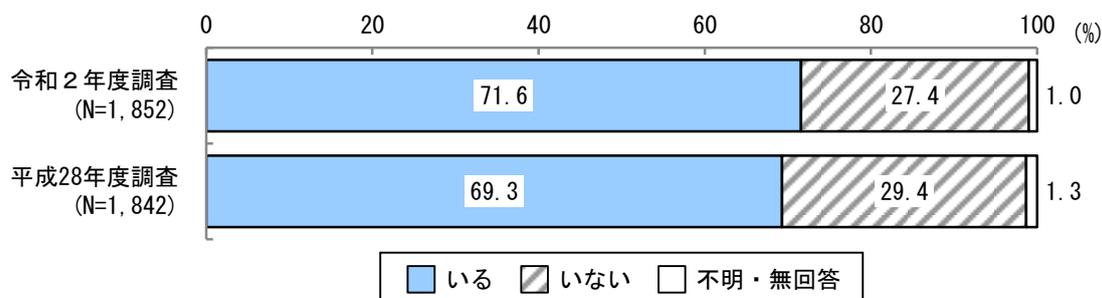
かかりつけ医を持たない理由について、年齢別で見ると、70歳未満では「医療機関に行く機会があまりない」の割合が最も高く、70歳以上では「症状によって医療機関を選んでいる」の割合が最も高くなっています。前回調査（平成28年度）と比較すると、20、30、40代は「医療機関に行く機会があまりない」と答えた人の割合が上昇しています。

4. かかりつけ歯科医について

(1) かかりつけ歯科医の有無

問 20 あなたには、かかりつけ歯科医がいますか。

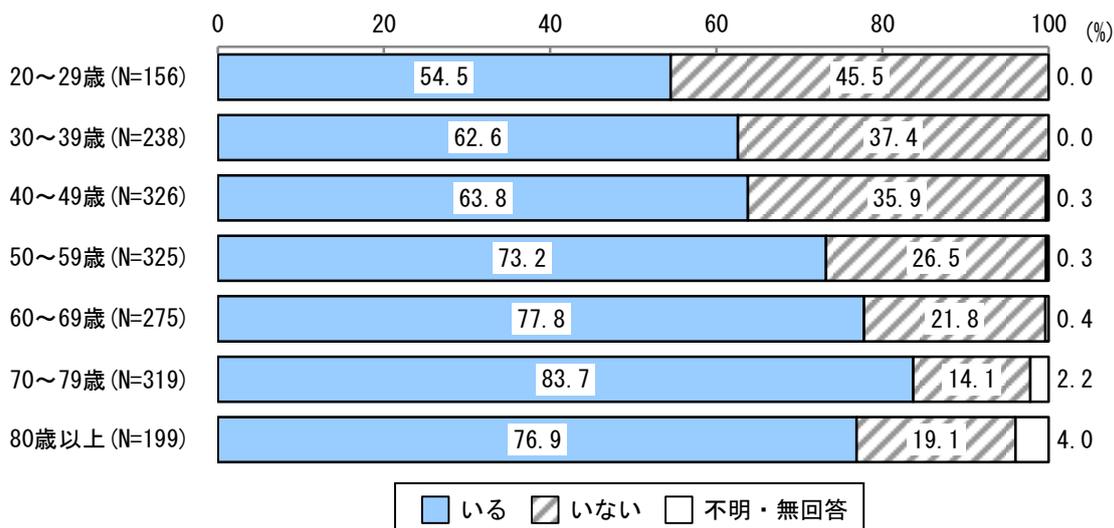
【図 4-1 かかりつけ歯科医の有無（経年比較）】



かかりつけ歯科医の有無についてしてみると、「いる」が71.6%、「いない」が27.4%となっています。

前回調査（平成28年度）と比較すると、「いる」が2.3ポイント上昇しています。

【図 4-1-1 かかりつけ歯科医の有無（年齢別）】



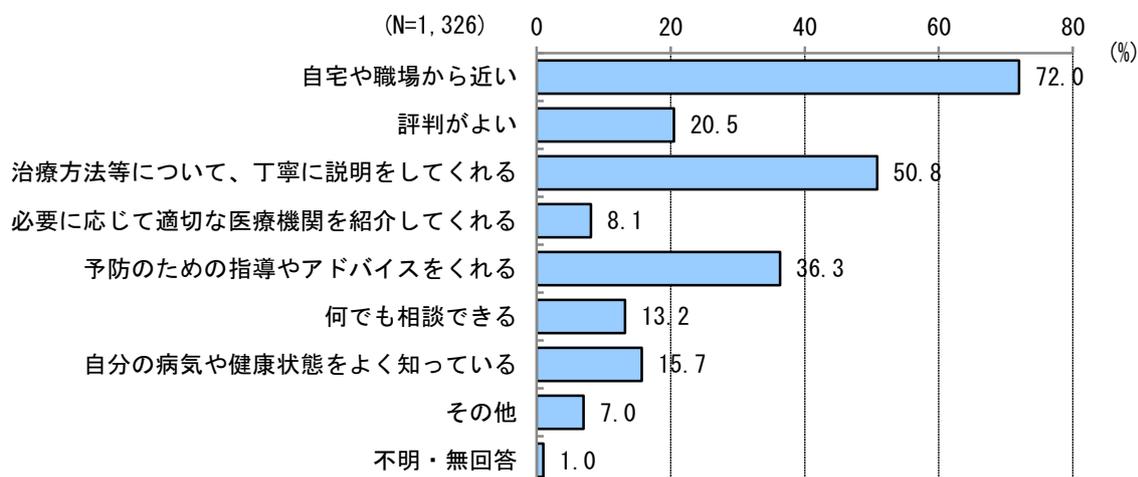
かかりつけ歯科医の有無について、年齢別で見ると、年齢層が上がるにつれてかかりつけ歯科医が「いる」の割合も高くなっており、70～79歳で83.7%と最も高くなっています。

(2) かかりつけ歯科医を持った理由

【問 20 で「1. いる」を選択した方にお伺いします。】

問 21 かかりつけ歯科医を持った理由について教えてください。(複数回答)

【図 4-2 かかりつけ歯科医を持った理由】



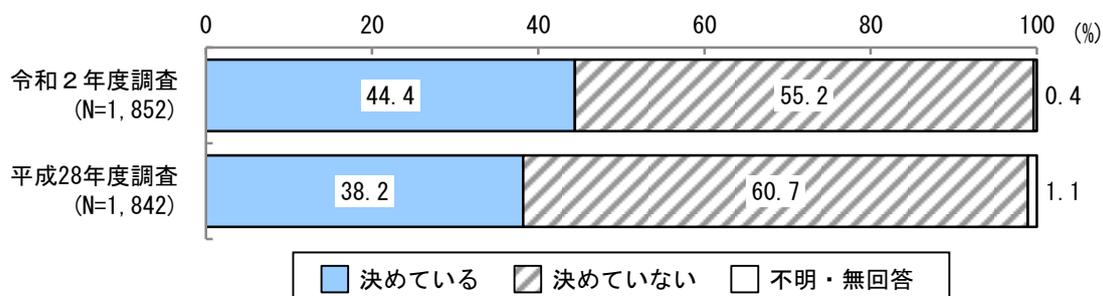
かかりつけ歯科医を持った理由についてみると、「自宅や職場から近い」が72.0%と最も高く、次いで、「治療方法等について、丁寧に説明してくれる」が50.8%、「予防のための指導やアドバイスをくれる」が36.3%となっています。

5. かかりつけ薬局について

(1) かかりつけ薬局の有無

問 22 あなたは、薬をもらう薬局（かかりつけ薬局）を決めていますか。

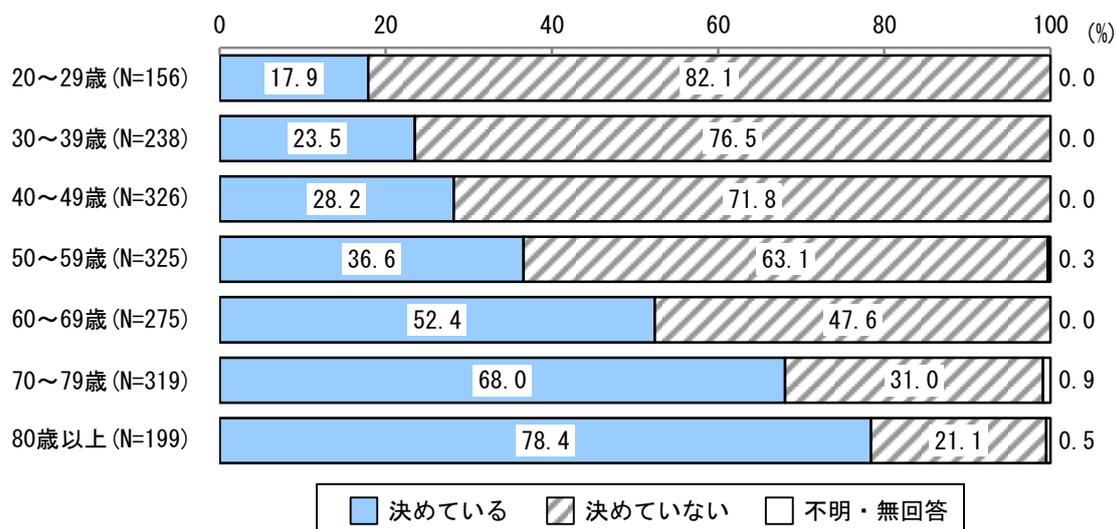
【図5-1 かかりつけ薬局の有無（経年比較）】



かかりつけ薬局の有無についてみると、「決めている」が44.4%、「決めていない」が55.2%となっています。

前回調査（平成28年度）と比較すると、「決めている」が6.2ポイント上昇しています。

【図5-1-1 かかりつけ薬局の有無（年齢別）】



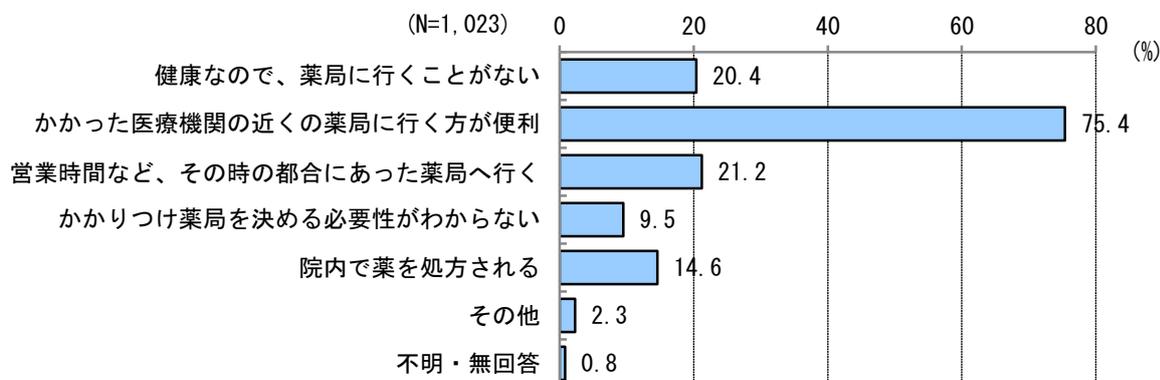
かかりつけ薬局の有無について、年齢別で見ると、年齢層が上がるにつれてかかりつけ薬局を「決めている」の割合も高くなっており、80歳以上で78.4%と最も高くなっています。

(2) かかりつけ薬局を決めていない理由

【問 22 で「2. 決めていない」を選択した方にお伺いします。】

問 23 あなたがかかりつけ薬局を決めていない理由について教えてください。(複数回答)

【図 5-2 かかりつけ薬局を決めていない理由】



かかりつけ薬局を決めていない理由についてみると、「かかった医療機関の近くの薬局に行く方が便利」が 75.4%と最も高く、次いで、「営業時間など、その時の都合にあった薬局へ行く」が 21.2%、「健康なので、薬局に行くことがない」が 20.4%となっています。

【図 5-2-1 かかりつけ薬局を決めていない理由 (年齢別)】

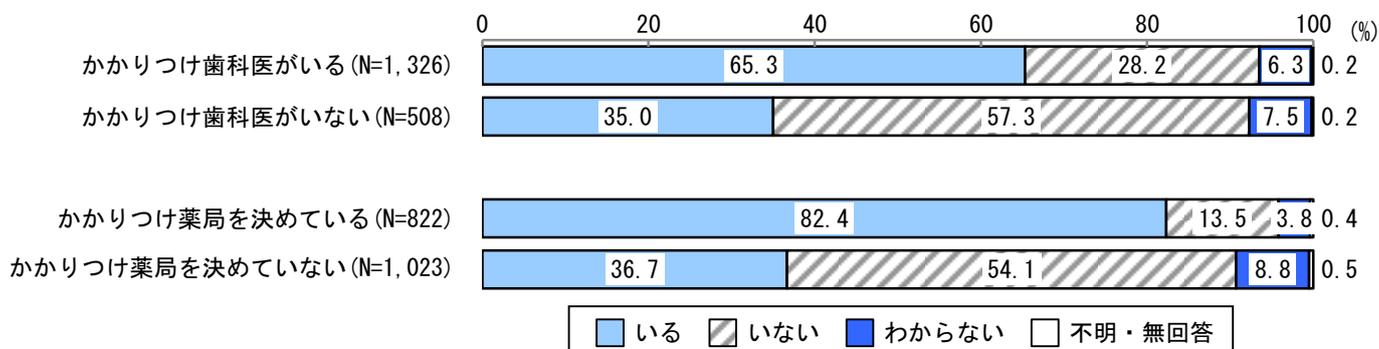
	第1位	第2位	第3位
20歳～29歳 (N=128)	かかった医療機関の近くの薬局に行く方が便利 74.2%	健康なので、薬局に行くことがない 30.5%	営業時間など、その時の都合にあった薬局へ行く 18.0%
30歳～39歳 (N=182)	かかった医療機関の近くの薬局に行く方が便利 79.1%	健康なので、薬局に行くことがない 26.9%	営業時間など、その時の都合にあった薬局へ行く 24.2%
40歳～49歳 (N=234)	かかった医療機関の近くの薬局に行く方が便利 78.2%	営業時間など、その時の都合にあった薬局へ行く 25.6%	健康なので、薬局に行くことがない 17.1%
50歳～59歳 (N=205)	かかった医療機関の近くの薬局に行く方が便利 79.0%	営業時間など、その時の都合にあった薬局へ行く 21.0%	健康なので、薬局に行くことがない 19.0%
60歳～69歳 (N=131)	かかった医療機関の近くの薬局に行く方が便利 70.2%	院内で薬を処方される 24.4%	営業時間など、その時の都合にあった薬局へ行く 17.6%
70歳～79歳 (N=99)	かかった医療機関の近くの薬局に行く方が便利 68.7%	院内で薬を処方される 36.4%	健康なので、薬局に行くことがない 15.2%
80歳以上 (N=42)	かかった医療機関の近くの薬局に行く方が便利 59.5%	営業時間など、その時の都合にあった薬局へ行く 23.8%	院内で薬を処方される 23.8%

かかりつけ薬局を決めていない理由について、年齢別でみると、すべての年齢層において、「かかった医療機関の近くの薬局に行く方が便利」が最も高くなっています。

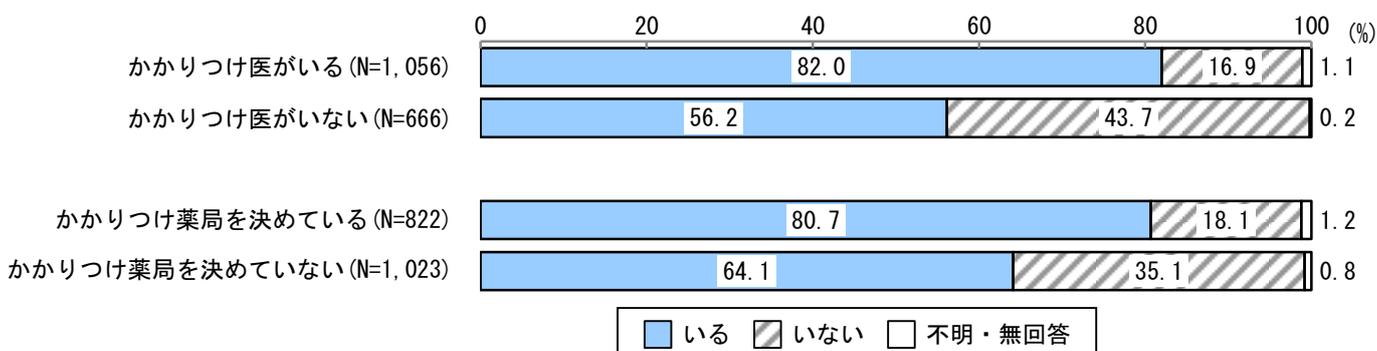
6. かかりつけ医等と他項目との相関関係について

(1) かかりつけ医・かかりつけ歯科医・かかりつけ薬局の関係について

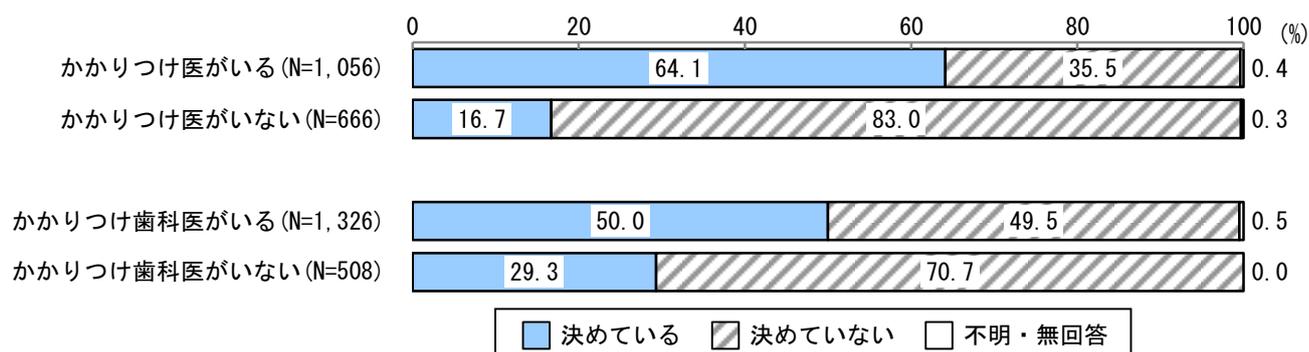
【図6-1-a かかりつけ医の有無（かかりつけ歯科医の有無およびかかりつけ薬局の有無別）】



【図6-1-b かかりつけ歯科医の有無（かかりつけ医の有無およびかかりつけ薬局の有無別）】



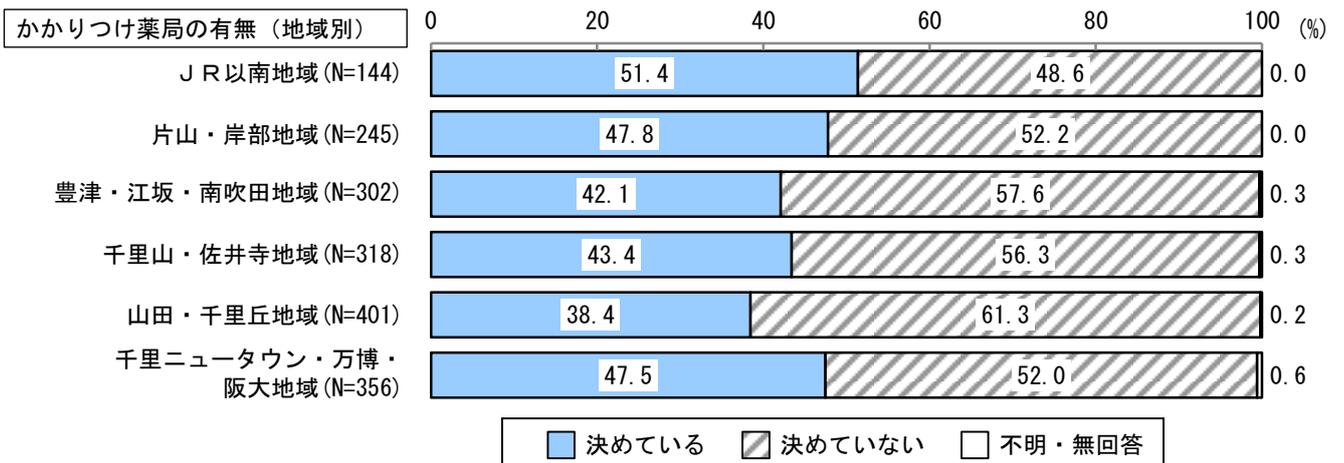
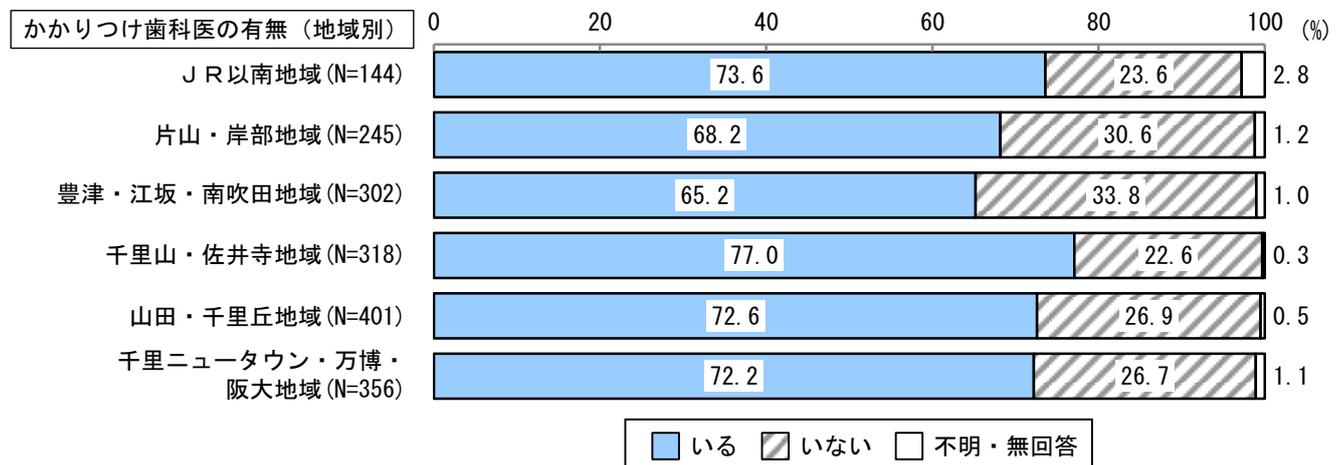
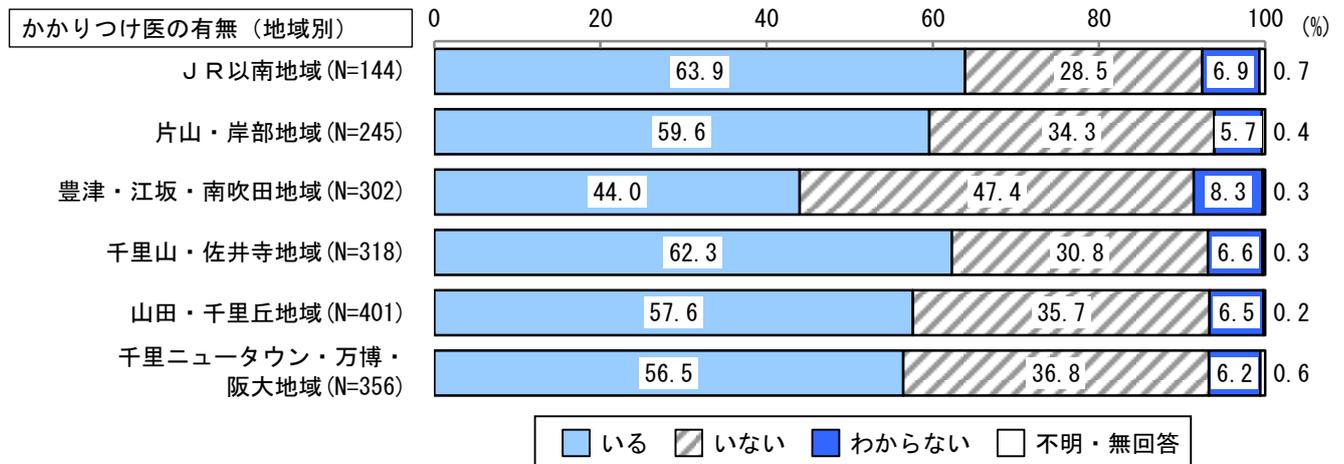
【図6-1-c かかりつけ薬局の有無（かかりつけ医の有無およびかかりつけ歯科医の有無別）】



かかりつけ医療機関（「かかりつけ医」「かかりつけ歯科医」「かかりつけ薬局」の総称）それぞれの関連性についてみると、いずれかのかかりつけ医療機関を持っている・決めている場合に、別の医療機関においてもかかりつけ医療機関を持っている・決めている割合が高くなっています。とくに、かかりつけ医の有無と、かかりつけ薬局の有無の関連性が高くなっています。

(2) かかりつけ医等の地域別状況

【図6-2 かかりつけ医等の有無（地域別）】

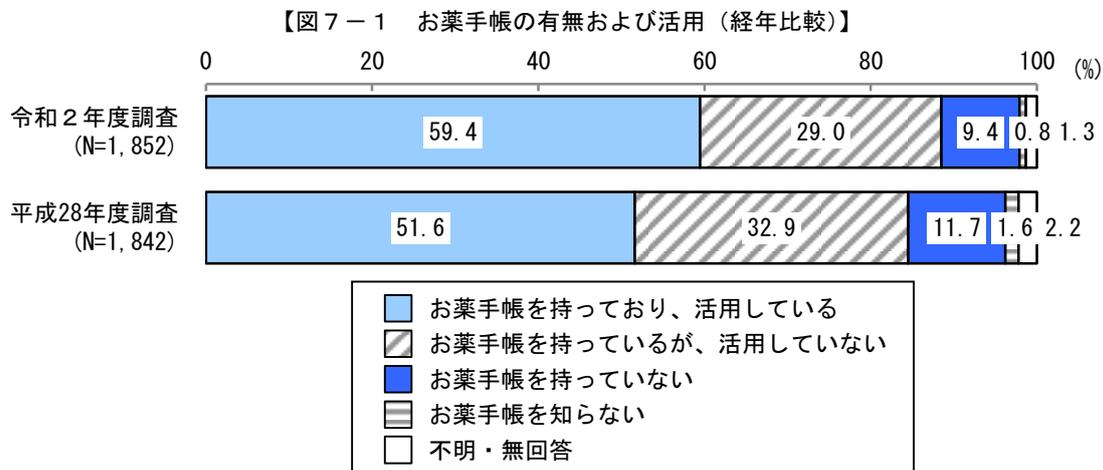


かかりつけ医療機関の有無について、地域別で見ると、「かかりつけ医」「かかりつけ歯科医」がいる割合は、「J R以南地域」および「千里山・佐井寺地域」において高くなっています。

7. お薬手帳・ジェネリック医薬品について

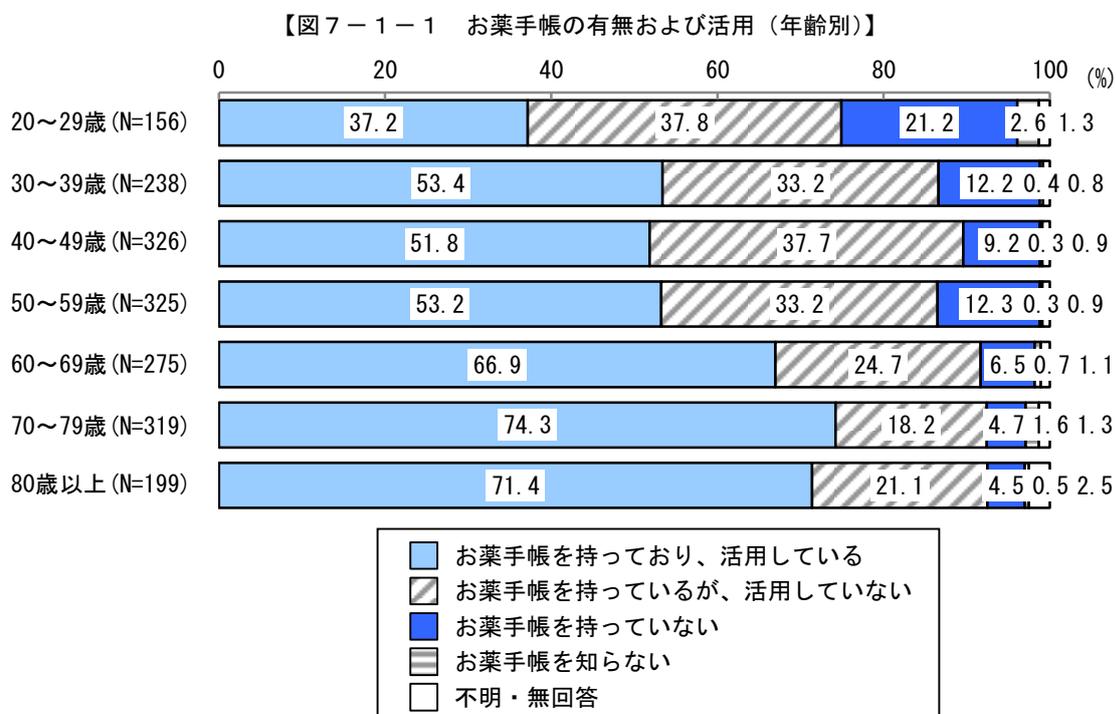
(1) お薬手帳の有無および活用

問 24 あなたは、お薬手帳（電子お薬手帳含む）を持ち、活用していますか。



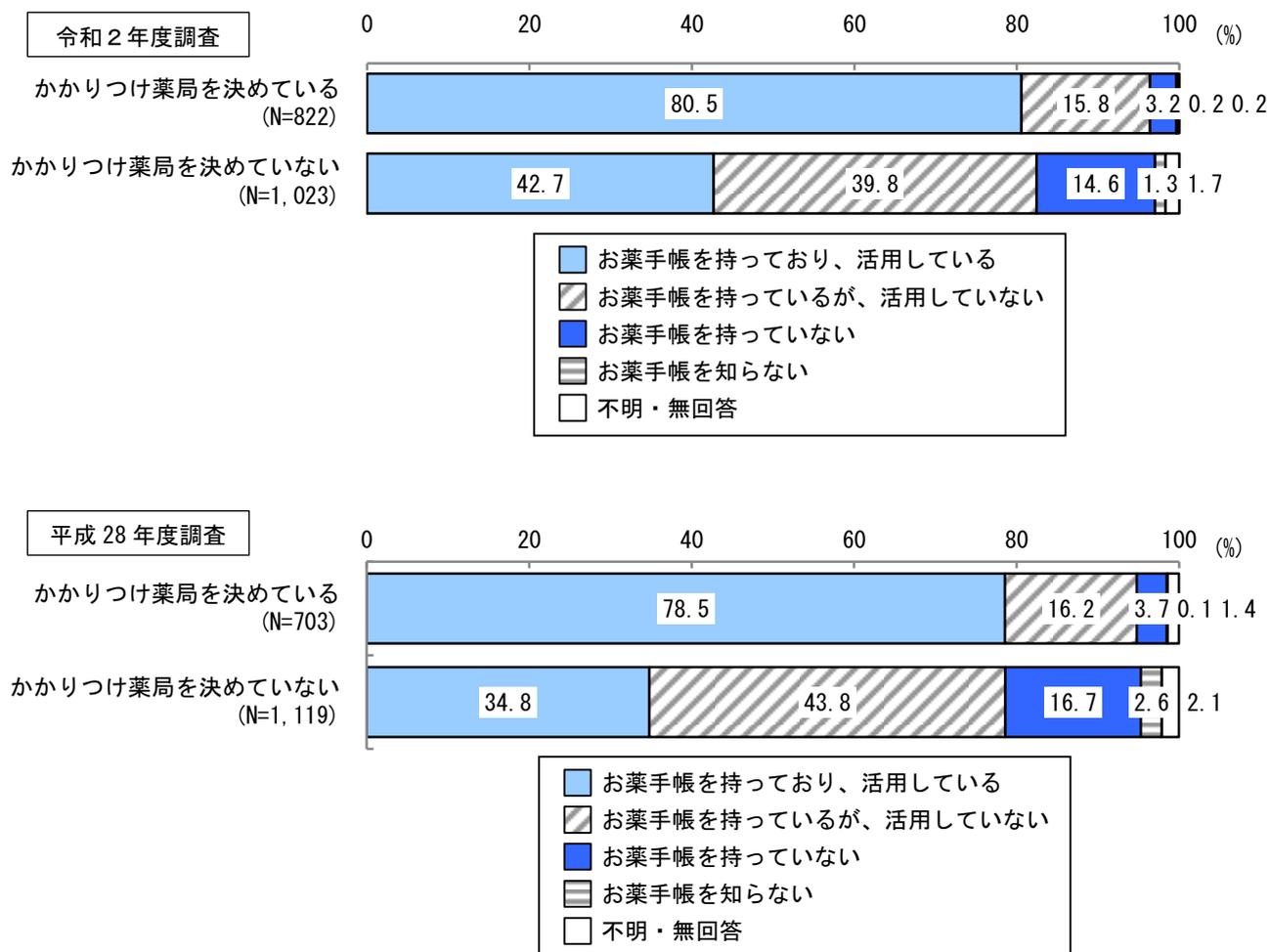
お薬手帳の有無および活用についてみると、「お薬手帳を持っており、活用している」が59.4%と最も高く、次いで、「お薬手帳を持っているが、活用していない」が29.0%、「お薬手帳を持っていない」が9.4%となっています。

前回調査（平成28年度）と比較すると、「お薬手帳を持っており、活用している」が7.8ポイント上昇しています。



お薬手帳の有無および活用について、年齢別でみると、年齢層が上がるにつれて「お薬手帳を持っており、活用している」の割合が高くなっており、70～79歳で74.3%と最も高くなっています。

【図7-1-2 お薬手帳の有無および活用（かかりつけ薬局の有無別）】

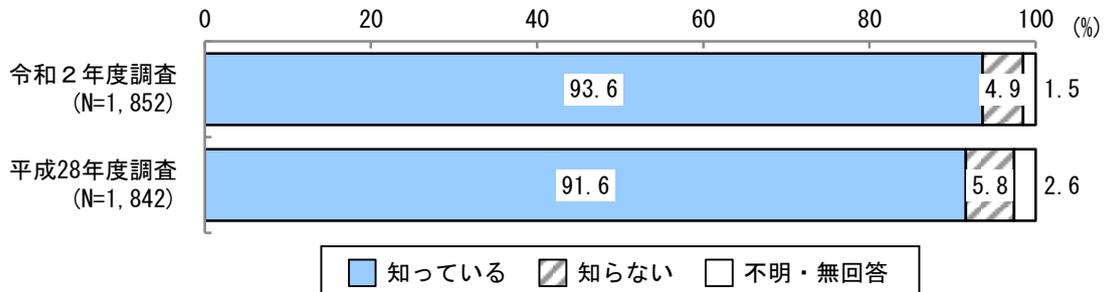


お薬手帳の有無および活用について、かかりつけ薬局の有無別で見ると、「お薬手帳を持っており、活用している」の割合は、「かかりつけ薬局を決めている」では80.5%、「かかりつけ薬局を決めていない」では42.7%となっています。前回調査（平成28年度）と比較すると、かかりつけ薬局を決めていて、お薬手帳を活用している人は2.0ポイント上昇し、8割を超えました。

(2) ジェネリック医薬品の認知度

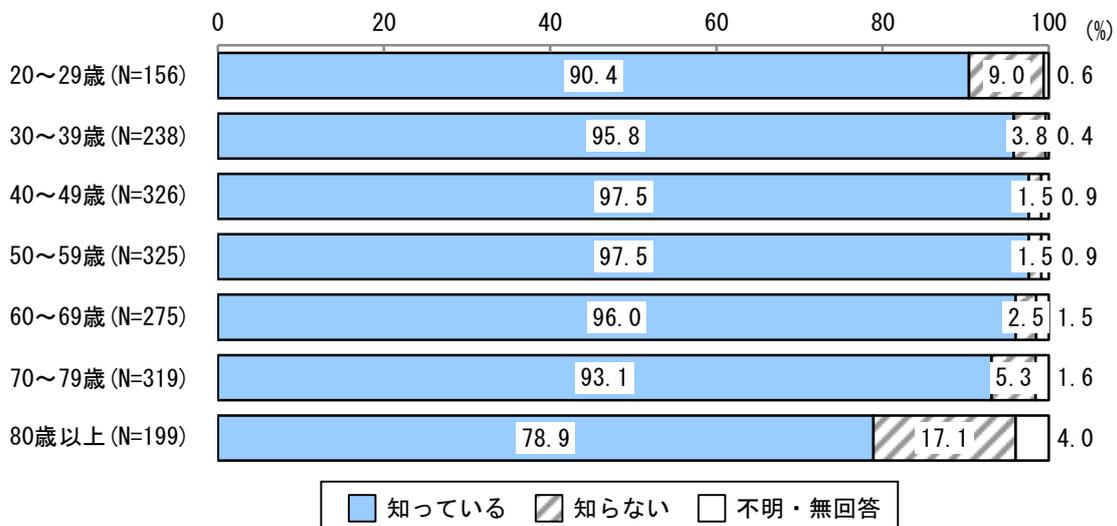
問 25 あなたは、ジェネリック医薬品（後発医薬品）について知っていますか。

【図 7-2 ジェネリック医薬品の認知度（経年比較）】



ジェネリック医薬品の認知度についてみると、「知っている」が93.6%、「知らない」が4.9%となっています。前回調査（平成28年度）と比較すると、「知っている」が2.0ポイント上昇しています。

【図 7-2-1 ジェネリック医薬品の認知度（年齢別）】

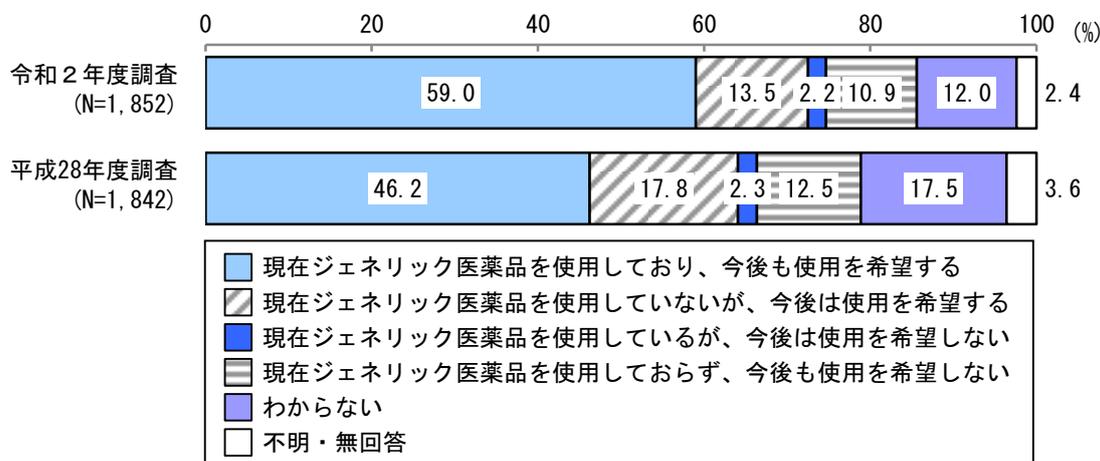


ジェネリック医薬品の認知度について、年齢別でみると、80歳以上を除いて、ジェネリック医薬品を「知っている」の割合が9割以上となっております。

(3) ジェネリック医薬品の使用希望

問 26 あなたは、ジェネリック医薬品の使用を希望しますか。

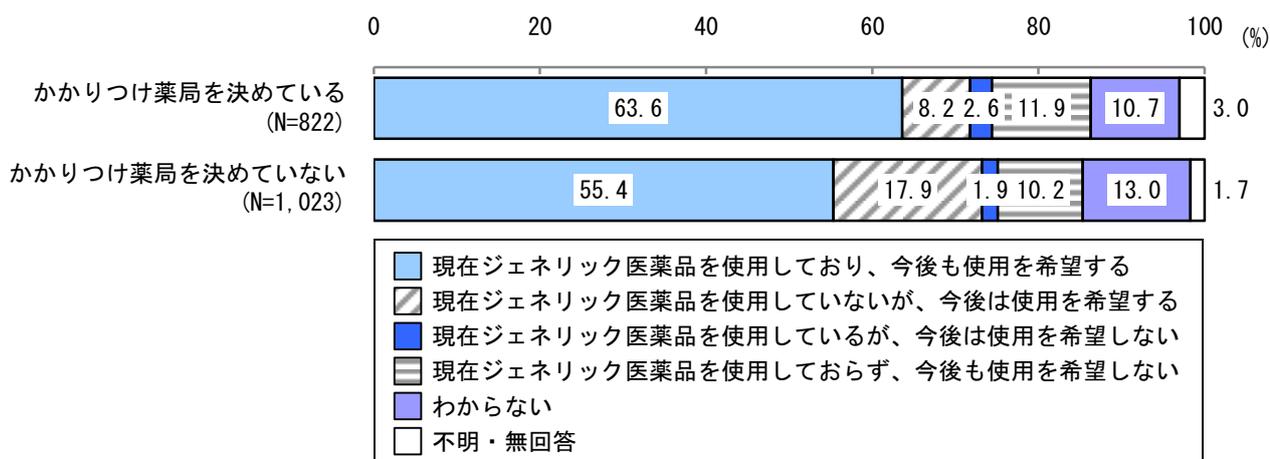
【図 7-3 ジェネリック医薬品の使用希望（経年比較）】



ジェネリック医薬品の使用希望についてみると、「現在ジェネリック医薬品を使用しており、今後も使用を希望する」が 59.0%と最も高く、次いで、「現在ジェネリック医薬品を使用していないが、今後は使用を希望する」が 13.5%、「現在ジェネリック医薬品を使用しておらず、今後も使用を希望しない」が 10.9%となっています。

前回調査（平成 28 年度）と比較すると、「現在ジェネリック医薬品を使用しており、今後も使用を希望する」が 12.8 ポイント上昇しています。ジェネリック医薬品に対する理解が高まっていることがわかります。

【図 7-3-1 ジェネリック医薬品の使用希望（かかりつけ薬局の有無別）】



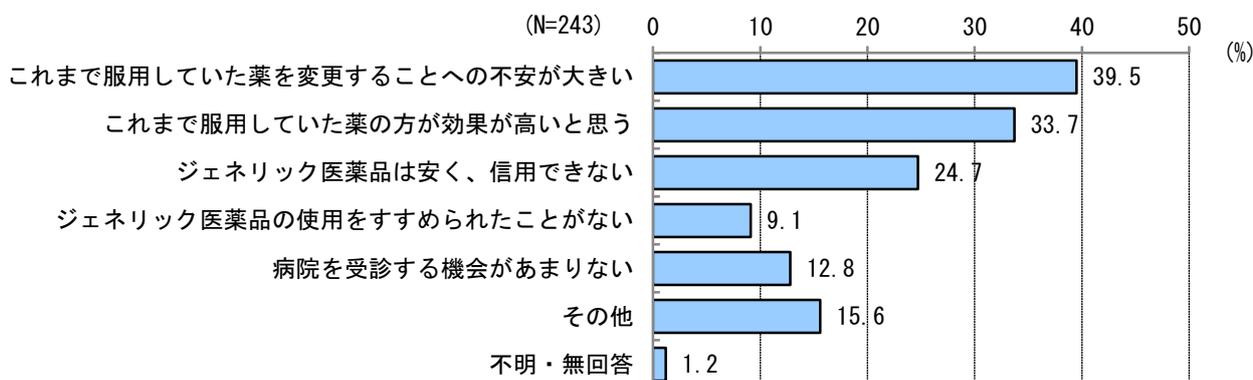
ジェネリック医薬品の使用希望について、かかりつけ薬局の有無別でみると、「現在ジェネリック医薬品を使用しており、今後も使用を希望する」の割合は、「かかりつけ薬局を決めている」では 63.6%、「かかりつけ薬局を決めていない」では 55.4%となっています。

(4) ジェネリック医薬品を希望しない理由

【問 26 で「3. 現在使用しているが、今後は使用を希望しない」または「4. 現在使用しておらず、今後も使用を希望しない」を選択した方にお伺いします。】

問 27 あなたがジェネリック医薬品を希望しない理由について教えてください。(複数回答)

【図 7-4 ジェネリック医薬品を希望しない理由】



ジェネリック医薬品を希望しない理由についてみると、「これまで服用していた薬を変更することへの不安が大きい」が 39.5%と最も高く、次いで、「これまで服用していた薬の方が効果が高いと思う」が 33.7%、「ジェネリック医薬品は安く、信用できない」が 24.7%となっています。

【図 7-4-1 ジェネリック医薬品を希望しない理由 (年齢別)】 ※上位 3 項目を掲載

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
20歳～29歳 (N=15)	病院を受診する機会があまりない 33.3%	これまで服用していた薬を変更することへの不安が大きい 26.7%	これまで服用していた薬の方が効果が高いと思う 26.7%
30歳～39歳 (N=30)	ジェネリック医薬品は安く、信用できない 50.0%	これまで服用していた薬の方が効果が高いと思う 36.7%	これまで服用していた薬を変更することへの不安が大きい 30.0%
40歳～49歳 (N=45)	ジェネリック医薬品は安く、信用できない 40.0%	これまで服用していた薬の方が効果が高いと思う 35.6%	これまで服用していた薬を変更することへの不安が大きい 31.1%
50歳～59歳 (N=42)	これまで服用していた薬を変更することへの不安が大きい 33.3%	これまで服用していた薬の方が効果が高いと思う 28.6%	ジェネリック医薬品は安く、信用できない 26.2%
60歳～69歳 (N=27)	これまで服用していた薬を変更することへの不安が大きい 44.4%	これまで服用していた薬の方が効果が高いと思う 33.3%	ジェネリック医薬品の使用をすすめられたことがない 14.8%
70歳～79歳 (N=53)	これまで服用していた薬を変更することへの不安が大きい 50.9%	これまで服用していた薬の方が効果が高いと思う 32.1%	ジェネリック医薬品は安く、信用できない 13.2%
80歳以上 (N=30)	これまで服用していた薬を変更することへの不安が大きい 53.3%	これまで服用していた薬の方が効果が高いと思う 40.0%	ジェネリック医薬品の使用をすすめられたことがない 20.0%

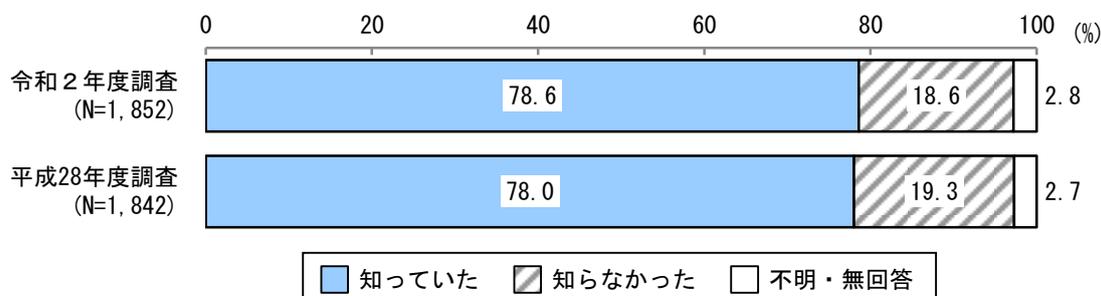
ジェネリック医薬品を希望しない理由について、年齢別で見ると、20～29歳では「病院を受診する機会があまりない」、30～49歳では「ジェネリック医薬品は安く、信用できない」、50歳以上では「これまで服用していた薬を変更することへの不安が大きい」の割合が最も高くなっています。

8. 在宅医療について

(1) 在宅医療の認知度

問 28 あなたは在宅医療について知っていましたか。

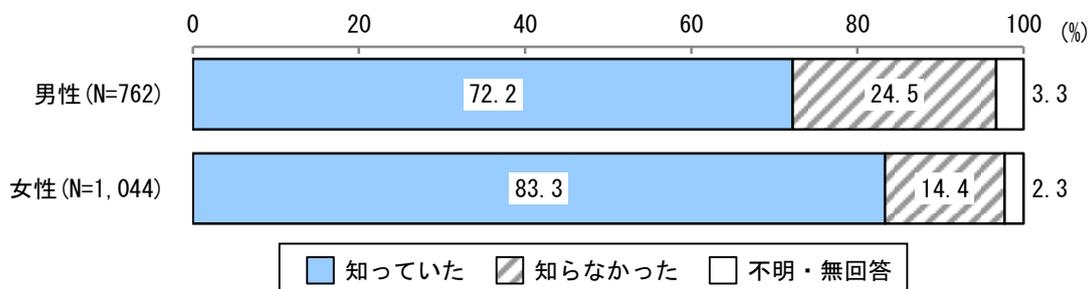
【図 8-1 在宅医療の認知度（経年比較）】



在宅医療の認知度についてみると、在宅医療について「知っていた」が78.6%、「知らなかった」が18.6%となっています。

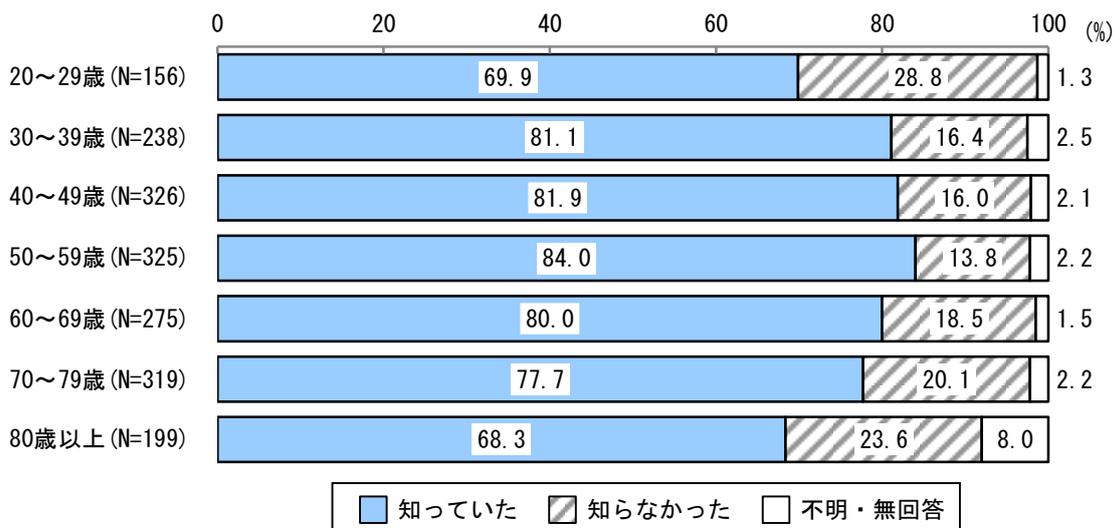
前回調査（平成28年度）と比較して、ほぼ横ばいです。

【図 8-1-1 在宅医療の認知度（性別）】



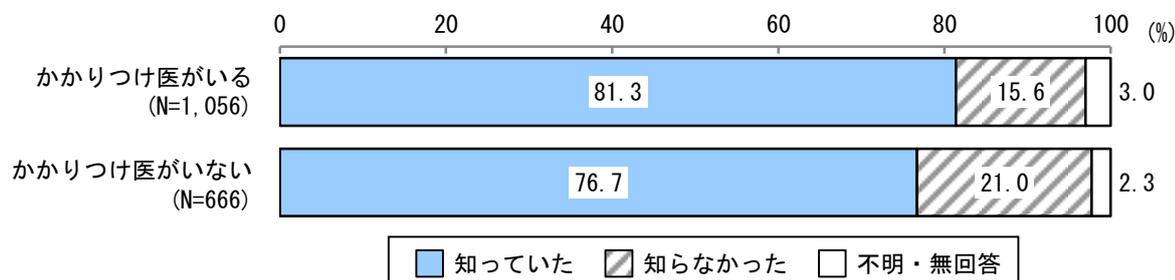
在宅医療の認知度について、性別でみると、在宅医療について「知っていた」の割合は、「男性」では72.2%、「女性」では83.3%となっています。

【図 8-1-2 在宅医療の認知度（年齢別）】



在宅医療の認知度について、年齢別で見ると、在宅医療について「知っていた」の割合は、30～69歳において8割を超えています。

【図 8-1-3 在宅医療の認知度（かかりつけ医の有無別）】

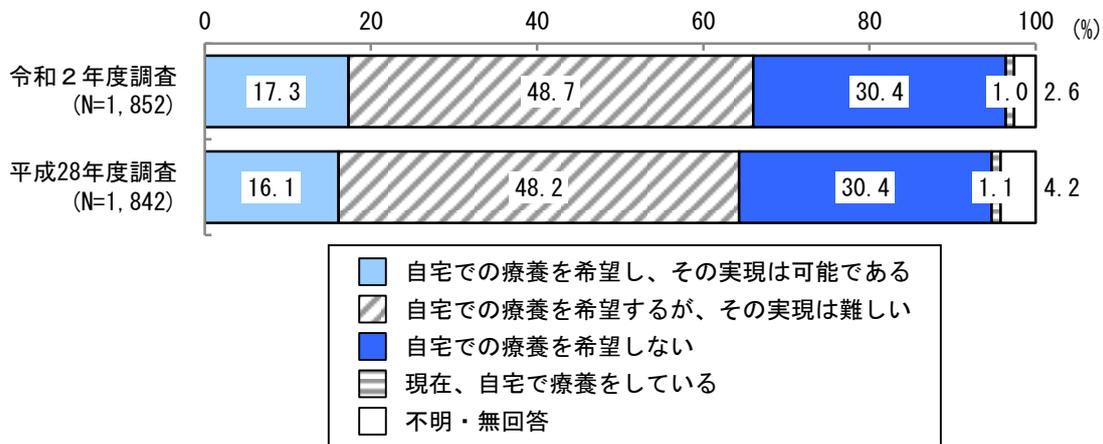


在宅医療の認知度について、かかりつけ医の有無別で見ると、在宅医療について「知っていた」の割合は、「かかりつけ医がいる」では81.3%、「かかりつけ医がない」では76.7%となっています。

(2) 自宅療養の希望および実現の可能性

問 29 あなたが長期の治療・療養が必要となった場合、自宅で療養を希望しますか。また、それは可能だと思いますか。

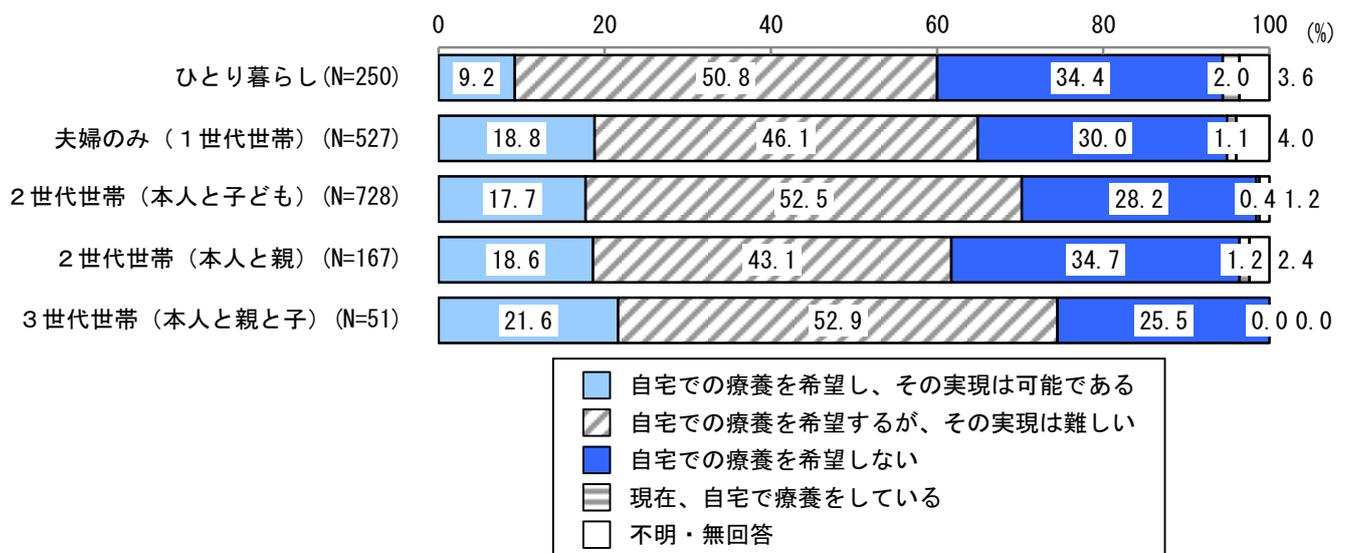
【図 8-2 自宅療養の希望および実現の可能性（経年比較）】



自宅療養の希望および実現の可能性についてみると、「自宅での療養を希望するが、その実現は難しい」が 48.7%と最も高く、次いで、「自宅での療養を希望しない」が 30.4%、「自宅での療養を希望し、その実現は可能である」が 17.3%となっています。

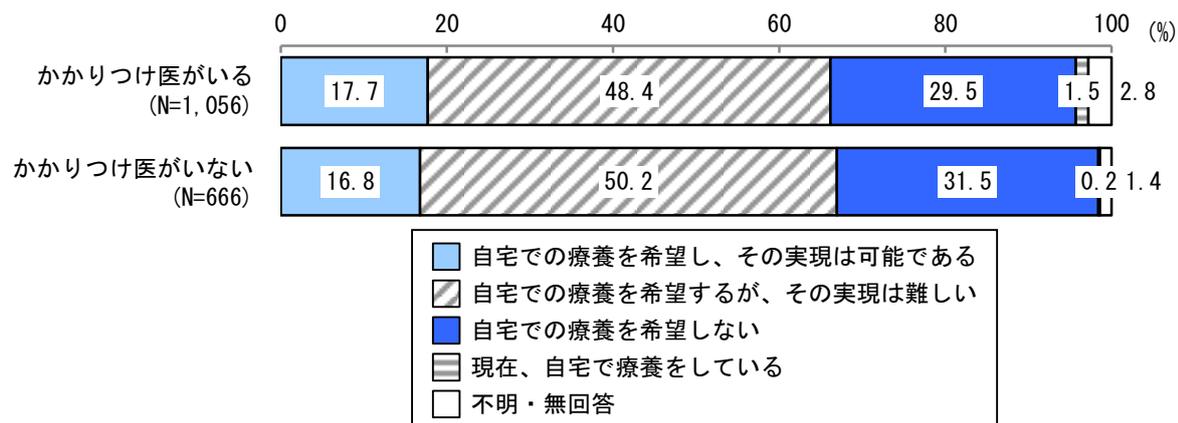
前回調査（平成 28 年度）と比較して、ほぼ横ばいです。

【図 8-2-1 自宅療養の希望および実現の可能性（世帯構成別）】



自宅療養の希望および実現の可能性について、世帯構成別でみると、「自宅療養を希望し、実現可能である」の割合は、「3世代世帯（本人と親と子）」において 21.6%と最も高くなっています。

【図 8-2-2 自宅療養の希望および実現の可能性（かかりつけ医の有無別）】



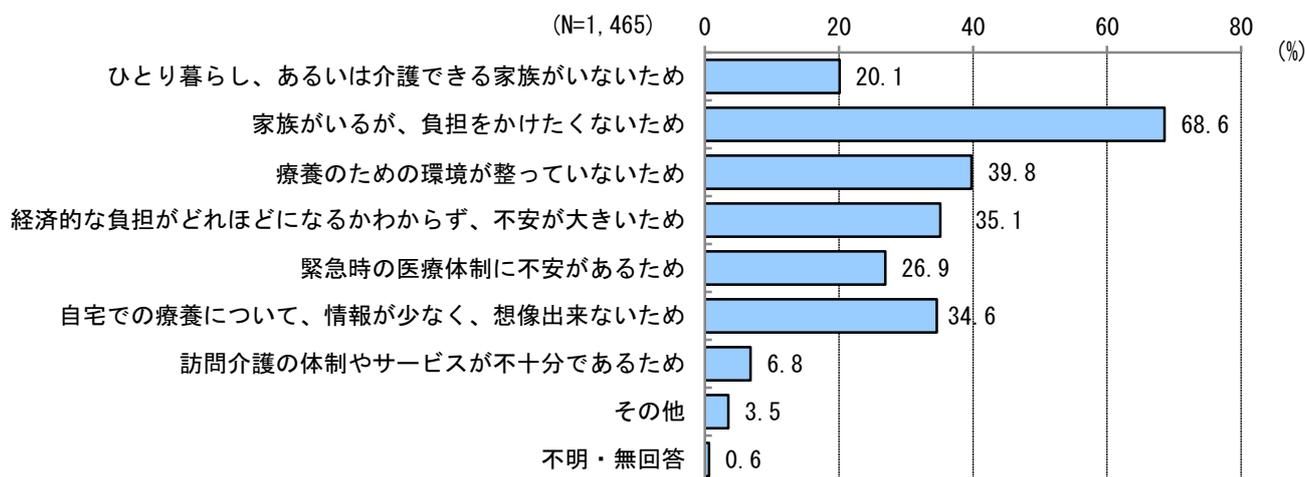
自宅療養の希望および実現の可能性について、かかりつけ医の有無別でみると、「自宅での療養を希望し、その実現は可能である」の割合は、「かかりつけ医がいる」では17.7%、「かかりつけ医がない」では16.8%となっています。

(3) 自宅療養が困難・希望しない理由

【問 29 で「2. 自宅での療養を希望するが、その実現は難しい」または「3. 自宅での療養を希望しない」を選択した方にお伺いします。】

問 30 自宅での療養の実現が難しい、あるいは自宅での療養を希望しない理由について教えてください。（複数回答）

【図 8-3 自宅療養が困難・希望しない理由】



自宅療養が困難あるいは希望しない理由についてみると、「家族がいるが、負担をかけたくないため」が68.6%と最も高く、次いで、「療養のための環境が整っていないため」が39.8%、「経済的な負担がどれほどになるかわからず、不安が大きいため」が35.1%となっています。

【図8-3-1 自宅療養が困難・希望しない理由（年齢別）】 ※上位3項目を掲載

	第1位	第2位	第3位
20歳～29歳 (N=115)	家族がいるが、負担をかけたくないため 50.4%	経済的な負担がどれほどになるかわからず、不安が大きいため 39.1%	自宅での療養について、情報が少なく、想像出来ないため 34.8%
30歳～39歳 (N=192)	家族がいるが、負担をかけたくないため 75.5%	経済的な負担がどれほどになるかわからず、不安が大きいため 43.2%	療養のための環境が整っていないため 40.1%
40歳～49歳 (N=265)	家族がいるが、負担をかけたくないため 75.8%	療養のための環境が整っていないため 42.6%	自宅での療養について、情報が少なく、想像出来ないため 40.8%
50歳～59歳 (N=265)	家族がいるが、負担をかけたくないため 75.1%	療養のための環境が整っていないため 42.3%	経済的な負担がどれほどになるかわからず、不安が大きいため 37.0%
60歳～69歳 (N=227)	家族がいるが、負担をかけたくないため 70.0%	療養のための環境が整っていないため 46.7%	緊急時の医療体制に不安があるため 32.2%
70歳～79歳 (N=241)	家族がいるが、負担をかけたくないため 68.9%	療養のための環境が整っていないため 36.5%	自宅での療養について、情報が少なく、想像出来ないため 33.6%
80歳以上 (N=150)	家族がいるが、負担をかけたくないため 48.0%	ひとり暮らし、あるいは介護できる家族がいないため 41.3%	療養のための環境が整っていないため 34.7%

自宅療養が困難・希望しない理由について、年齢別でみると、すべての年齢層において「家族がいるが、負担をかけたくないため」の割合が最も高くなっています。

【図8-3-2 自宅療養が困難・希望しない理由（世帯構成別）】 ※上位3項目を掲載

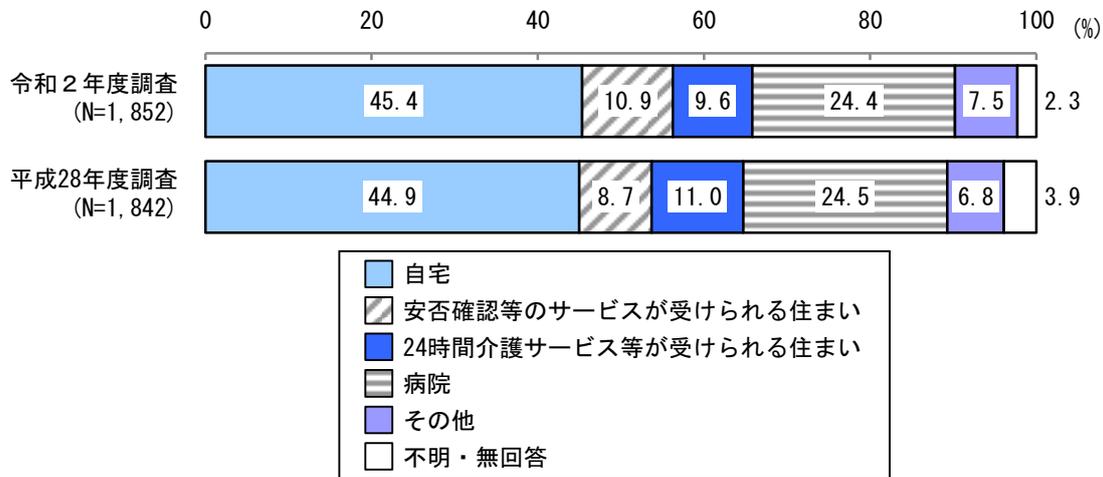
	第1位	第2位	第3位
ひとり暮らし (N=213)	ひとり暮らし、あるいは介護できる家族がいないため 82.2%	経済的な負担がどれほどになるかわからず、不安が大きいため 29.6%	自宅での療養について、情報が少なく、想像出来ないため 24.4%
夫婦のみ（1世代世帯） (N=401)	家族がいるが、負担をかけたくないため 71.8%	療養のための環境が整っていないため 46.4%	自宅での療養について、情報が少なく、想像出来ないため 39.2%
2世代世帯（本人と子ども） (N=587)	家族がいるが、負担をかけたくないため 83.0%	療養のための環境が整っていないため 42.4%	自宅での療養について、情報が少なく、想像出来ないため 36.5%
2世代世帯（本人と親） (N=130)	家族がいるが、負担をかけたくないため 65.4%	経済的な負担がどれほどになるかわからず、不安が大きいため 48.5%	療養のための環境が整っていないため 39.2%
3世代世帯（本人と親と子） (N=40)	家族がいるが、負担をかけたくないため 80.0%	療養のための環境が整っていないため 35.0%	経済的な負担がどれほどになるかわからず、不安が大きいため 35.0%

自宅療養が困難・希望しない理由について、世帯構成別でみると、「ひとり暮らし」では「ひとり暮らし、あるいは介護できる家族がいないため」、「ひとり暮らし」以外の世帯構成では「家族がいるが、負担をかけたくないため」の割合が最も高くなっています。

(4) 最期を迎える場所

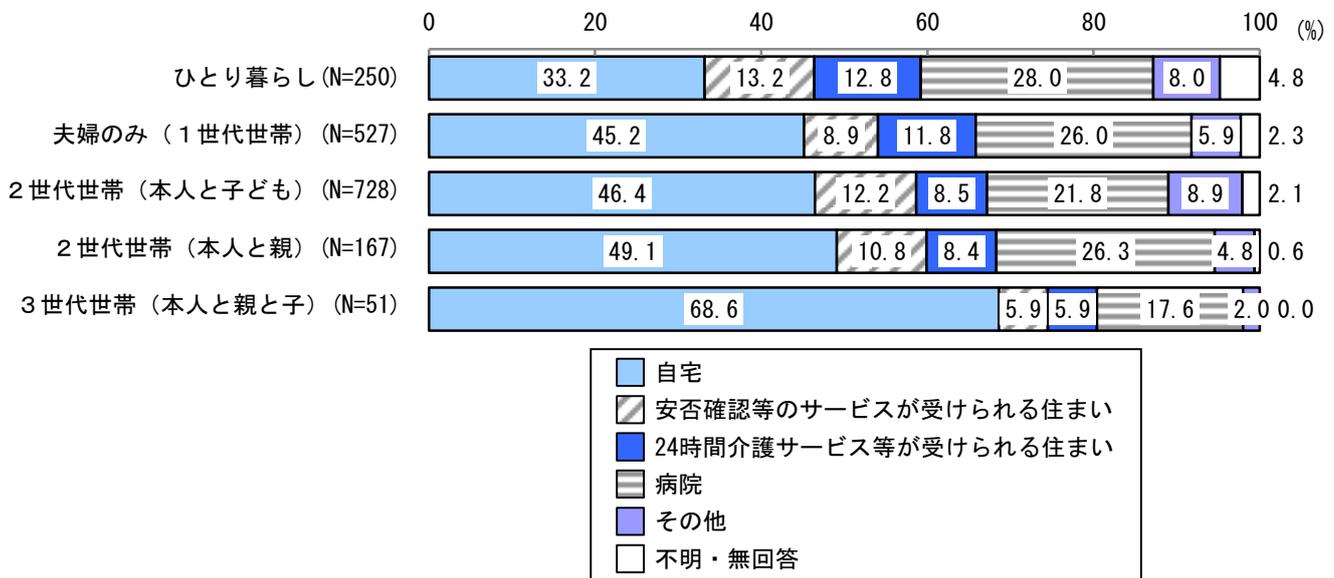
問 31 人生の最期はどこで迎えたいですか。

【図 8-4 最期を迎える場所（経年比較）】



人生の最期を迎えたい場所についてみると、「自宅」が45.4%と最も高く、次いで、「病院」が24.4%、「安否確認等のサービスが受けられる住まい」が10.9%となっています。
前回調査（平成28年度）と比較して、ほぼ横ばいです。

【図 8-4-1 最期を迎える場所（世帯構成別）】



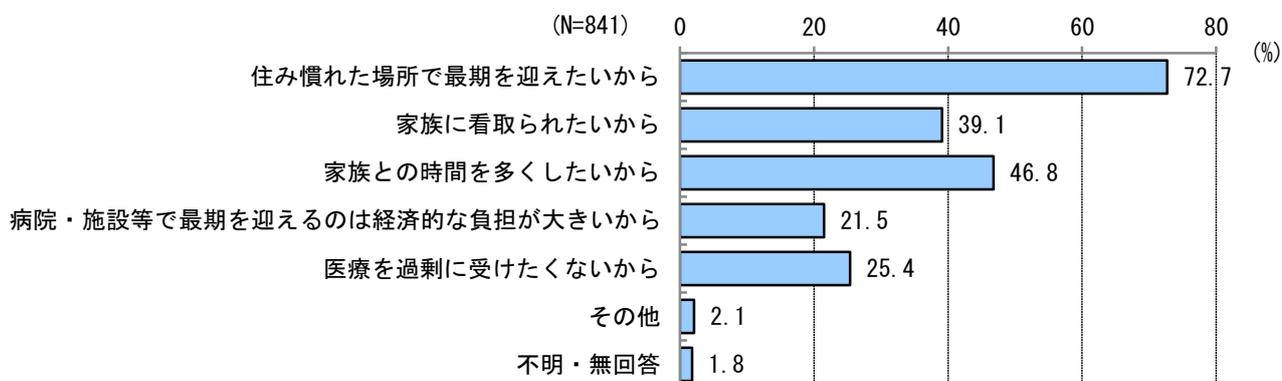
人生の最期を迎えたい場所について、世帯構成別でみると、「3世代世帯（本人と親と子）」において、「自宅」の割合が68.6%と最も高くなっています。

(5) 自宅を選んだ理由

【問31で「1. 自宅」を選択した方にお伺いします。】

問32 自宅を選んだ理由について教えてください。(複数回答)

【図8-5 自宅を選んだ理由】



自宅で最期を迎えたい理由についてみると、「住み慣れた場所で最期を迎えたいから」が72.7%と最も高く、次いで、「家族との時間を多くしたいから」が46.8%、「家族に看取られたいから」が39.1%となっています。

【図8-5-1 自宅を選んだ理由(世帯構成別)】 ※上位3項目を掲載

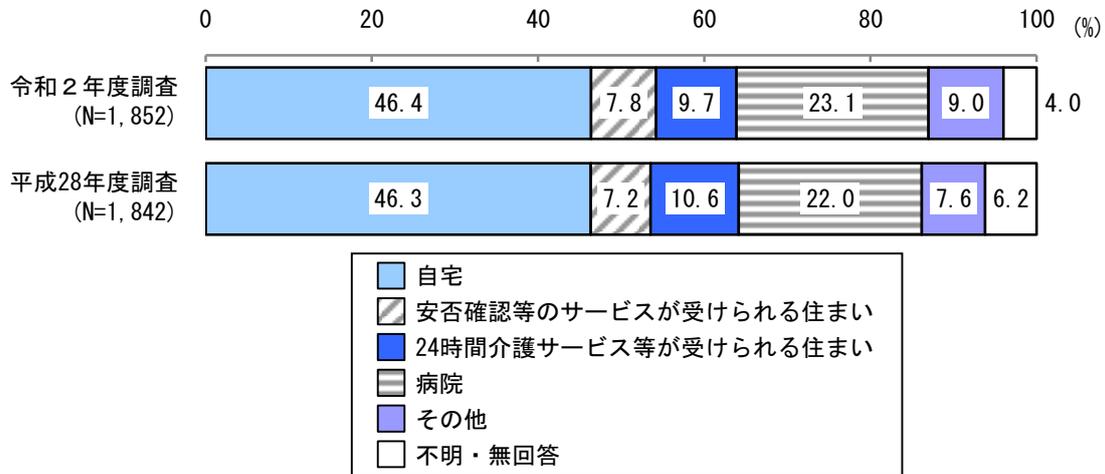
	第1位	第2位	第3位
ひとり暮らし (N=83)	住み慣れた場所で最期を迎えたいから 72.3%	医療を過剰に受けたくないから 27.7%	病院・施設等で最期を迎えるのは経済的な負担が大きいから 18.1%
夫婦のみ(1世代世帯) (N=238)	住み慣れた場所で最期を迎えたいから 79.0%	家族との時間を多くしたいから 45.8%	家族に看取られたいから 38.2%
2世代世帯(本人と子ども) (N=338)	住み慣れた場所で最期を迎えたいから 67.8%	家族との時間を多くしたいから 58.0%	家族に看取られたいから 46.2%
2世代世帯(本人と親) (N=82)	住み慣れた場所で最期を迎えたいから 76.8%	家族との時間を多くしたいから 37.8%	家族に看取られたいから 29.3%
3世代世帯(本人と親と子) (N=35)	住み慣れた場所で最期を迎えたいから 68.6%	家族との時間を多くしたいから 51.4%	家族に看取られたいから 42.9%

自宅で最期を迎えたい理由について、世帯構成別でみると、すべての世帯構成において、「住み慣れた場所で最期を迎えたいから」の割合が最も高くなっています。

(6) 家族の人生の最期の場所

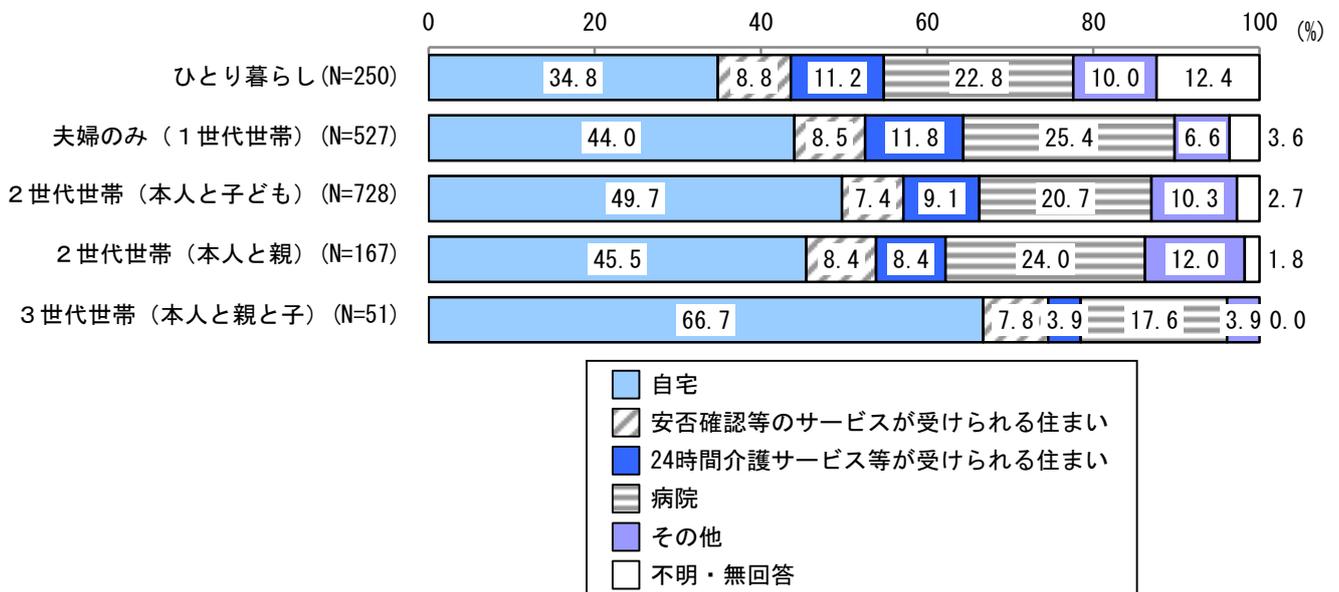
問 33 家族の人生の最期はどこで迎えさせてあげたいですか。

【図 8-6 家族の人生の最期の場所（経年比較）】



家族の人生の最期を迎えさせてあげたい場所についてみると、「自宅」が46.4%と最も高く、次いで、「病院」が23.1%、「24時間介護サービス等が受けられる住まい」が9.7%となっています。前回調査（平成28年度）と比較して、ほぼ横ばいです。

【図 8-6-1 家族の人生の最期の場所（世帯構成別）】

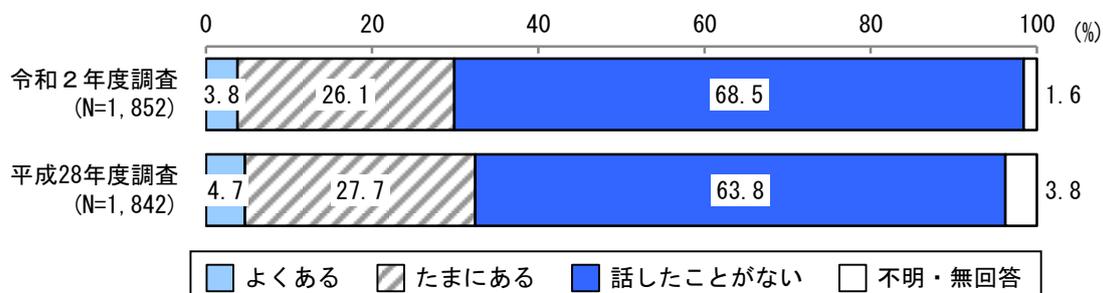


家族の人生の最期を迎えさせてあげたい場所について、世帯構成別でみると、「3世代世帯（本人と親と子）」において、「自宅」の割合が66.7%と最も高くなっています。

(7) 人生の最期について家族と会話するか

問 34 あなたは、人生の最期をどこで迎えたいかについて、家族と会話することはありますか。

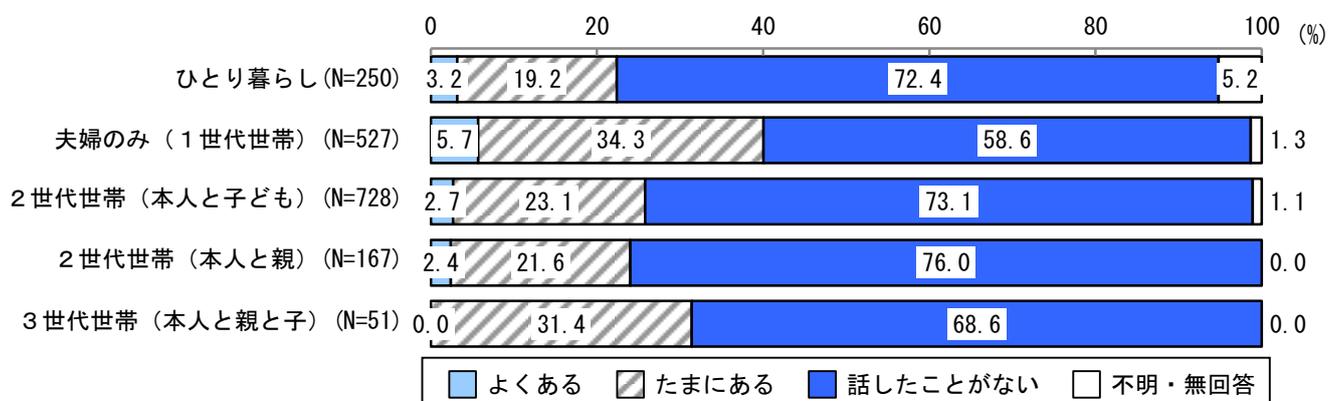
【図 8-7 人生の最期について家族と会話するか（経年比較）】



人生の最期について家族と会話するかについてみると、「話したことがない」が 68.5%と最も高く、次いで、「たまにある」が 26.1%、「よくある」が 3.8%となっています。

前回調査（平成 28 年度）と比較して、ほぼ横ばいです。

【図 8-7-1 人生の最期について家族と会話するか（世帯構成別）】



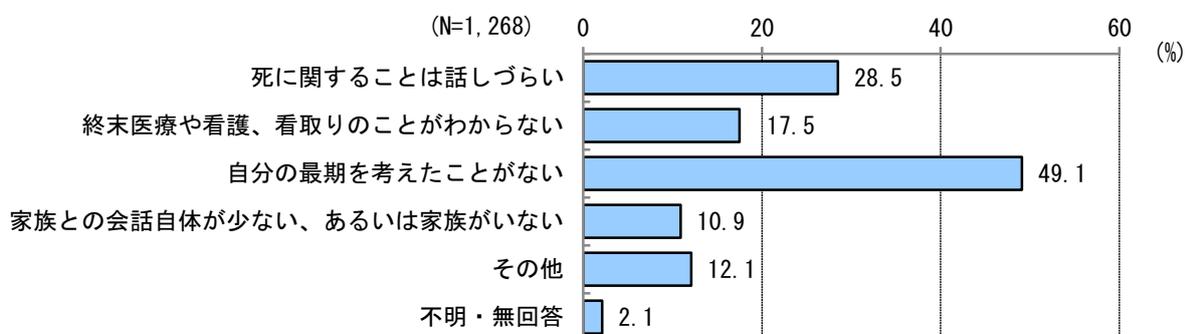
人生の最期について家族と会話するかについて、世帯構成別でみると、「よくある」「たまにある」を合わせた割合は、「夫婦のみ（1世代世帯）」において 40.0%と最も高くなっています。

(8) 人生の最期について話したことがない理由

【問 34 で「3. 話したことがない」を選択した方にお伺いします。】

問 35 話したことがない理由について教えてください。(複数回答)

【図 8-8 人生の最期について話したことがない理由】



人生の最期について話したことがない理由についてみると、「自分の最期を考えたことがない」が 49.1%と最も高く、次いで、「死に関することは話しづらい」が 28.5%、「終末医療や看護、看取りのことがわからない」が 17.5%となっています。

【図 8-8-1 人生の最期について話したことがない理由 (年齢別)】 ※上位 3 項目を掲載

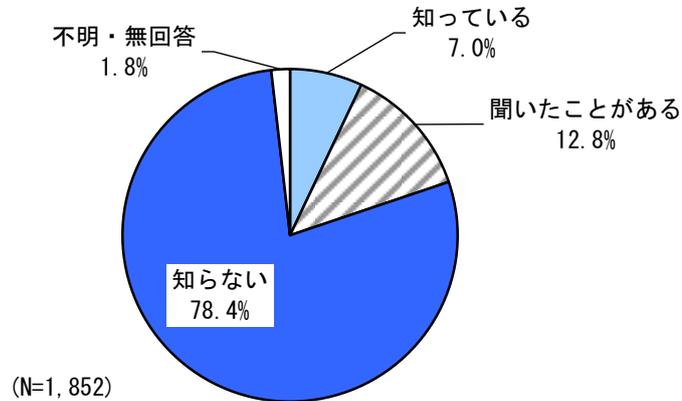
	第 1 位	第 2 位	第 3 位
20歳～29歳 (N=132)	自分の最期を考えたことがない 62.9%	死に関することは話しづらい 23.5%	終末医療や看護、看取りのことがわからない 9.1%
30歳～39歳 (N=196)	自分の最期を考えたことがない 61.2%	死に関することは話しづらい 30.6%	終末医療や看護、看取りのことがわからない 15.3%
40歳～49歳 (N=250)	自分の最期を考えたことがない 56.8%	死に関することは話しづらい 26.0%	終末医療や看護、看取りのことがわからない 18.8%
50歳～59歳 (N=238)	自分の最期を考えたことがない 47.1%	死に関することは話しづらい 25.6%	終末医療や看護、看取りのことがわからない 16.8%
60歳～69歳 (N=172)	自分の最期を考えたことがない 40.7%	死に関することは話しづらい 27.9%	家族との会話自体が少ない、あるいは家族がいない 16.3%
70歳～79歳 (N=172)	自分の最期を考えたことがない 36.0%	死に関することは話しづらい 36.0%	終末医療や看護、看取りのことがわからない 25.0%
80歳以上 (N=101)	自分の最期を考えたことがない 29.7%	死に関することは話しづらい 29.7%	終末医療や看護、看取りのことがわからない 23.8%

人生の最期について話したことがない理由について、年齢別でみると、すべての年齢層で「自分の最期を考えたことがない」が最も高く、70歳以上では「死に関することは話しづらい」も高くなっています。

(9) 人生会議（ACP アドバンス・ケア・プランニング）の認知度

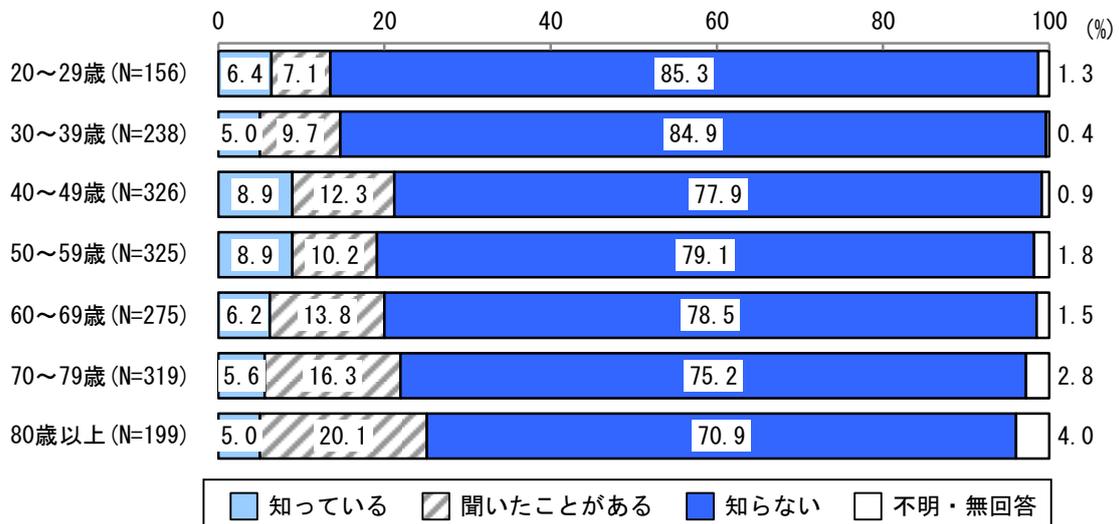
問 36 あなたは、人生会議（ACP アドバンス・ケア・プランニング）という取り組みを知っていますか。

【図 8-9 人生会議（ACP アドバンス・ケア・プランニング）の認知度】



人生会議（ACP アドバンス・ケア・プランニング）の認知度についてみると、「知らない」が 78.4% と最も高く、次いで、「聞いたことがある」が 12.8%、「知っている」が 7.0%となっています。

【図 8-9-1 人生会議（ACP アドバンス・ケア・プランニング）の認知度（年齢別）】



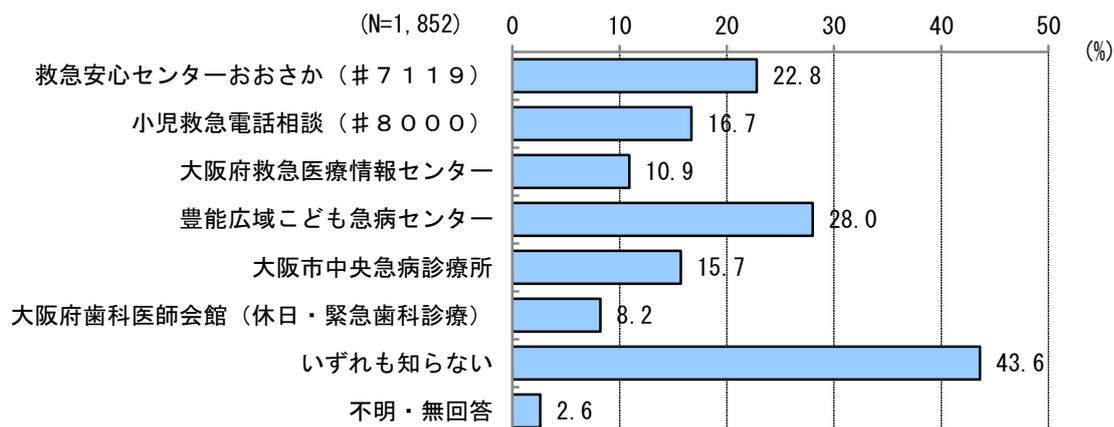
人生会議（ACP アドバンス・ケア・プランニング）の認知度について、年齢別でみると、すべての年齢層において、「知っている」の割合は1割未満となっています。

9. 救急医療について

(1) 救急相談・受診先の認知度

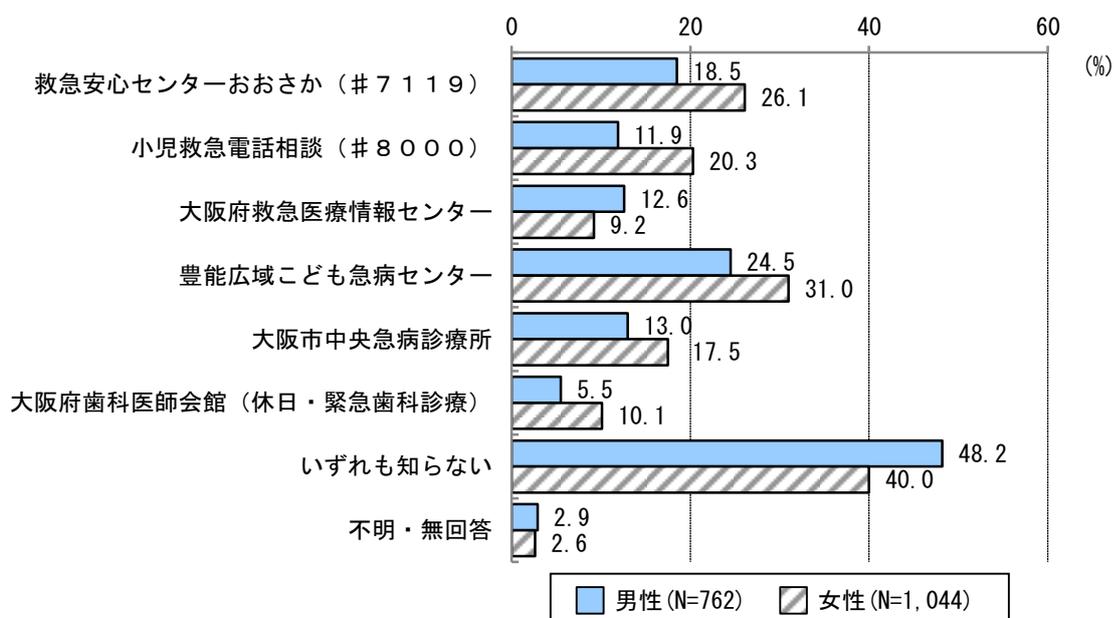
問 37 市内の救急対応医療機関以外の救急として、次の相談・受診先の内、知っているものを教えてください。(複数回答)

【図9-1 救急相談・受診先の認知度】



救急相談・受診先の認知度についてみると、「いずれも知らない」が43.6%と最も高く、次いで、「豊能広域こども急病センター（小児科）」が28.0%、「救急安心センターおおさか（#7119）」が22.8%となっています。

【図9-1-1 救急相談・受診先の認知度（性別）】



救急相談・受診先の認知度について、性別で見ると、「いずれも知らない」の割合は、「男性」では48.2%、「女性」では40.0%となっています。

【図9-1-2 救急相談・受診先の認知度（年齢別）】 ※上位3項目を掲載

	第1位	第2位	第3位
20歳～29歳 (N=156)	いずれも知らない 75.0%	救急安心センターおおさか（#7119） 14.1%	豊能広域こども急病センター 9.6%
30歳～39歳 (N=238)	小児救急電話相談（#8000） 44.5%	豊能広域こども急病センター 40.8%	いずれも知らない 33.2%
40歳～49歳 (N=326)	豊能広域こども急病センター 53.4%	小児救急電話相談（#8000） 34.7%	いずれも知らない 29.4%
50歳～59歳 (N=325)	豊能広域こども急病センター 38.5%	いずれも知らない 37.2%	救急安心センターおおさか（#7119） 24.6%
60歳～69歳 (N=275)	いずれも知らない 47.6%	救急安心センターおおさか（#7119） 23.3%	大阪市中央急病診療所 18.9%
70歳～79歳 (N=319)	いずれも知らない 48.6%	救急安心センターおおさか（#7119） 24.5%	豊能広域こども急病センター 13.5%
80歳以上 (N=199)	いずれも知らない 52.3%	救急安心センターおおさか（#7119） 21.6%	大阪府救急医療情報センター 11.1%

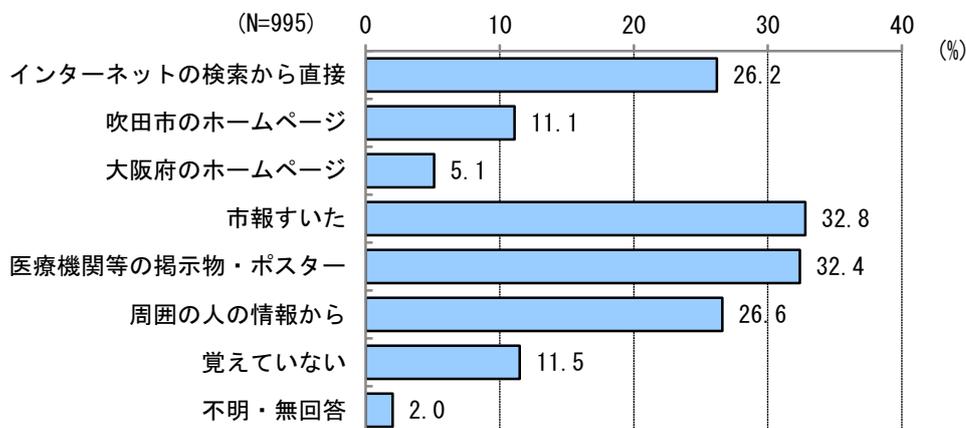
救急相談・受診先の認知度について、年齢別でみると、30～39歳では「小児救急電話相談（#8000）」、40～59歳では「豊能広域こども急病センター」、それ以外の年齢層では「いずれも知らない」の割合が最も高くなっています。

(2) 救急相談・受診先の情報の入手手段

【問 37 で選択肢 1～6 を選択した方にお伺いします。】

問 38 問 37 の○をした相談・受診先はどこで知ったか教えてください。(複数回答)

【図 9-2 救急相談・受診先の情報の入手手段】



救急相談・受診先の情報の入手手段についてみると、「市報すいた」が 32.8%と最も高く、次いで、「医療機関等の掲示物・ポスター」が 32.4%、「周囲の人の情報から」が 26.6%となっています。

【図 9-2-1 救急相談・受診先の情報の入手手段 (年齢別)】 ※上位 3 項目を掲載

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
20歳～29歳 (N=39)	インターネットの検索から直接 33.3%	周囲の人の情報から 33.3%	市報すいた 20.5%
30歳～39歳 (N=156)	インターネットの検索から直接 45.5%	医療機関等の掲示物・ポスター 34.0%	周囲の人の情報から 33.3%
40歳～49歳 (N=229)	インターネットの検索から直接 32.8%	医療機関等の掲示物・ポスター 31.4%	周囲の人の情報から 30.1%
50歳～59歳 (N=201)	市報すいた 33.8%	医療機関等の掲示物・ポスター 30.8%	インターネットの検索から直接 28.4%
60歳～69歳 (N=135)	医療機関等の掲示物・ポスター 37.8%	市報すいた 34.1%	インターネットの検索から直接 21.5%
70歳～79歳 (N=148)	市報すいた 49.3%	医療機関等の掲示物・ポスター 35.1%	周囲の人の情報から 23.0%
80歳以上 (N=78)	市報すいた 48.7%	医療機関等の掲示物・ポスター 28.2%	周囲の人の情報から 23.1%

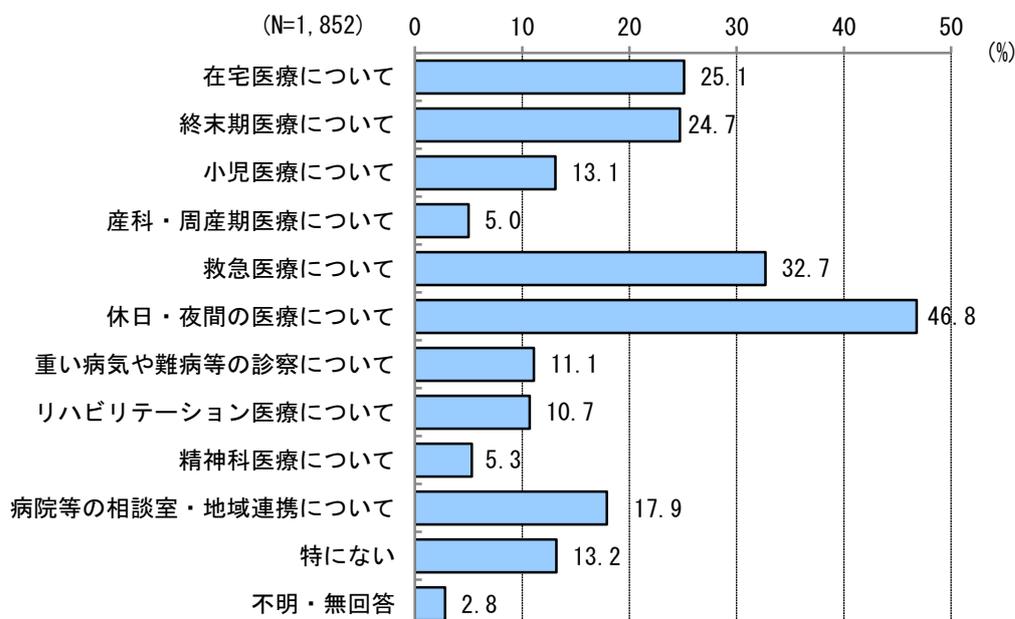
救急相談・受診先の情報の入手手段について、年齢別でみると、20～49歳では「インターネットの検索から直接」、50歳以上では「市報すいた」「医療機関等の掲示物・ポスター」の割合が最も高くなっています。

10. 医療の充実について

(1) 充実してほしい医療

問 39 市内で特に充実してほしい医療について教えてください。(複数回答)

【図 10-1 充実してほしい医療】



充実してほしい医療についてみると、「休日・夜間の医療について」が46.8%と最も高く、次いで、「救急医療について」が32.7%、「在宅医療について」が25.1%となっています。

【図 10-1-1 充実してほしい医療（年齢別）】

	第1位	第2位	第3位
20歳～29歳 (N=156)	休日・夜間の医療について 46.2%	救急医療について 26.9%	病院等の相談室・地域連携について 16.7%
30歳～39歳 (N=238)	休日・夜間の医療について 55.9%	小児医療について 43.3%	救急医療について 38.7%
40歳～49歳 (N=326)	休日・夜間の医療について 60.7%	救急医療について 32.5%	小児医療について 23.0%
50歳～59歳 (N=325)	休日・夜間の医療について 50.2%	救急医療について 35.1%	終末期医療について 28.6%
60歳～69歳 (N=275)	休日・夜間の医療について 41.8%	終末期医療について 32.7%	救急医療について 32.4%
70歳～79歳 (N=319)	休日・夜間の医療について 38.9%	在宅医療について 33.5%	救急医療について 32.6%
80歳以上 (N=199)	在宅医療について 38.7%	終末期医療について 37.2%	休日・夜間の医療について 28.6%

充実してほしい医療について、年齢別でみると、80歳未満では「休日・夜間の医療について」、80歳以上では「在宅医療について」の割合が最も高くなっています。

11. 自由回答

(1) 市内の医療機関について

単位:件

回答グループ	回答要約	件数
医療機関の立地やアクセスについて	バスなどの通院手段を充実させてほしい	11
	小児救急に対応している医療機関へのアクセスが不便である	2
	自家用車などの通院手段を持っていない	1
	その他	4
診察の待ち時間について	診察の待ち時間が長い	6
救急・時間外診療について	休日や夜間に受診できる医療機関を増やしてほしい・充実させてほしい	10
	救急時の受け入れ先の手配に時間がかかっている	1
	救急外来(小児夜間救急含む)を充実させてほしい	6
	救急時に希望する病院に受け入れられない	3
	その他	4
医療機関の充実について	市内全域に万遍なく医療機関を設置してほしい	9
	駐車場が混雑している・止める場所がないなど利用しにくい	1
	医療ビル・医療モールをつくらしてほしい	1
	その他	2
診療・治療について	パソコンを見ながら診察する医師が多い	2
	その他	2
診療科目等の充実について	予防接種や小児科を充実させてほしい	3
	総合診療が可能になってほしい	3
	その他	10
その他	医療機関やスタッフの質を向上させてほしい	12
	吹田市の医療機関に満足している	16
	その他	2

(2) 検(健)診について

単位:件

回答グループ	回答要約	件数
検(健)診の充実について	がん検診等を充実させてほしい	1
	検診専用の施設がほしい	1
	休日にも検診を受けられるようにしてほしい	1
	手続きの方法を簡単にしてほしい	1
	その他	3

(3) 施策・医療制度について

単位:件

回答グループ	回答要約	件数
医療費について	医療費を安くしてほしい・無料にしてほしい	8
	小児医療費を安くしてほしい・無料にほしい	11
	現状に見合った、適切な保険料設定・徴収をしてほしい	5
	将来が不安である	2
	不妊治療の援助・補助に取り組んでほしい	1
	その他	2
かかりつけ医について	かかりつけ医制度が分かりにくい	1
	かかりつけ医の見つけ方、探し方がわからない	1
	かかりつけ医に専門の医療機関を紹介してもらい感謝している	1
	その他	4
在宅医療について	自宅で安心して最期を迎えるために、在宅医療を進めてほしい	1
その他	高齢者以外に対しても医療制度を充実させてほしい	6
	医療従事者の待遇にも目を向けてほしい	6
	その他	4

(4) 情報・相談体制について

単位:件

回答グループ	回答要約	件数
情報提供について	医療サービスや医療機関の情報がほしい(ホームページ、マップ等)	12
	医療制度などの情報がほしい	6
	その他	3
相談体制について	市民への周知にもっと力を入れてほしい	1
	その他	3

(5) 高齢者に対する医療施策について

単位:件

回答グループ	回答要約	件数
高齢者施策の充実について	特別養護老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅を充実させてほしい	2
	高齢者に対する医療施策を充実させてほしい	2
	在宅医療や在宅介護を充実させてほしい	2
	高齢者が家族に負担をかけないような施策を希望する	3
	その他	3

(6) 新型コロナウイルスの影響について

単位:件

回答グループ	回答要約	件数
新型コロナウイルスについて	新型コロナウイルス感染拡大防止について	2
	その他	5

(7) その他

単位:件

回答グループ	回答要約	件数
その他	アンケートについて	9
	今後も医療の発展に向けて頑張してほしい	10
	吹田市は医療が充実していると思う	15
	その他	10

Ⅲ. 調査結果からみた課題

1. 医療機関の役割分担について

■まとめ

(1) 医療機関の役割分担

- ・半数以上（53.9%）の人が医療機関に役割があることを「知っている」と答えています。
 - ・一方、4割台（44.9%）の人においては、医療機関の役割分担が十分に認知されていません※。
- ※「聞いたことがある」と「知らない」の合計

(2) 初診時選定療養費

- ・初診時選定療養費については、7割弱（67.7%）の人が「知っている」と答えています。
- ・医療機関の役割分担について「知っている」人は、初診時選定療養費についても「知っている」割合が高くなっています。

(3) 初診時選定療養費をふまえた受診行動

- ・初診時選定療養費の仕組みを踏まえた場合、半数以上（53.2%）の人は病気になった時に、診療所、比較的小さな病院を受診すると答えています。
- ・しかし、初診時選定療養費を払ってでも大規模病院を受診するという人※も4割（39.7%）います。
- ・初診時選定療養費を払ってでも大規模病院を受診する理由としては、病院のほうが高度な機器で検査を受けられる（67.3%）、複数の診療科が揃っている（56.5%）など、大規模病院に特有の理由が高い割合となっています。一方、自宅等から近い（25.4%）、前から診てもらっている（18.2%）、自分の病歴等をよく知っている（14.3%）など、必ずしも大規模病院に特有ではないと思われる理由もみられます。また、大きな病院の方が安心（46.4%）というように、大病院に対する漠然とした信頼感も高い割合となっています。

※「初診時選定療養費を払い、大規模病院を受診する」と「場合によっては、初診時選定療養費を払い大規模病院を受診する」の合計

■課題

- ・限られた医療資源の中で、今後の医療需要に対応していくためには、医療機関の役割分担と連携が必要となります。病院と病院、病院と診療所など、医療機関間の切れ目ない医療連携をさらに推進していく必要があります。
- ・また、市民が安心して必要な医療を受けることができるよう、医療を取り巻く状況を踏まえ、医療機関の役割分担の必要性や医療のかかり方などについて、市民に対する丁寧な情報提供を行う必要があります。

2. かかりつけ医等について

■まとめ

(1) かかりつけ医の認知度、かかりつけ医の有無

- ・かかりつけ医を「知っている」人は7割(71.0%)で、「聞いたことがある」を合わせると9割以上(91.2%)の人に認知されています。
- ・実際にかかりつけ医がいる人は6割弱(57.0%)となっています。年齢の高い層でかかりつけ医がいる割合が高く、60歳代で7割(70.5%)、70歳代で8割(81.2%)、80歳以上で9割弱(87.9%)となっています。

(2) かかりつけ医のいる医療機関

- ・かかりつけ医がいる人の7割(69.8%)は、診療所・比較的小さな病院にかかりつけ医を持っています。1割(11.4%)は大規模病院にかかりつけ医がいると答えています。
- ・診療所・比較的小さな病院をかかりつけ医としている理由としては、自宅等から近い(79.8%)、前から診てもらっている(59.6%)、自分の病歴等をよく知っている(45.6%)など、地域で同じ医師と長く関わることが上位となっています。また、必要時には専門医や医療機関を紹介してもらえること(48.7%)の割合も高く、ゲートキーパーとしての役割が重視されていることがうかがえます。一方、どんな病気の相談にもものってくれる(21.0%)、予防や介護の相談にもものってくれる(9.2%)など、幅広い診療や予防などの全般的な健康管理については、やや低い割合となっています。いつでも診てくれる(12.9%)という、緊急時の対応についても低い割合となっています。
- ・一方、大規模病院をかかりつけ医としている理由も、診療所・比較的小さな病院をかかりつけ医としている理由と類似しており、前から診てもらっている(65.1%)、自分の病歴等をよく知っている(48.2%)、自宅や職場から近い(46.1%)など、必ずしも大規模病院に特有ではないと思われる理由が上位となっています。

(3) かかりつけ医の有無と初診時選定療養費をふまえた受診行動

- ・診療所・比較的小さな病院にかかりつけ医がいる人は、初診時選定療養費を払ってでも大規模病院を受診する割合※が3割台(35.0%)と低く、身近にかかりつけ医がいることで、大規模病院に患者が集中しにくくなることが示されています。

※「初診時選定療養費を払い、大規模病院を受診する」と「場合によっては、初診時選定療養費を払い大規模病院を受診する」の合計

(4) かかりつけ医を持たない理由

- ・かかりつけ医を持たない理由としては、医療機関に行く機会が少ないことが6割弱(58.5%)と最も高く、70歳未満の年齢層でとくに高くなっています。
- ・症状によって医療機関を選んでいることも4割台(43.5%)と高く、複数の医療機関と関わる人が多いと思われる70歳以上の年齢層でとくに高くなっています。
- ・問い合わせ先が分からないも2割弱(18.0%)と、3番目に高い割合となっています。

(5) かかりつけ歯科医

- ・かかりつけ歯科医がいる人は7割強(71.6%)となっています。年齢層が上がるにつれてかかりつけ歯科医がいる割合も高くなり、60歳以上で8割前後となっています。
- ・かかりつけ歯科医を持った理由としては、自宅等から近いが7割強(72.0%)、丁寧に説明してくれるが5割(50.8%)、予防のための指導やアドバイスをくれるが3割台(36.3%)となっています。

(6) かかりつけ薬局

- ・かかりつけ薬局を決めている人は4割台(44.4%)となっています。年齢層が上がるにつれてかかりつけ薬局を決めている割合も高くなり、70歳代で7割弱(68.0%)、80歳以上で8割弱(78.4%)となっています。
- ・かかりつけ薬局を決めていない理由としては、かかった医療機関の近くの薬局に行く方が便利との理由が7割台(75.4%)と最も高くなっています。
- ・かかりつけ医がいる人はかかりつけ薬局を決めている人が多く(64.1%)、かかりつけ医の有無とかかりつけ薬局の有無に関連性がうかがえます。

(7) お薬手帳

- ・お薬手帳を持っている人※は、9割弱(88.4%)となっています。
- ・お薬手帳を持ち、活用している人は6割(59.4%)、活用していない人は3割(29.0%)となっています。
- ・お薬手帳を持ち、活用している人の割合は、年齢層が上がるにつれて高くなり、60歳以上で7割前後となっています。
- ・かかりつけ薬局を決めている人は、お薬手帳を持ち、活用している割合も高く(80.5%)なっています。

※「お薬手帳を持ち、活用している」と「お薬手帳を持っているが、活用していない」の合計

(8) ジェネリック医薬品

- ・ジェネリック医薬品について知っている人は9割以上(93.6%)となっています。
- ・ジェネリック医薬品の使用を希望する人※は7割強(72.5%)、希望しない人※は1割強(13.1%)となっています。「わからない」との答えも1割強(12.0%)みられました。
- ・ジェネリック医薬品を希望しない理由としては、これまで服用していた薬を変えることへの不安が4割(39.5%)と最も高く、効果が低い(33.7%)や、信用できない(24.7%)の割合も高くなっています。

※希望する人：「現在ジェネリック医薬品を使用しており、今後も使用を希望する」と「現在ジェネリック医薬品を使用していないが、今後は使用を希望する」の合計

※希望しない人：「現在ジェネリック医薬品を使用しているが、今後は使用を希望しない」と「現在ジェネリック医薬品を使用しておらず、今後も使用を希望しない」の合計

■課題

- ・かかりつけ医・かかりつけ歯科医・かかりつけ薬局のさらなる定着促進のため、市民がかかりつけを中心として必要な医療を適切に受けることができるよう、例えば医療機関にかかる機会が少ない若い年齢層に対しては、健診の機会などで自分の体や健康に関心を持つことと関連させてかかりつけ医の必要性や選び方、医療機関の情報等について提供をしていくなど、年齢や対象、機会をとらえた啓発を行うことが効果的だと思われます。また、医療に関する情報をインターネットから入手する人が急増していることから、情報の伝達方法も多様に対応していく必要があります。
- ・また、市民がまずかかりつけ医に安心して相談受診できるよう、かかりつけ医から大病院などへの紹介や、高度専門医療から日常の経過観察へと移行した際での大病院からかかりつけ医への逆紹介など、さらなる医療の連携促進の取組も必要です。
- ・お薬手帳をとおして、直接薬剤師への服薬相談や指導を受けることができることから、お薬手帳の利用促進と一体的に、一元的なかかりつけ薬局の促進を進めることが効果的であると言えます。

3. 在宅医療について

■まとめ

(1) 在宅療養の希望および実現の可能性

- ・在宅医療について知っている人は8割弱（78.6%）となっています。
- ・自宅での療養を希望する人※は6割台（66.0%）、希望しない人は3割（30.4%）となっています。
- ・自宅での療養を希望していても実現が難しいと考える人は5割弱（48.7%）で、実現が可能と考える人（17.3%）を大きく上回っています。

※「自宅での療養を希望し、その実現は可能である」と「自宅での療養を希望するが、その実現は難しい」の合計

(2) 在宅療養が困難な理由

- ・在宅療養の実現が困難、または、希望しない理由としては、家族に負担をかけたくないが7割弱（68.6%）と最も高く、療養のための環境が整っていない（39.8%）、経済的な負担についての不安（35.1%）、在宅療養についての情報が少なく想像できない（34.6%）、緊急時の医療体制の不安（26.9%）などが答えられています。

(3) 人生の最期をどこで迎えたいか

- ・人生の最期を迎えたい場所は、自宅が4割台（45.4%）と最も高くなっています。
- ・家族の最期の場所の希望についても、自宅が4割台（46.4%）と最も高くなっています。
- ・自宅で最期を迎えたい理由としては、住み慣れた場所で最期を迎えたいが7割強（72.7%）と最も高くなっています。

(4) 人生の最期に関する会話

- ・人生の最期について家族と会話することがある人※は3割(29.9%)、話したことがない人は7割弱(68.5%)となっています。
- ・人生の最期について家族と話したことがない理由は、自分の最期を考えたことがないが半数(49.1%)と最も高く、死に関することは話しづらいとの理由も3割弱(28.5%)となっています。
- ・人生会議(ACPアドバンス・ケア・プランニング)については、8割弱(78.4%)の人が知らないと答えています。

※「よくある」と「たまにある」の合計

■課題

- ・今回の調査でも、自宅で療養したいと思う「希望」と、自宅で療養が実現するかという「実現の可能性」には大きな差が生じています。実現を不安視する理由として、家族に係る負担への懸念や緊急時の医療体制への不安、経済的負担の実情や必要な在宅療養の環境などを含む在宅療養に関する情報不足が存在しています。
- ・市民が住み慣れた場所で最期まで大切な人と過ごしたいという希望を実現させるために、家族の負担軽減も含めた介護支援体制やかかりつけ医等を中心とした病院との連携体制、医療と介護に必要なコストなど、在宅療養との具体的なイメージが持てるよう、丁寧な情報提供が必要です。
また、ご本人・家族の不安を軽減し、思いを尊重した支援となるよう、医療と介護との包括的な連携促進や、在宅医療そのものの供給体制の更なる整備、医療連携の促進などが求められます。
- ・また、人生の最終段階において、どのような医療やケアを望むかという本人の意思が共有されず、結果的に意思が尊重されない場合や家族に判断が求められる場合があります。
「人生の最期を自宅で過ごしたい」「自宅で過ごさせてあげたい」と考える人が半数近くおられるものの、その意思について事前に家族と話している方はまだまだ少ない現状です。
元気なうちから自分の最期について話をしておくことへの抵抗感もあるかもしれませんが、簡単には決められないことだからこそ、繰り返し自分の思いを大切な人やかかりつけ医などと共有しておくことが大切です。
そうした「人生会議」についての認知度はまだまだ低いことから、その大切さなどについて自事として考えることができるよう、市民にわかりやすく情報提供していくことが重要です。

4. 救急医療・医療の充実について

■まとめ

(1) 救急相談・受診先の認知度

- ・救急相談・受診先の認知度について、「いずれも知らない」が4割強（43.6%）と高くなっています。
- ・比較的認知度が高い救急相談・受診先としては、「豊能広域こども急病センター」が3割弱（28.0%）、「救急安心センターおおさか（#7119）」が2割強（22.8%）となっています。
- ・救急相談・受診先をどこで知ったかについては、50歳未満ではインターネットの割合が高く、50歳以上では「市報すいた」や医療機関等の掲示物・ポスターなどの割合が高くなっています。

(2) 充実してほしい医療

- ・市内で特に充実してほしい医療は、休日・夜間の医療が4割台（46.8%）と最も高く、救急医療（32.7%）、在宅医療（25.1%）、終末期医療（24.7%）、病院等の相談室・地域連携（17.9%）などの割合が高くなっています。年齢別でみると、在宅医療の充実には70歳以上、終末期医療の充実には50歳以上の年齢層で上位となっています。

■課題

- ・充実してほしい医療として、休日・夜間の医療や救急医療、また在宅医療、終末期医療などの充実が求められています。市民が安心して必要な医療を受けることができるよう、限られた医療資源の中で、24時間、365日の医療提供体制を整備するためには、地域の医療機関全体での役割分担と連携が必要です。
- ・また、状態により受診の必要性を相談できる機関の存在や、休日夜間に受診できる医療機関などについての認知度が低いことから、広く市民全体に対して、機会や手段を工夫した情報提供を行うことが重要です。

IV. 資料

1. クロス集計結果（性別・年齢別・地域別）

■問1 性別

		調査数	男性	女性	不明・無回答
全体		1,852 100.0	762 41.1	1,044 56.4	46 2.5
性別	男性	762 100.0	762 100.0	0 0.0	0 0.0
	女性	1,044 100.0	0 0.0	1,044 100.0	0 0.0
年齢	20～29歳	156 100.0	70 44.9	84 53.8	2 1.3
	30～39歳	238 100.0	89 37.4	148 62.2	1 0.4
	40～49歳	326 100.0	132 40.5	187 57.4	7 2.1
	50～59歳	325 100.0	136 41.8	185 56.9	4 1.2
	60～69歳	275 100.0	118 42.9	154 56.0	3 1.1
	70～79歳	319 100.0	136 42.6	172 53.9	11 3.4
	80歳以上	199 100.0	80 40.2	112 56.3	7 3.5
	地域	J R以南地域	144 100.0	58 40.3	81 56.3
片山・岸部地域		245 100.0	114 46.5	128 52.2	3 1.2
豊津・江坂・南吹田		302 100.0	130 43.0	167 55.3	5 1.7
千里山・佐井寺地域		318 100.0	113 35.5	197 61.9	8 2.5
山田・千里丘地域		401 100.0	172 42.9	226 56.4	3 0.7
千里ニュータウン・万博・阪大地域		356 100.0	143 40.2	204 57.3	9 2.5

■問2 年齢

		調査数	20歳	30歳	40歳	50歳	60歳	70歳	80歳以上	不明・無回答
全体		1,852 100.0	156 8.4	238 12.9	326 17.6	325 17.5	275 14.8	319 17.2	199 10.7	14 0.8
性別	男性	762 100.0	70 9.2	89 11.7	132 17.3	136 17.8	118 15.5	136 17.8	80 10.5	1 0.1
	女性	1,044 100.0	84 8.0	148 14.2	187 17.9	185 17.7	154 14.8	172 16.5	112 10.7	2 0.2
年齢	20～29歳	156 100.0	156 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	30～39歳	238 100.0	0 0.0	238 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	40～49歳	326 100.0	0 0.0	0 0.0	326 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	50～59歳	325 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	325 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	60～69歳	275 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	275 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	70～79歳	319 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	319 100.0	0 0.0	0 0.0
	80歳以上	199 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	199 100.0	0 0.0
	地域	J R以南地域	144 100.0	14 9.7	9 6.3	23 16.0	22 15.3	25 17.4	30 20.8	21 14.6
片山・岸部地域		245 100.0	13 5.3	46 18.8	33 13.5	40 16.3	39 15.9	47 19.2	27 11.0	0 0.0
豊津・江坂・南吹田		302 100.0	32 10.6	52 17.2	52 17.2	62 20.5	45 14.9	43 14.2	16 5.3	0 0.0
千里山・佐井寺地域		318 100.0	39 12.3	44 13.8	60 18.9	58 18.2	41 12.9	46 14.5	29 9.1	1 0.3
山田・千里丘地域		401 100.0	30 7.5	45 11.2	74 18.5	74 18.5	62 15.5	73 18.2	40 10.0	3 0.7
千里ニュータウン・万博・阪大地域		356 100.0	26 7.3	37 10.4	71 19.9	51 14.3	47 13.2	67 18.8	56 15.7	1 0.3

■問3 居住地域

		調査数	J R以南地域	片山・岸部地域	豊津・江坂・南吹田地域	千里山・佐井寺地域	山田・千里丘地域	千里ニュータウン・万博・阪大地域	不明・無回答
全体		1,852 100.0	144 7.8	245 13.2	302 16.3	318 17.2	401 21.7	356 19.2	86 4.6
性別	男性	762 100.0	58 7.6	114 15.0	130 17.1	113 14.8	172 22.6	143 18.8	32 4.2
	女性	1,044 100.0	81 7.8	128 12.3	167 16.0	197 18.9	226 21.6	204 19.5	41 3.9
年齢	20~29歳	156 100.0	14 9.0	13 8.3	32 20.5	39 25.0	30 19.2	26 16.7	2 1.3
	30~39歳	238 100.0	9 3.8	46 19.3	52 21.8	44 18.5	45 18.9	37 15.5	5 2.1
	40~49歳	326 100.0	23 7.1	33 10.1	52 16.0	60 18.4	74 22.7	71 21.8	13 4.0
	50~59歳	325 100.0	22 6.8	40 12.3	62 19.1	58 17.8	74 22.8	51 15.7	18 5.5
	60~69歳	275 100.0	25 9.1	39 14.2	45 16.4	41 14.9	62 22.5	47 17.1	16 5.8
	70~79歳	319 100.0	30 9.4	47 14.7	43 13.5	46 14.4	73 22.9	67 21.0	13 4.1
	80歳以上	199 100.0	21 10.6	27 13.6	16 8.0	29 14.6	40 20.1	56 28.1	10 5.0
	地域	J R以南地域	144 100.0	144 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
片山・岸部地域		245 100.0	0 0.0	245 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
豊津・江坂・南吹田地域		302 100.0	0 0.0	0 0.0	302 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
千里山・佐井寺地域		318 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	318 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
山田・千里丘地域		401 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	401 100.0	0 0.0	0 0.0
千里ニュータウン・万博・阪大地域		356 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	356 100.0	0 0.0

■問4 世帯構成

		調査数	ひとり暮らし	夫婦のみ(1世代)	子ども(2世代)	又(本人夫婦と本人)	又(本人夫婦と本人)	又(本人夫婦と本人)	その他	不明・無回答
全体		1,852 100.0	250 13.5	527 28.5	728 39.3	167 9.0	51 2.8	118 6.4	11 0.6	
性別	男性	762 100.0	93 12.2	262 34.4	292 38.3	66 8.7	19 2.5	29 3.8	1 0.1	
	女性	1,044 100.0	153 14.7	249 23.9	425 40.7	99 9.5	30 2.9	85 8.1	3 0.3	
年齢	20~29歳	156 100.0	36 23.1	14 9.0	12 7.7	63 40.4	8 5.1	23 14.7	0 0.0	
	30~39歳	238 100.0	20 8.4	38 16.0	131 55.0	33 13.9	3 1.3	13 5.5	0 0.0	
	40~49歳	326 100.0	22 6.7	33 10.1	228 69.9	25 7.7	8 2.5	9 2.8	1 0.3	
	50~59歳	325 100.0	34 10.5	61 18.8	175 53.8	24 7.4	13 4.0	17 5.2	1 0.3	
	60~69歳	275 100.0	36 13.1	120 43.6	82 29.8	16 5.8	4 1.5	17 6.2	0 0.0	
	70~79歳	319 100.0	43 13.5	182 57.1	61 19.1	4 1.3	2 0.8	20 6.3	0 0.0	
	80歳以上	199 100.0	59 29.6	77 38.7	37 18.6	1 0.5	6 3.0	17 8.5	2 1.0	
	地域	J R以南地域	144 100.0	23 16.0	40 27.8	46 31.9	12 8.3	9 6.3	14 9.7	0 0.0
片山・岸部地域		245 100.0	46 18.8	47 19.2	96 39.2	25 10.2	9 3.7	20 8.2	2 0.8	
豊津・江坂・南吹田地域		302 100.0	60 19.9	82 27.2	112 37.1	20 6.6	7 2.3	20 6.6	1 0.3	
千里山・佐井寺地域		318 100.0	29 9.1	88 27.7	143 45.0	29 9.1	11 3.5	18 5.7	0 0.0	
山田・千里丘地域		401 100.0	31 7.7	128 31.9	176 43.9	43 10.7	6 1.5	16 4.0	1 0.2	
千里ニュータウン・万博・阪大地域		356 100.0	54 15.2	116 32.6	124 34.8	32 9.0	7 2.0	23 6.5	0 0.0	

■問5 健康保険

		調査数	全国健康保険協会(協会けんぽ)	健康保険組合	等共済組合(公務員)	国民健康保険(自営業等)	国民健康保険(医師国保等)	方(75歳以上の医療)	後期高齢者医療	その他	加入していない	不明・無回答
全体		1,852 100.0	411 22.2	559 30.2	105 5.7	309 16.7	109 5.9	296 16.0	18 1.0	19 1.0	26 1.4	
性別	男性	762 100.0	160 21.0	246 32.3	47 6.2	135 17.7	38 5.0	111 14.6	13 1.7	7 0.9	5 0.7	
	女性	1,044 100.0	246 23.6	307 29.4	57 5.5	166 15.9	66 6.3	172 16.5	5 0.5	11 1.1	14 1.3	
年齢	20~29歳	156 100.0	46 29.5	72 46.2	10 6.4	15 9.6	3 1.9	0 0.0	1 0.6	6 3.8	3 1.9	
	30~39歳	238 100.0	75 31.5	110 46.2	25 10.5	13 5.5	10 4.2	0 0.0	1 0.4	2 0.8	2 0.8	
	40~49歳	326 100.0	104 31.9	151 46.3	27 8.3	30 9.2	8 2.5	0 0.0	3 0.9	1 0.3	2 0.6	
	50~59歳	325 100.0	104 32.0	134 41.2	29 8.9	40 12.3	11 3.4	0 0.0	4 1.2	0 0.0	3 0.9	
	60~69歳	275 100.0	56 20.4	67 24.4	11 4.0	107 38.9	7 7.3	0 0.0	5 1.8	5 1.8	4 1.5	
	70~79歳	319 100.0	24 7.5	20 6.3	1 0.3	91 28.5	47 14.7	124 38.9	4 1.3	5 1.6	3 0.9	
	80歳以上	199 100.0	2 1.0	4 2.0	2 1.0	12 6.0	9 4.5	168 84.4	0 0.0	0 0.0	2 1.0	
	地域	J R以南地域	144 100.0	34 23.6	28 19.4	8 5.6	27 18.8	9 6.3	27 18.8	4 2.8	5 3.5	2 1.4
片山・岸部地域		245 100.0	58 23.7	67 27.3	14 5.7	32 13.1	19 7.8	45 18.4	4 1.6	4 1.6	2 0.8	
豊津・江坂・南吹田地域		302 100.0	69 22.8	120 39.7	11 3.6	54 17.9	16 5.3	26 8.6	2 0.7	3 1.0	1 0.3	
千里山・佐井寺地域		318 100.0	75 23.6	104 32.7	19 6.0	57 17.9	16 5.0	35 11.0	1 0.3	3 0.9	8 2.5	
山田・千里丘地域		401 100.0	96 23.9	118 29.4	22 5.5	63 15.7	23 5.7	69 17.2	5 1.2	1 0.2	4 1.0	
千里ニュータウン・万博・阪大地域		356 100.0	59 16.6	105 29.5	28 7.9	57 16.0	19 5.3	82 23.0	2 0.6	2 0.6	2 0.6	

■問6 要介護認定

		調査数	要介護認定を受けている	要介護認定を受けていない	不明・無回答
全体		1,444 100.0	102 7.1	1,293 89.5	49 3.4
性別	男性	602 100.0	33 5.5	552 91.7	17 2.8
	女性	810 100.0	67 8.3	713 88.0	30 3.7
年齢	20~29歳	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	30~39歳	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	40~49歳	326 100.0	0 0.0	317 97.2	9 2.8
	50~59歳	325 100.0	1 0.3	322 99.1	2 0.6
	60~69歳	275 100.0	3 1.1	265 96.4	7 2.5
	70~79歳	319 100.0	32 10.0	271 85.0	16 5.0
	80歳以上	199 100.0	66 33.2	118 59.3	15 7.5
	地域	J R以南地域	121 100.0	11 9.1	102 84.3
片山・岸部地域		186 100.0	19 10.2	160 86.0	7 3.8
豊津・江坂・南吹田地域		218 100.0	6 2.8	208 95.4	4 1.8
千里山・佐井寺地域		234 100.0	12 5.1	216 92.3	6 2.6
山田・千里丘地域		323 100.0	16 5.0	297 92.0	10 3.1
千里ニュータウン・万博・阪大地域		292 100.0	33 11.3	247 84.6	12 4.1

■問7 要介護度

		調査数	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	不明・無回答
全体		102 100.0	28 27.5	10 9.8	18 17.6	22 21.6	5 4.9	9 8.8	6 5.9	4 3.9
性別	男性	33 100.0	9 27.3	1 3.0	10 30.3	6 18.2	1 3.0	3 9.1	2 6.1	1 3.0
	女性	67 100.0	19 28.4	9 13.4	7 10.4	16 23.9	4 6.0	6 9.0	3 4.5	3 4.5
年齢	20~29歳	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	30~39歳	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	40~49歳	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	50~59歳	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	60~69歳	3 100.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	1 33.3	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	70~79歳	32 100.0	9 28.1	2 6.3	5 15.6	5 15.6	2 6.3	3 9.4	4 12.5	2 6.3
	80歳以上	66 100.0	18 27.3	8 12.1	13 19.7	15 22.7	2 3.0	6 9.1	2 3.0	2 3.0
	地域	JR以南地域	11 100.0	6 54.5	0 0.0	1 9.1	2 18.2	1 9.1	0 0.0	1 9.1
片山・岸部地域		19 100.0	4 21.1	2 10.5	3 15.8	6 31.6	1 5.3	2 10.5	1 5.3	0 0.0
豊津・江坂・南吹田		6 100.0	2 33.3	1 16.7	3 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
千里山・佐井寺地域		12 100.0	2 16.7	2 16.7	2 16.7	1 8.3	1 8.3	1 8.3	2 16.7	1 8.3
山田・千里丘地域		16 100.0	2 12.5	1 6.3	3 18.8	6 37.5	2 12.5	2 12.5	0 0.0	0 0.0
千里・ラッパ・万博・阪大地域		33 100.0	10 30.3	3 9.1	5 15.2	6 18.2	0 0.0	4 12.1	2 6.1	3 9.1

■問8 年間収入

		調査数	100万円未満	100万円~150万円未満	150万円~200万円未満	200万円~250万円未満	250万円~300万円未満	300万円~350万円未満	350万円~400万円未満	400万円~450万円未満	450万円~500万円未満	500万円~550万円未満	550万円~600万円未満	600万円~650万円未満	650万円~700万円未満	700万円~750万円未満	750万円~800万円未満	800万円~850万円未満	850万円~900万円未満	900万円~950万円未満	950万円~1000万円未満	1000万円以上	わからない	不明・無回答
全体		1,852 100.0	92 5.0	187 10.1	286 15.4	218 11.8	186 10.0	118 6.4	113 6.1	118 6.4	84 4.5	74 4.0	216 11.7	111 6.0	49 2.6									
性別	男性	762 100.0	34 4.5	60 7.9	111 14.6	93 12.2	88 11.5	55 7.2	51 6.7	54 7.1	41 5.4	31 4.1	103 13.5	26 3.4	15 2.0									
	女性	1,044 100.0	54 5.2	121 11.6	168 16.1	119 11.4	97 9.3	63 6.0	62 5.9	61 5.8	42 4.0	41 3.9	109 10.4	81 7.8	26 2.5									
年齢	20~29歳	156 100.0	15 9.6	8 5.1	16 10.3	15 9.6	12 7.7	7 4.5	7 4.5	7 4.5	5 3.2	8 5.1	24 15.4	25 16.0	7 4.5									
	30~39歳	238 100.0	5 2.1	12 5.0	14 5.9	23 9.7	29 12.2	14 5.9	27 11.3	24 10.1	19 8.0	13 5.5	36 15.1	16 6.7	6 2.5									
	40~49歳	326 100.0	4 1.2	7 2.1	21 6.4	24 7.4	27 8.3	36 11.0	38 11.7	35 10.7	21 6.4	27 8.3	65 19.9	14 4.3	7 2.1									
	50~59歳	325 100.0	9 2.8	14 4.3	16 4.9	28 8.6	35 10.8	23 7.1	28 8.6	37 11.4	27 8.3	21 6.5	67 20.6	15 4.6	5 1.5									
	60~69歳	275 100.0	17 6.2	39 14.2	53 19.3	45 16.4	43 15.6	19 6.9	5 1.8	8 2.9	7 2.5	3 1.1	19 6.9	12 4.4	5 1.8									
	70~79歳	319 100.0	22 6.9	60 18.8	97 30.4	57 17.9	31 9.7	14 4.4	5 1.6	4 1.3	3 0.9	2 0.6	5 1.6	14 4.4	5 1.6									
	80歳以上	199 100.0	18 9.0	47 23.6	68 34.2	24 12.1	9 4.5	3 1.5	3 1.5	3 1.5	2 1.0	0 0.0	0 0.0	15 7.5	7 3.5									
	地域	JR以南地域	144 100.0	10 6.9	20 13.9	33 22.9	17 11.8	12 8.3	10 6.9	6 4.2	5 3.5	3 2.1	5 3.5	12 8.3	7 4.9	4 2.8								
片山・岸部地域		245 100.0	15 6.1	38 15.5	43 17.6	32 13.1	24 9.8	12 4.9	18 7.3	16 6.5	5 2.0	7 2.9	13 5.3	16 6.5	6 2.4									
豊津・江坂・南吹田		302 100.0	14 4.6	36 11.9	39 12.9	33 10.9	34 11.3	21 7.0	16 5.3	30 9.9	14 4.6	13 4.3	35 11.6	13 4.3	4 1.3									
千里山・佐井寺地域		318 100.0	14 4.4	18 5.7	47 14.8	31 9.7	36 11.3	13 4.1	22 6.9	22 6.9	16 5.0	22 6.9	41 12.9	25 7.9	11 3.5									
山田・千里丘地域		401 100.0	12 3.0	29 7.2	63 15.7	62 15.5	40 10.0	28 7.0	33 8.2	23 5.7	16 4.0	17 4.2	49 12.2	24 6.0	5 1.2									
千里・ラッパ・万博・阪大地域		356 100.0	21 5.9	35 9.8	51 14.3	36 10.1	33 9.3	27 7.6	12 3.4	17 4.8	26 7.3	9 2.5	60 16.9	19 5.3	10 2.8									

■問9 情報の入手手段

		調査数	医師	歯科医師	薬剤師	行政機関（保健センター等）	インターネット	雑誌や専門誌	市の広報誌	テレビや新聞	その他	不明・無回答
全体		1,852 100.0	729 39.4	108 5.8	114 6.2	107 5.8	1,049 56.6	129 7.0	444 24.0	920 49.7	109 5.9	34 1.8
性別	男性	762 100.0	309 40.6	42 5.5	45 5.9	48 6.3	437 57.3	56 7.3	158 20.7	369 48.4	38 5.0	9 1.2
	女性	1,044 100.0	397 38.0	64 6.1	62 5.9	57 5.5	599 57.4	70 6.7	274 26.2	536 51.3	67 6.4	22 2.1
年齢	20～29歳	156 100.0	30 19.2	4 2.6	4 2.6	4 2.6	130 83.3	9 5.8	8 5.1	53 34.0	11 7.1	3 1.9
	30～39歳	238 100.0	62 26.1	11 4.6	8 3.4	15 6.3	203 85.3	15 6.3	42 17.6	90 37.8	15 6.3	3 1.3
	40～49歳	326 100.0	92 28.2	11 3.4	9 2.8	13 4.0	264 81.0	11 3.4	77 23.6	151 46.3	21 6.4	4 1.2
	50～59歳	325 100.0	122 37.5	15 4.6	21 6.5	15 4.6	234 72.0	21 6.5	69 21.2	159 48.9	23 7.1	3 0.9
	60～69歳	275 100.0	128 46.5	20 7.3	20 7.3	11 4.0	133 48.4	27 9.8	70 25.5	167 60.7	10 3.6	5 1.8
	70～79歳	319 100.0	184 57.7	32 10.0	24 7.5	34 10.7	75 23.5	33 10.3	111 34.8	185 58.0	16 5.0	8 2.5
	80歳以上	199 100.0	104 52.3	14 7.0	26 13.1	15 7.5	7 3.5	10 5.0	62 31.2	109 54.8	12 6.0	8 4.0
	地域	J R以南地域	144 100.0	61 42.4	16 11.1	12 8.3	4 2.8	68 47.2	7 4.9	39 27.1	77 53.5	13 9.0
片山・岸部地域		245 100.0	99 40.4	16 6.5	16 6.5	9 3.7	123 50.2	13 5.3	49 20.0	125 51.0	16 6.5	4 1.6
豊津・江坂・南吹田		302 100.0	104 34.4	19 6.3	12 4.0	14 4.6	193 63.9	25 8.3	66 21.9	137 45.4	15 5.0	5 1.7
千里山・佐井寺地域		318 100.0	123 38.7	15 4.7	16 5.0	21 6.6	195 61.3	16 5.0	69 21.7	147 46.2	23 7.2	6 1.9
山田・千里丘地域		401 100.0	160 39.9	20 5.0	26 6.5	27 6.7	239 59.6	34 8.5	110 27.4	211 52.6	21 5.2	5 1.2
千里ユウタウン・万博・阪大地域		356 100.0	142 39.9	17 4.8	26 7.3	27 7.6	191 53.7	25 7.0	90 25.3	182 51.1	19 5.3	8 2.2

■問10 役割分担の認知度

		調査数	知っている	聞いたことがある	知らない	不明・無回答
全体		1,852 100.0	998 53.9	436 23.5	397 21.4	21 1.1
性別	男性	762 100.0	413 54.2	178 23.4	162 21.3	9 1.2
	女性	1,044 100.0	556 53.3	252 24.1	226 21.6	10 1.0
年齢	20～29歳	156 100.0	70 44.9	43 27.6	43 27.6	0 0.0
	30～39歳	238 100.0	110 46.2	59 24.8	69 29.0	0 0.0
	40～49歳	326 100.0	170 52.1	87 26.7	66 20.2	3 0.9
	50～59歳	325 100.0	181 55.7	84 25.8	59 18.2	1 0.3
	60～69歳	275 100.0	151 54.9	68 24.7	53 19.3	3 1.1
	70～79歳	319 100.0	192 60.2	67 21.0	52 16.3	8 2.5
	80歳以上	199 100.0	115 57.8	27 13.6	51 25.6	6 3.0
	地域	J R以南地域	144 100.0	83 57.6	28 19.4	30 20.8
片山・岸部地域		245 100.0	134 54.7	61 24.9	48 19.6	2 0.8
豊津・江坂・南吹田		302 100.0	136 45.0	89 29.5	73 24.2	4 1.3
千里山・佐井寺地域		318 100.0	178 56.0	63 19.8	74 23.3	3 0.9
山田・千里丘地域		401 100.0	214 53.4	100 24.9	84 20.9	3 0.7
千里ユウタウン・万博・阪大地域		356 100.0	203 57.0	74 20.8	74 20.8	5 1.4

■問11 初診時選定療養費

		調査数	知っている	聞いたことがある	知らない	不明・無回答
全体		1,852 100.0	1,254 67.7	255 13.8	332 17.9	11 0.6
性別	男性	762 100.0	492 64.6	112 14.7	154 20.2	4 0.5
	女性	1,044 100.0	734 70.3	135 12.9	168 16.1	7 0.7
年齢	20～29歳	156 100.0	59 37.8	23 14.7	74 47.4	0 0.0
	30～39歳	238 100.0	150 63.0	29 12.2	59 24.8	0 0.0
	40～49歳	326 100.0	240 73.6	40 12.3	43 13.2	3 0.9
	50～59歳	325 100.0	228 70.2	50 15.4	47 14.5	0 0.0
	60～69歳	275 100.0	201 73.1	35 12.7	37 13.5	2 0.7
	70～79歳	319 100.0	235 73.7	44 13.8	35 11.0	5 1.6
	80歳以上	199 100.0	133 66.8	30 15.1	35 17.6	1 0.5
	地域	J R以南地域	144 100.0	101 70.1	17 11.8	24 16.7
片山・岸部地域		245 100.0	154 62.9	38 15.5	52 21.2	1 0.4
豊津・江坂・南吹田		302 100.0	188 62.3	38 12.6	73 24.2	3 1.0
千里山・佐井寺地域		318 100.0	223 70.1	44 13.8	49 15.4	2 0.6
山田・千里丘地域		401 100.0	275 68.6	64 16.0	60 15.0	2 0.5
千里ユウタウン・万博・阪大地域		356 100.0	253 71.1	39 11.0	63 17.7	1 0.3

■問12 初診時選定療養費と受診行動

		調査数	初診時選定療養費を払う、大規模病院を受診する	初診時選定療養費を払う、大規模病院を受診しない	初診時選定療養費を払う、小規模病院を受診する	初診時選定療養費を払う、小規模病院を受診しない	その他	不明・無回答
全体		1,852 100.0	92 5.0	643 34.7	986 53.2	59 3.2	72 3.9	
性別	男性	762 100.0	46 6.0	266 34.9	400 52.5	22 2.9	28 3.7	
	女性	1,044 100.0	44 4.2	361 34.6	568 54.4	32 3.1	39 3.7	
年齢	20～29歳	156 100.0	7 4.5	50 32.1	94 60.3	2 1.3	3 1.9	
	30～39歳	238 100.0	5 2.1	105 44.1	125 52.5	1 0.4	2 0.8	
	40～49歳	326 100.0	12 3.7	100 30.7	199 61.0	6 1.8	9 2.8	
	50～59歳	325 100.0	13 4.0	112 34.5	193 59.4	2 0.6	5 1.5	
	60～69歳	275 100.0	17 6.2	99 36.0	144 52.4	10 3.6	5 1.8	
	70～79歳	319 100.0	20 6.3	106 33.2	144 45.1	27 8.5	22 6.9	
	80歳以上	199 100.0	18 9.0	67 33.7	80 40.2	10 5.0	24 12.1	
	地域	J R以南地域	144 100.0	7 4.9	49 34.0	75 52.1	4 2.8	9 6.3
片山・岸部地域		245 100.0	16 6.5	101 41.2	114 46.5	7 2.9	7 2.9	
豊津・江坂・南吹田		302 100.0	12 4.0	107 35.4	163 54.0	7 2.3	13 4.3	
千里山・佐井寺地域		318 100.0	17 5.3	97 30.5	181 56.9	16 5.0	7 2.2	
山田・千里丘地域		401 100.0	17 4.2	132 32.9	227 56.6	10 2.5	10 3.7	
千里ユウタウン・万博・阪大地域		356 100.0	17 4.8	134 37.6	176 49.4	11 3.1	18 5.1	

■問 13 大規模病院を受診する理由

	調査数	自宅や職場から近い	高度な機器で検査しとれる	たそろつている	自分の病歴や健康状態をよく知っている	安心する	大きな病院の方が	交通の便がよい	いつでも診てくれる	医師やスタッフの対応が好意的である	前から継続的に診てもらっている	特に理由はない	その他	不明・無回答
全体	735 100.0	187 25.4	495 67.3	415 56.5	105 14.3	341 46.4	70 9.5	48 6.5	50 6.8	134 18.2	15 2.0	69 9.4	2 0.3	
性別														
男性	312 100.0	86 27.6	219 70.2	171 54.8	54 17.3	161 51.6	35 11.2	24 7.7	24 7.7	65 20.8	8 2.6	18 5.8	0 0.0	
女性	405 100.0	99 24.4	264 65.2	233 57.5	47 11.6	171 42.2	31 7.7	24 5.9	24 5.9	66 16.3	5 1.2	49 12.1	2 0.5	
年齢														
20～29歳	57 100.0	12 21.1	32 56.1	31 54.4	5 8.8	33 57.9	5 8.8	6 10.5	4 7.0	5 8.8	0 0.0	3 5.3	0 0.0	
30～39歳	110 100.0	23 20.9	79 71.8	56 50.9	8 7.3	56 50.9	7 6.4	8 7.3	3 2.7	7 6.4	4 3.6	12 10.9	0 0.0	
40～49歳	112 100.0	30 26.8	80 71.4	69 61.6	13 11.6	46 41.1	9 8.0	8 7.1	0 0.0	9 8.0	0 0.0	17 15.2	0 0.0	
50～59歳	125 100.0	30 24.0	90 72.0	74 59.2	16 12.8	52 41.6	9 7.2	2 1.6	3 2.4	20 16.0	2 1.6	18 14.4	0 0.0	
60～69歳	116 100.0	27 23.3	82 70.7	69 59.5	19 16.4	54 46.6	9 7.8	7 6.0	7 6.0	26 22.4	2 1.7	8 6.9	1 0.9	
70～79歳	126 100.0	45 35.7	81 64.3	72 57.1	21 16.7	56 44.4	14 11.1	8 6.3	17 13.5	35 27.8	2 1.6	9 7.1	1 0.8	
80歳以上	85 100.0	19 22.4	47 55.3	41 48.2	21 24.7	43 50.6	16 18.8	9 10.6	16 18.8	30 35.3	4 4.7	2 2.4	0 0.0	
地域														
J R以南地域	56 100.0	22 39.3	29 51.8	32 57.1	9 16.1	23 41.1	4 7.1	6 10.7	6 10.7	12 21.4	1 1.8	4 7.1	0 0.0	
片山・岸部地域	117 100.0	33 28.2	78 66.7	62 53.0	22 18.8	53 45.3	9 7.7	3 2.6	7 6.0	29 24.8	2 1.7	13 11.1	0 0.0	
豊津・江坂・南吹田	119 100.0	8 6.7	68 57.1	63 52.9	12 10.1	60 50.4	6 5.0	11 9.2	8 6.7	18 15.1	3 2.5	13 10.9	1 0.8	
千里山・佐井寺地域	114 100.0	22 19.3	87 76.3	72 63.2	11 9.6	58 50.9	11 9.6	7 6.1	4 3.5	12 10.5	2 1.8	11 9.6	1 0.9	
山田・千里丘地域	149 100.0	51 34.2	104 69.8	91 61.1	15 10.1	71 47.7	19 12.8	10 6.7	14 9.4	23 15.4	2 1.3	12 8.1	0 0.0	
千里ユウカン・万博・阪大地域	151 100.0	42 27.8	109 72.2	76 50.3	26 17.2	64 42.4	17 11.3	9 6.0	8 5.3	30 19.9	2 1.3	16 10.6	0 0.0	

■問 14 かかりつけ医の認知度

	調査数	知っていた	聞いたことがある	知らなかった	不明・無回答
全体	1,852 100.0	1,314 71.0	374 20.2	122 6.6	42 2.3
性別					
男性	762 100.0	503 66.0	180 23.6	63 8.3	16 2.1
女性	1,044 100.0	778 74.5	189 18.1	54 5.2	23 2.2
年齢					
20～29歳	156 100.0	85 54.5	51 32.7	19 12.2	1 0.6
30～39歳	238 100.0	158 66.4	56 23.5	21 8.8	3 1.3
40～49歳	326 100.0	220 67.5	87 26.7	16 4.9	3 0.9
50～59歳	325 100.0	234 72.0	74 22.8	17 5.2	0 0.0
60～69歳	275 100.0	203 73.8	47 17.1	16 5.8	9 3.3
70～79歳	319 100.0	253 79.3	36 11.3	15 4.7	15 4.7
80歳以上	199 100.0	149 74.9	21 10.6	18 9.0	11 5.5
地域					
J R以南地域	144 100.0	106 73.6	26 18.1	9 6.3	3 2.1
片山・岸部地域	245 100.0	172 70.2	45 18.4	22 9.0	6 2.4
豊津・江坂・南吹田	302 100.0	193 63.9	73 24.2	26 8.6	10 3.3
千里山・佐井寺地域	318 100.0	236 74.2	60 18.9	15 4.7	7 2.2
山田・千里丘地域	401 100.0	291 72.6	79 19.7	25 6.2	6 1.5
千里ユウカン・万博・阪大地域	356 100.0	250 70.2	76 21.3	20 5.6	10 2.8

■問 15 かかりつけ医の有無

	調査数	いる	いない	わからない	不明・無回答
全体	1,852 100.0	1,056 57.0	666 36.0	122 6.6	8 0.4
性別					
男性	762 100.0	408 53.5	306 40.2	43 5.6	5 0.7
女性	1,044 100.0	616 59.0	353 33.8	72 6.9	3 0.3
年齢					
20～29歳	156 100.0	48 30.8	89 57.1	19 12.2	0 0.0
30～39歳	238 100.0	72 30.3	148 62.2	17 7.1	1 0.4
40～49歳	326 100.0	120 36.8	181 55.5	24 7.4	1 0.3
50～59歳	325 100.0	175 53.8	121 37.2	29 8.9	0 0.0
60～69歳	275 100.0	194 70.5	65 23.6	15 5.5	1 0.4
70～79歳	319 100.0	259 81.2	45 14.1	12 3.8	3 0.9
80歳以上	199 100.0	175 87.9	17 8.5	5 2.5	2 1.0
地域					
J R以南地域	144 100.0	92 63.9	41 28.5	10 6.9	1 0.7
片山・岸部地域	245 100.0	146 59.6	84 34.3	14 5.7	1 0.4
豊津・江坂・南吹田	302 100.0	133 44.0	143 47.4	25 8.3	1 0.3
千里山・佐井寺地域	318 100.0	198 62.3	98 30.8	21 6.6	1 0.3
山田・千里丘地域	401 100.0	231 57.6	143 35.7	26 6.5	1 0.2
千里ユウカン・万博・阪大地域	356 100.0	201 56.5	131 36.8	22 6.2	2 0.6

■問 16 かかりつけ医のいる医療機関

	調査数	市内の診療所	井上病院	大和病院	協和会病院	北摂三木病院	皐月病院	榎坂病院	甲聖会記念病院	市立吹田市民病院	病院 大阪府済生会吹田	病院 大阪府済生会千里	国立循環器病研究センター	大阪大学医学部附属病院	吹田徳洲会病院	その他	不明・無回答	診療所・比較的小	大規模病院
全体	1,056 100.0	695 65.8	18 1.7	8 0.8	8 0.8	9 0.9	1 0.1	0 0.0	1 0.1	63 6.0	51 4.8	46 4.4	33 3.1	27 2.6	24 2.3	195 18.5	31 2.9	737 69.8	120 11.4
性別	男性	408 100.0	242 59.3	9 2.2	4 1.0	2 0.5	3 0.7	1 0.2	0 0.0	32 7.8	20 4.9	12 2.9	15 3.7	16 3.9	11 2.7	91 22.3	10 2.5	260 63.7	59 14.5
	女性	616 100.0	433 70.3	9 1.5	3 0.5	6 1.0	6 1.0	0 0.0	1 0.2	26 4.2	30 4.9	32 5.2	14 2.3	11 1.8	10 1.6	95 15.4	19 3.1	457 74.2	57 9.3
年齢	20～29歳	48 100.0	32 66.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 4.2	1 2.1	0 0.0	0 0.0	1 2.1	0 0.0	12 25.0	2 4.2	32 66.7	2 4.2
	30～39歳	72 100.0	53 73.6	2 2.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 4.2	1 1.4	1 1.4	0 0.0	1 1.4	1 1.4	15 20.8	0 0.0	55 76.4	4 5.6
	40～49歳	120 100.0	92 76.7	0 0.0	0 0.0	1 0.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 1.7	4 3.3	2 1.7	3 2.5	2 1.7	2 1.7	13 10.8	4 3.3	93 77.5	10 8.3
	50～59歳	175 100.0	117 66.9	4 2.3	2 1.1	0 0.0	1 0.6	0 0.0	1 0.6	12 6.9	5 2.9	5 2.9	3 1.7	2 1.1	4 2.3	38 21.7	2 1.1	124 70.9	16 9.1
	60～69歳	194 100.0	133 68.6	7 3.6	1 0.5	1 0.5	3 1.5	0 0.0	0 0.0	4 2.1	8 4.1	9 4.6	3 1.5	8 4.1	3 1.5	34 17.5	5 2.6	145 74.7	16 8.2
	70～79歳	259 100.0	158 61.0	3 1.2	3 1.2	4 1.5	3 1.2	1 0.4	0 0.0	23 8.9	20 7.7	9 3.5	9 3.5	8 3.1	8 3.1	48 18.5	3 1.1	171 66.0	39 15.1
	80歳以上	175 100.0	100 57.1	2 1.1	2 1.1	2 1.1	2 1.1	0 0.0	0 0.0	15 8.6	11 6.3	19 10.9	13 7.4	5 2.9	6 3.4	34 19.4	9 5.1	107 61.1	32 18.3
	地域	JR以南地域	92 100.0	60 65.2	1 1.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 1.1	0 0.0	2 2.2	17 18.5	2 2.2	1 1.1	0 0.0	3 3.3	19 20.7	2 2.2	62 67.4
片山・岸部地域		146 100.0	98 67.1	1 0.7	0 0.0	3 2.1	7 4.8	0 0.0	0 0.0	20 13.7	9 6.2	0 0.0	3 2.1	1 0.7	0 0.0	19 13.0	2 1.4	108 74.0	18 12.3
豊津・江坂・南吹田		133 100.0	84 63.2	12 9.0	6 4.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.8	6 4.5	4 3.0	5 3.8	3 2.3	3 2.3	0 0.0	20 15.0	6 4.5	102 76.7	9 6.8
千里山・佐井寺地域		198 100.0	134 67.7	3 1.5	1 0.5	3 1.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	11 5.6	4 2.0	10 5.1	1 0.5	3 1.5	0 0.0	45 22.7	2 1.0	141 71.2	14 7.1
山田・千里丘地域		231 100.0	165 71.4	0 0.0	0 0.0	2 0.9	1 0.4	0 0.0	0 0.0	13 5.6	9 3.9	6 2.6	7 3.0	8 3.5	17 7.4	31 13.4	8 3.5	168 72.7	31 13.4
千里・サカサ・万博・阪大地域		201 100.0	118 58.7	1 0.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	6 3.0	1 0.5	20 10.0	12 6.0	9 4.5	2 1.0	51 25.4	9 4.5	119 59.2	26 12.9

■問 17 診療所・比較的小な病院をかかりつけ医としている理由

	調査数	自宅や職場から近い	介する医療機関を専門的に紹介してくれる	必要な時に	どんな病気の相談	自分の病歴や健康状態をよく知って	待ち時間が少ない	交通の便がよい	いつでも診てくれる	対応が好意的である	医師やスタッフの診察から継続的に診てもらっている	病気の予防や介護の相談にものってくれる	特に理由はない	その他	不明・無回答
全体	737 100.0	588 79.8	359 48.7	155 21.0	336 45.6	117 15.9	88 11.9	95 12.9	204 27.7	439 59.6	68 9.2	14 1.9	16 2.2	6 0.8	
性別	男性	260 100.0	200 76.9	115 44.2	46 17.7	113 43.5	42 16.2	34 13.1	34 13.1	49 18.8	156 60.0	18 6.9	8 3.1	5 1.9	1 0.4
	女性	457 100.0	374 81.8	235 51.4	105 23.0	215 47.0	69 15.1	49 10.7	56 12.3	146 31.9	274 60.0	46 10.1	6 1.3	11 2.4	3 0.7
年齢	20～29歳	32 100.0	30 93.8	6 18.8	2 6.3	2 31.3	2 6.3	1 3.1	3 9.4	10 31.3	15 46.9	0 0.0	1 3.1	0 0.0	0 0.0
	30～39歳	55 100.0	49 89.1	17 30.9	9 16.4	13 23.6	8 14.5	10 18.2	9 16.4	18 32.7	19 34.5	4 7.3	1 1.8	0 0.0	1 1.8
	40～49歳	93 100.0	85 91.4	33 35.5	11 11.8	35 37.6	18 19.4	9 9.7	10 10.8	25 26.9	39 41.9	10 10.8	1 1.1	0 0.0	0 0.0
	50～59歳	124 100.0	98 79.0	53 42.7	18 14.5	55 44.4	21 16.9	14 11.3	12 9.7	31 25.0	66 53.2	7 5.6	1 0.8	5 4.0	0 0.0
	60～69歳	145 100.0	113 77.9	81 55.9	34 23.4	71 49.0	23 15.9	18 12.4	13 9.0	42 29.0	91 62.8	12 8.3	2 1.4	1 0.7	0 0.0
	70～79歳	171 100.0	129 75.4	99 57.9	43 25.1	91 53.2	28 16.4	18 10.5	24 14.0	40 23.4	126 73.7	16 9.4	3 1.8	8 4.7	2 1.2
	80歳以上	107 100.0	76 71.0	64 59.8	34 31.8	51 51.4	16 15.0	15 14.0	23 21.5	35 32.7	76 71.0	16 15.0	5 4.7	2 1.9	3 2.8
	地域	JR以南地域	62 100.0	48 77.4	35 56.5	22 35.5	29 46.8	20 32.3	9 14.5	15 24.2	29 46.8	38 61.3	13 21.0	3 4.8	2 3.2
片山・岸部地域		108 100.0	83 76.9	46 42.6	17 15.7	41 38.0	18 16.7	13 12.0	17 15.7	20 18.5	66 61.1	6 5.6	4 3.7	0 0.0	1 0.9
豊津・江坂・南吹田		102 100.0	87 85.3	42 41.2	20 19.6	41 40.2	11 10.8	8 7.8	6 5.9	34 33.3	53 52.0	6 5.9	2 2.0	5 4.9	0 0.0
千里山・佐井寺地域		141 100.0	117 83.0	66 46.8	29 20.6	66 46.8	21 14.9	17 12.1	18 12.8	43 30.5	78 55.3	16 11.3	3 2.1	2 1.4	1 0.7
山田・千里丘地域		168 100.0	132 78.6	90 53.6	33 19.6	88 52.4	25 14.9	21 12.5	19 11.3	39 23.2	111 66.1	12 7.1	1 0.6	3 1.8	2 1.2
千里・サカサ・万博・阪大地域		119 100.0	97 81.5	57 47.9	21 17.6	48 40.3	17 14.3	14 11.8	15 12.6	30 25.2	69 58.0	9 7.6	0 0.0	4 3.4	2 1.7

■問 18 大規模病院をかかりつけ医としている理由

	調査数	自宅や職場から近い	高度な機器で検査してくれる	たそろつて診療科がある	自分の病歴や健康状態をよく知っている	大きな病院の方が安心する	交通の便がよい	いつでも診てくれる	医師やスタッフの対応が好意的である	前から継続的に診てもらっている	特に理由はない	その他	不明・無回答
全体	384 100.0	177 46.1	84 21.9	62 16.1	185 48.2	49 12.8	34 8.9	51 13.3	99 25.8	250 65.1	4 1.0	40 10.4	12 3.1
性別													
男性	174 100.0	82 47.1	38 21.8	29 16.7	85 48.9	25 14.4	13 7.5	32 18.4	62 35.6	118 67.8	1 0.6	16 9.2	6 3.4
女性	194 100.0	90 46.4	40 20.6	29 14.9	90 46.4	20 10.3	18 9.3	15 7.7	62 32.0	124 63.9	3 1.5	23 11.9	4 2.1
年齢													
20～29歳	16 100.0	9 56.3	2 12.5	3 18.8	7 43.8	2 12.5	1 6.3	1 6.3	9 56.3	9 56.3	0 0.0	1 6.3	0 0.0
30～39歳	20 100.0	12 60.0	2 10.0	1 5.0	8 40.0	2 10.0	2 10.0	3 15.0	6 30.0	14 70.0	0 0.0	2 10.0	1 5.0
40～49歳	28 100.0	9 32.1	8 28.6	2 7.1	10 35.7	2 7.1	0 0.0	4 14.3	8 28.6	16 57.1	0 0.0	3 10.7	1 3.6
50～59歳	63 100.0	35 55.6	13 20.6	5 7.9	30 47.6	4 6.3	8 12.7	5 7.9	14 22.2	42 66.7	0 0.0	4 6.3	1 1.6
60～69歳	62 100.0	32 51.6	9 14.5	13 21.0	35 56.5	9 14.5	5 8.1	8 12.9	14 22.6	45 72.6	1 1.6	8 12.9	1 1.6
70～79歳	104 100.0	43 41.3	24 23.1	21 20.2	52 50.0	15 14.4	9 8.7	17 16.3	26 25.0	71 68.3	0 0.0	16 15.4	5 4.8
80歳以上	87 100.0	36 41.4	23 26.4	16 18.4	40 46.0	13 14.9	8 9.2	13 14.9	21 24.1	50 57.5	3 3.4	6 6.9	3 3.4
地域													
J R以南地域	39 100.0	17 43.6	11 28.2	6 15.4	22 56.4	4 10.3	4 10.3	5 12.8	12 30.8	28 71.8	2 5.1	5 12.8	1 2.6
片山・岸部地域	49 100.0	25 51.0	8 16.3	8 16.3	27 55.1	7 14.3	3 6.1	4 8.2	13 26.5	35 71.4	1 2.0	6 12.2	1 2.0
豊津・江坂・南吹田	36 100.0	11 30.6	12 33.3	8 22.2	16 44.4	9 25.0	1 2.8	4 11.1	9 25.0	25 69.4	0 0.0	4 11.1	1 2.8
千里山・佐井寺地域	68 100.0	42 61.8	8 11.8	4 5.9	30 44.1	7 10.3	6 8.8	11 16.2	21 30.9	34 50.0	0 0.0	4 5.9	3 4.4
山田・千里丘地域	75 100.0	28 37.3	17 22.7	15 20.0	30 40.0	8 10.7	7 9.3	10 13.3	14 18.7	52 69.3	1 1.3	9 12.0	2 2.7
千里ニュータウン・万博・阪大地域	89 100.0	44 49.4	21 23.6	16 18.0	45 50.6	11 12.4	11 12.4	16 18.0	22 24.7	58 65.2	0 0.0	10 11.2	4 4.5

■問 19 かかりつけ医を持たない理由

	調査数	会が医療機関に行きにくい	医師、医療機関が近くにない	かかりつけ医をさがすのが難しい	かかりつけ医が必要だと思うが、どこに問い合わせたらよいかわからない	機関を選んで医療機関を選んでいる	症状によって医療機関を選んでいる	特に理由はない	その他	不明・無回答
全体	788 100.0	461 58.5	69 8.8	26 3.3	142 18.0	343 43.5	77 9.8	61 7.7	8 1.0	
性別										
男性	349 100.0	212 60.7	26 7.4	4 1.1	8 2.3	175 50.1	52 14.9	22 6.3	1 0.3	
女性	425 100.0	244 57.4	43 10.1	8 1.9	18 4.3	213 50.1	24 5.6	38 8.9	6 1.4	
年齢										
20～29歳	108 100.0	71 65.7	4 3.7	7 6.5	20 18.5	28 25.9	11 10.2	7 6.5	0 0.0	
30～39歳	165 100.0	107 64.8	13 7.9	2 1.2	39 23.6	72 43.6	16 9.7	8 4.8	1 0.6	
40～49歳	205 100.0	123 60.0	16 7.8	9 4.4	30 14.6	88 42.9	13 6.3	18 8.8	1 0.5	
50～59歳	150 100.0	80 53.3	18 12.0	3 2.0	23 15.3	75 50.0	14 9.3	15 10.0	0 0.0	
60～69歳	80 100.0	48 60.0	10 12.5	4 5.0	14 17.5	42 52.5	6 7.5	5 6.3	2 2.5	
70～79歳	57 100.0	26 45.6	6 10.5	0 0.0	8 14.0	28 49.1	10 17.5	7 12.3	4 7.0	
80歳以上	22 100.0	6 27.3	2 9.1	0 0.0	7 31.8	10 45.5	7 31.8	1 4.5	0 0.0	
地域										
J R以南地域	51 100.0	37 72.5	5 9.8	1 2.0	10 19.6	19 37.3	5 9.8	0 0.0	0 0.0	
片山・岸部地域	98 100.0	56 57.1	8 8.2	4 4.1	14 14.3	46 46.9	16 16.3	13 13.3	2 2.0	
豊津・江坂・南吹田	168 100.0	102 60.7	15 8.9	4 2.4	36 21.4	68 40.5	11 6.5	14 8.3	2 1.2	
千里山・佐井寺地域	119 100.0	71 59.7	12 10.1	7 5.9	22 18.5	52 43.7	9 7.6	11 9.2	1 0.8	
山田・千里丘地域	169 100.0	103 60.9	14 8.3	3 1.8	23 13.6	76 45.0	12 7.1	11 6.5	1 0.6	
千里ニュータウン・万博・阪大地域	153 100.0	77 50.3	13 8.5	6 3.9	28 18.3	66 43.1	19 12.4	11 7.2	2 1.3	

■問 20 かかりつけ歯科医の有無

	調査数	いる	いない	不明・無回答
全体	1,852 100.0	1,326 71.6	508 27.4	18 1.0
性別				
男性	762 100.0	496 65.1	258 33.9	8 1.0
女性	1,044 100.0	793 76.0	241 23.1	10 1.0
年齢				
20～29歳	156 100.0	85 54.5	71 45.5	0 0.0
30～39歳	238 100.0	149 62.6	89 37.4	0 0.0
40～49歳	326 100.0	208 63.8	117 35.9	1 0.3
50～59歳	325 100.0	238 73.2	86 26.5	1 0.3
60～69歳	275 100.0	214 77.8	60 21.8	1 0.4
70～79歳	319 100.0	267 83.7	45 14.1	7 2.2
80歳以上	199 100.0	153 76.9	38 19.1	8 4.0
地域				
J R以南地域	144 100.0	106 73.6	34 23.6	4 2.8
片山・岸部地域	245 100.0	167 68.2	75 30.6	3 1.2
豊津・江坂・南吹田	302 100.0	197 65.2	102 33.8	3 1.0
千里山・佐井寺地域	318 100.0	245 77.0	72 22.6	1 0.3
山田・千里丘地域	401 100.0	291 72.6	108 26.9	2 0.5
千里ニュータウン・万博・阪大地域	356 100.0	257 72.2	95 26.7	4 1.1

■問 25 ジェネリック医薬品の認知度

	調査数	知っている	知らない	不明・無回答
全体	1,852 100.0	1,733 93.6	91 4.9	28 1.5
性別				
男性	762 100.0	716 94.0	36 4.7	10 1.3
女性	1,044 100.0	981 94.0	50 4.8	13 1.2
年齢				
20～29歳	156 100.0	141 90.4	14 9.0	1 0.6
30～39歳	238 100.0	228 95.8	9 3.8	1 0.4
40～49歳	326 100.0	318 97.5	5 1.5	3 0.9
50～59歳	325 100.0	317 97.5	5 1.5	3 0.9
60～69歳	275 100.0	264 96.0	7 2.5	4 1.5
70～79歳	319 100.0	297 93.1	17 5.3	5 1.6
80歳以上	199 100.0	157 78.9	34 17.1	8 4.0
地域				
J R以南地域	144 100.0	128 88.9	13 9.0	3 2.1
片山・岸部地域	245 100.0	225 91.8	15 6.1	5 2.0
豊津・江坂・南吹田	302 100.0	286 94.7	11 3.6	5 1.7
千里山・佐井寺地域	318 100.0	307 96.5	9 2.8	2 0.6
山田・千里丘地域	401 100.0	377 94.0	23 5.7	1 0.2
千里ニュータウン・万博・阪大地域	356 100.0	331 93.0	18 5.1	7 2.0

■問 26 ジェネリック医薬品の使用希望

	調査数	現在ジェネリック医薬品を使用しているが、今後使用を希望する	現在ジェネリック医薬品を使用していないが、今後使用を希望する	現在ジェネリック医薬品を使用しているが、今後使用を希望しない	現在ジェネリック医薬品を使用しておらず、今後使用を希望しない	わからない	不明・無回答
全体	1,852 100.0	1,092 59.0	250 13.5	41 2.2	202 10.9	222 12.0	45 2.4
性別							
男性	762 100.0	458 60.1	115 15.1	21 2.8	65 8.5	84 11.0	19 2.5
女性	1,044 100.0	611 58.5	128 12.3	19 1.8	132 12.6	132 12.6	22 2.1
年齢							
20～29歳	156 100.0	90 57.7	31 19.9	1 0.6	14 9.0	19 12.2	1 0.6
30～39歳	238 100.0	145 60.9	35 14.7	6 2.5	24 10.1	26 10.9	2 0.8
40～49歳	326 100.0	194 59.5	47 14.4	5 1.5	40 12.3	32 9.8	8 2.5
50～59歳	325 100.0	198 60.9	47 14.5	6 1.8	36 11.1	37 11.4	1 0.3
60～69歳	275 100.0	179 65.1	31 11.3	6 2.2	21 7.6	34 12.4	4 1.5
70～79歳	319 100.0	181 56.7	40 12.5	11 3.4	42 13.2	32 10.0	13 4.1
80歳以上	199 100.0	97 48.7	17 8.5	3 1.5	24 12.1	41 20.6	14 7.0
地域							
J R以南地域	144 100.0	78 54.2	9 6.3	1 0.7	17 11.8	29 20.1	10 6.9
片山・岸部地域	245 100.0	149 60.8	36 14.7	4 1.6	20 8.2	33 13.5	3 1.2
豊津・江坂・南吹田	302 100.0	179 59.3	41 13.6	6 2.0	38 12.6	37 12.3	1 0.3
千里山・佐井寺地域	318 100.0	189 59.4	48 15.1	6 1.9	37 11.6	34 10.7	4 1.3
山田・千里丘地域	401 100.0	239 59.6	59 14.7	11 2.7	41 10.2	42 10.5	9 2.2
千里ニュータウン・万博・阪大地域	356 100.0	205 57.6	48 13.5	12 3.4	42 11.8	36 10.1	13 3.7

■問 27 ジェネリック医薬品を希望しない理由

	調査数	これを服用することへの不安が大きい	いた薬の方が効果が高いと思う	きねい	品は安く、信用できない	ジェネリック医薬品の使用をすすめられたことがない	病院を受診する機会があまりない	その他	不明・無回答
全体	243 100.0	96 39.5	82 33.7	60 24.7	22 9.1	31 12.8	38 15.6	3 1.2	
性別									
男性	86 100.0	36 41.9	31 36.0	27 31.4	6 7.0	9 10.5	11 12.8	1 1.2	
女性	151 100.0	58 38.4	47 31.1	32 21.2	14 9.3	21 13.9	27 17.9	2 1.3	
年齢									
20～29歳	15 100.0	4 26.7	4 26.7	2 13.3	0 0.0	5 33.3	3 20.0	0 0.0	
30～39歳	30 100.0	9 30.0	11 36.7	15 50.0	3 10.0	4 13.3	5 16.7	0 0.0	
40～49歳	45 100.0	14 31.1	16 35.6	18 40.0	1 2.2	5 11.1	10 22.2	0 0.0	
50～59歳	42 100.0	14 33.3	12 28.6	11 26.2	1 2.4	6 14.3	8 19.0	0 0.0	
60～69歳	27 100.0	12 44.4	9 33.3	3 11.1	3 14.8	4 11.1	2 7.4	2 7.4	
70～79歳	53 100.0	27 50.9	17 32.1	7 13.2	7 13.2	6 11.3	8 15.1	1 1.9	
80歳以上	30 100.0	16 53.3	12 40.0	4 13.3	6 20.0	2 6.7	2 6.7	0 0.0	
地域									
J R以南地域	18 100.0	11 61.1	4 22.2	3 16.7	1 5.6	3 16.7	1 5.6	0 0.0	
片山・岸部地域	24 100.0	11 45.8	7 29.2	8 33.3	5 20.8	4 16.7	5 20.8	0 0.0	
豊津・江坂・南吹田	44 100.0	22 50.0	12 27.3	13 29.5	2 4.5	6 13.6	5 11.4	0 0.0	
千里山・佐井寺地域	43 100.0	16 37.2	21 48.8	12 27.9	4 9.3	5 11.6	5 11.6	0 0.0	
山田・千里丘地域	52 100.0	17 32.7	18 34.6	11 21.2	6 11.5	8 15.4	10 19.2	0 0.0	
千里ニュータウン・万博・阪大地域	54 100.0	13 24.1	17 31.5	13 24.1	4 7.4	5 9.3	11 20.4	3 5.6	

■問 28 在宅医療の認知度

	調査数	知っている	知らなかった	不明・無回答
全体	1,852 100.0	1,455 78.6	345 18.6	52 2.8
性別				
男性	762 100.0	550 72.2	187 24.5	25 3.3
女性	1,044 100.0	870 83.3	150 14.4	24 2.3
年齢				
20～29歳	156 100.0	109 69.9	45 28.8	2 1.3
30～39歳	238 100.0	193 81.1	39 16.4	6 2.5
40～49歳	326 100.0	267 81.9	52 16.0	7 2.1
50～59歳	325 100.0	273 84.0	45 13.8	7 2.2
60～69歳	275 100.0	220 80.0	51 18.5	4 1.5
70～79歳	319 100.0	248 77.7	64 20.1	7 2.2
80歳以上	199 100.0	136 68.3	47 23.6	16 8.0
地域				
J R以南地域	144 100.0	111 77.1	29 20.1	4 2.8
片山・岸部地域	245 100.0	198 80.8	38 15.5	9 3.7
豊津・江坂・南吹田	302 100.0	235 77.8	62 20.5	5 1.7
千里山・佐井寺地域	318 100.0	259 81.4	56 17.6	3 0.9
山田・千里丘地域	401 100.0	317 79.1	74 18.5	10 2.5
千里ニュータウン・万博・阪大地域	356 100.0	278 78.1	63 17.7	15 4.2

■問 33 家族の人生の最期の場所

	調査数	自宅	住まいが受けられる	安否確認のサ	ビス等が受けられ	24時間介護サ	病院	その他	不明・無回答
全体	1,852 100.0	859 46.4	145 7.8	179 9.7	428 23.1	167 9.0	74 4.0		
性別									
男性	762 100.0	366 48.0	62 8.1	69 9.1	169 22.2	69 9.1	27 3.5		
女性	1,044 100.0	473 45.3	80 7.7	108 10.3	249 23.9	91 8.7	43 4.1		
年齢									
20~29歳	156 100.0	68 43.6	14 9.0	14 9.0	42 26.9	18 11.5	0 0.0		
30~39歳	238 100.0	127 53.4	25 10.5	16 6.7	37 15.5	30 12.6	3 1.3		
40~49歳	326 100.0	179 54.9	34 10.4	24 7.4	46 14.1	37 11.3	6 1.8		
50~59歳	325 100.0	159 48.9	19 5.8	23 7.1	87 26.8	30 9.2	7 2.2		
60~69歳	275 100.0	104 37.8	26 9.5	38 13.8	69 25.1	24 8.7	14 5.1		
70~79歳	319 100.0	143 44.8	21 6.6	39 12.2	85 26.6	17 5.3	14 4.4		
80歳以上	199 100.0	72 36.2	6 3.0	24 12.1	57 28.6	10 5.0	30 15.1		
地域									
JR以南地域	144 100.0	62 43.1	11 7.6	19 13.2	32 22.2	12 8.3	8 5.6		
片山・岸部地域	245 100.0	127 51.8	14 5.7	25 10.2	51 20.8	18 7.3	10 4.1		
豊津・江坂・南吹田	302 100.0	138 45.7	25 8.3	32 10.6	71 23.5	31 10.3	5 1.7		
千里山・佐井寺地域	318 100.0	157 49.4	32 10.1	25 7.9	66 20.8	28 8.8	10 3.1		
山田・千里丘地域	401 100.0	191 47.6	22 5.5	42 10.5	93 23.2	38 9.5	15 3.7		
千里ニュータウン・万博・阪大地域	356 100.0	153 43.0	34 9.6	28 7.9	90 25.3	30 8.4	21 5.9		

■問 34 人生の最期について家族と会話するか

	調査数	よくある	たまにある	話したことがない	不明・無回答
全体	1,852 100.0	70 3.8	484 26.1	1,268 68.5	30 1.6
性別					
男性	762 100.0	30 3.9	188 24.7	534 70.1	10 1.3
女性	1,044 100.0	37 3.5	288 27.6	701 67.1	18 1.7
年齢					
20~29歳	156 100.0	5 3.2	19 12.2	132 84.6	0 0.0
30~39歳	238 100.0	1 0.4	40 16.8	196 82.4	1 0.4
40~49歳	326 100.0	7 2.1	68 20.9	250 76.7	1 0.3
50~59歳	325 100.0	10 3.1	73 22.5	238 73.2	4 1.2
60~69歳	275 100.0	7 2.5	92 33.5	172 62.5	4 1.5
70~79歳	319 100.0	21 6.6	116 36.4	172 53.9	10 3.1
80歳以上	199 100.0	17 8.5	72 36.2	101 50.8	9 4.5
地域					
JR以南地域	144 100.0	6 4.2	35 24.3	97 67.4	6 4.2
片山・岸部地域	245 100.0	3 1.2	76 31.0	160 65.3	6 2.4
豊津・江坂・南吹田	302 100.0	6 2.0	65 21.5	230 76.2	1 0.3
千里山・佐井寺地域	318 100.0	12 3.8	79 24.8	223 70.1	4 1.3
山田・千里丘地域	401 100.0	17 4.2	110 27.4	269 67.1	5 1.2
千里ニュータウン・万博・阪大地域	356 100.0	21 5.9	91 25.6	238 66.9	6 1.7

■問 35 人生の最期について

話したことがない理由

	調査数	話したことがない	死にたくない	看取りの療や看護、	終末医療の考え	自分の最期を考	家族がいない	家族との会話自体	その他	不明・無回答
全体	1,268 100.0	361 28.5	222 17.5	622 49.1	138 10.9	154 12.1	27 2.1			
性別										
男性	534 100.0	157 29.4	102 19.1	279 52.2	63 11.8	41 7.7	10 1.9			
女性	701 100.0	194 27.7	115 16.4	331 47.2	71 10.1	109 15.5	15 2.1			
年齢										
20~29歳	132 100.0	31 23.5	12 9.1	83 62.9	10 7.6	12 9.1	1 0.8			
30~39歳	196 100.0	60 30.6	30 15.3	120 61.2	14 7.1	25 12.8	1 0.5			
40~49歳	250 100.0	65 26.0	47 18.8	142 56.8	15 6.0	26 10.4	5 2.0			
50~59歳	238 100.0	61 25.6	40 16.8	112 47.1	22 9.2	33 13.9	3 1.3			
60~69歳	172 100.0	48 27.9	26 15.1	70 40.7	28 16.3	25 14.5	6 3.5			
70~79歳	172 100.0	62 36.0	43 25.0	62 36.0	27 15.7	18 10.5	8 4.7			
80歳以上	101 100.0	30 29.7	24 23.8	30 29.7	20 19.8	15 14.9	3 3.0			
地域										
JR以南地域	97 100.0	31 32.0	17 17.5	49 50.5	13 13.4	7 7.2	3 3.1			
片山・岸部地域	160 100.0	43 26.9	34 21.3	73 45.6	21 13.1	22 13.8	1 0.6			
豊津・江坂・南吹田	230 100.0	63 27.4	28 12.2	126 54.8	27 11.7	27 11.7	4 1.7			
千里山・佐井寺地域	223 100.0	69 30.9	39 17.5	103 46.2	18 8.1	33 14.8	6 2.7			
山田・千里丘地域	269 100.0	80 29.7	50 18.6	141 52.4	27 10.0	28 10.4	4 1.5			
千里ニュータウン・万博・阪大地域	238 100.0	61 25.6	45 18.9	102 42.9	29 12.2	34 14.3	6 2.5			

■問 36 人生会議（ACP アドバンス・

ケア・プランニング）の認知度

	調査数	知っている	聞いたことがある	知らない	不明・無回答
全体	1,852 100.0	129 7.0	237 12.8	1,452 78.4	34 1.8
性別					
男性	762 100.0	43 5.6	92 12.1	615 80.7	12 1.6
女性	1,044 100.0	80 7.7	140 13.4	803 76.9	21 2.0
年齢					
20~29歳	156 100.0	10 6.4	11 7.1	133 85.3	2 1.3
30~39歳	238 100.0	12 5.0	23 9.7	202 84.9	1 0.4
40~49歳	326 100.0	29 8.9	40 12.3	254 77.9	3 0.9
50~59歳	325 100.0	29 8.9	33 10.2	257 79.1	6 1.8
60~69歳	275 100.0	17 6.2	38 13.8	216 78.5	4 1.5
70~79歳	319 100.0	18 5.6	52 16.3	240 75.2	9 2.8
80歳以上	199 100.0	10 5.0	40 20.1	141 70.9	8 4.0
地域					
JR以南地域	144 100.0	11 7.6	20 13.9	107 74.3	6 4.2
片山・岸部地域	245 100.0	20 8.2	27 11.0	195 79.6	3 1.2
豊津・江坂・南吹田	302 100.0	13 4.3	31 10.3	253 83.8	5 1.7
千里山・佐井寺地域	318 100.0	30 9.4	42 13.2	241 75.8	5 1.6
山田・千里丘地域	401 100.0	27 6.7	54 13.5	316 78.8	4 1.0
千里ニュータウン・万博・阪大地域	356 100.0	25 7.0	51 14.3	271 76.1	9 2.5

■問 37 救急相談・受診先の認知度

	調査数	1 9 お お さ か か （ # 7 1 ）	救 急 安 心 セ ン タ ー （ # 8 0 0 0 ）	小 児 救 急 電 話 相 談 （ # 8 0 0 0 ）	報 大 阪 府 救 急 医 療 情 報 セ ン タ ー	科 病 能 広 域 こ ど も 急 病 セ ン タ ー （ 小 児 急 病 科 ）	療 所 大 阪 市 中 央 急 病 診 療 所	館 大 阪 府 歯 科 医 師 会 館 （ 休 日 ・ 緊 急 歯 科 診 療 ）	い ず れ も 知 ら な い	不 明 ・ 無 回 答
全体	1,852 100.0	423 22.8	310 16.7	201 10.9	518 28.0	290 15.7	152 8.2	808 43.6	49 2.6	
性別	男性	762 100.0	141 18.5	91 11.9	96 12.6	187 24.5	99 13.0	42 5.5	367 48.2	22 2.9
	女性	1,044 100.0	273 26.1	212 20.3	96 9.2	324 31.0	183 17.5	105 10.1	418 40.0	27 2.6
年齢	20～29歳	156 100.0	22 14.1	13 8.3	6 3.8	15 9.6	7 4.5	5 3.2	117 75.0	0 0.0
	30～39歳	238 100.0	56 23.5	106 44.5	20 8.4	97 40.8	31 13.0	13 5.5	79 33.2	3 1.3
	40～49歳	326 100.0	77 23.6	113 34.7	35 10.7	174 53.4	71 21.8	34 10.4	96 29.4	1 0.3
	50～59歳	325 100.0	80 24.6	43 13.2	47 14.5	125 38.5	71 21.8	42 12.9	121 37.2	3 0.9
	60～69歳	275 100.0	64 23.3	11 4.0	29 10.5	49 17.8	52 18.9	24 8.7	131 47.6	9 3.3
	70～79歳	319 100.0	78 24.5	17 5.3	39 12.2	43 13.5	37 11.6	21 6.6	155 48.6	16 5.0
	80歳以上	199 100.0	43 21.6	6 3.0	22 11.1	13 6.5	17 8.5	10 5.0	104 52.3	17 8.5
地域	J R以南地域	144 100.0	29 20.1	16 11.1	21 14.6	33 22.9	20 13.9	11 7.6	64 44.4	5 3.5
	片山・岸部地域	245 100.0	52 21.2	39 15.9	20 8.2	64 26.1	31 12.7	20 8.2	121 49.4	9 3.7
	豊津・江坂・南吹田	302 100.0	60 19.9	50 16.6	30 9.9	65 21.5	48 15.9	19 6.3	152 50.3	11 3.6
	千里山・佐井寺地域	318 100.0	74 23.3	71 22.3	31 9.7	103 32.4	53 16.7	34 10.7	127 39.9	7 2.2
	山田・千里丘地域	401 100.0	101 25.2	63 15.7	45 11.2	118 29.4	57 14.2	34 8.5	168 41.9	6 1.5
	千里ニュータウン・万博・阪大地域	356 100.0	88 24.7	59 16.6	47 13.2	109 30.6	64 18.0	29 8.1	136 38.2	10 2.8

■問 38 救急相談・受診先の情報の入手手段

	調査数	検 索 か ら 直 接 の 情 報	イ ン タ ー ネ ッ ト の 情 報	吹 田 市 の ホ ー ム ペ ー ジ	大 阪 府 の ホ ー ム ペ ー ジ	市 報 す い た	物 理 機 関 等 の 掲 示	医 療 機 関 等 の 掲 示	周 圍 の 人 の 情 報	覚 え て い な い	不 明 ・ 無 回 答
全体	995 100.0	261 26.2	110 11.1	51 5.1	326 32.8	322 32.4	265 26.6	114 11.5	20 2.0		
性別	男性	373 100.0	100 26.8	49 13.1	21 5.6	112 30.0	103 27.6	81 21.7	51 13.7	8 2.1	
	女性	599 100.0	156 26.0	59 9.8	29 4.8	206 34.4	213 35.6	178 29.7	60 10.0	12 2.0	
年齢	20～29歳	39 100.0	13 33.3	3 7.7	3 7.7	8 20.5	7 17.9	13 33.3	4 10.3	1 2.6	
	30～39歳	156 100.0	71 45.5	13 8.3	7 4.5	27 17.3	53 34.0	52 33.3	8 5.1	1 0.6	
	40～49歳	229 100.0	75 32.8	32 14.0	8 3.5	61 26.6	72 31.4	69 30.1	39 17.0	1 0.4	
	50～59歳	201 100.0	57 28.4	24 11.9	15 7.5	68 33.8	62 30.8	49 24.4	20 10.0	3 1.5	
	60～69歳	135 100.0	29 21.5	11 8.1	8 5.9	46 34.1	51 37.8	27 20.0	14 10.4	3 2.2	
	70～79歳	148 100.0	13 8.8	17 11.5	8 5.4	73 49.3	52 35.1	34 23.0	18 12.2	7 4.7	
	80歳以上	78 100.0	2 2.6	9 11.5	2 2.6	38 48.7	22 28.2	18 23.1	11 14.1	4 5.1	
地域	J R以南地域	75 100.0	19 25.3	5 6.7	3 4.0	36 48.0	24 32.0	20 26.7	10 13.3	1 1.3	
	片山・岸部地域	115 100.0	37 32.2	16 13.9	5 4.3	34 29.6	38 33.0	31 27.0	9 7.8	2 1.7	
	豊津・江坂・南吹田	139 100.0	46 33.1	15 10.8	10 7.2	41 29.5	49 35.3	28 20.1	19 13.7	1 0.7	
	千里山・佐井寺地域	184 100.0	44 23.9	25 13.6	8 4.3	54 29.3	59 32.1	46 25.0	19 10.3	7 3.8	
	山田・千里丘地域	227 100.0	51 22.5	28 12.3	16 7.0	79 34.8	71 31.3	68 30.0	25 11.0	2 0.9	
	千里ニュータウン・万博・阪大地域	210 100.0	50 23.8	13 6.2	7 3.3	64 30.5	70 33.3	61 29.0	30 14.3	6 2.9	

■問 39 充実してほしい医療

	調査数	在宅医療について	終末期医療について	小児医療について	産科・周産期医療について	救急医療について	休日・夜間の医療について	重い病気や難病等の診察について	リハビリテーション医療について	精神科医療について	病院等の相談室・地域連携について	特にない	不明・無回答	
全体	1,852 100.0	464 25.1	458 24.7	242 13.1	92 5.0	606 32.7	866 46.8	205 11.1	199 10.7	98 5.3	332 17.9	244 13.2	52 2.8	
性別	男性	762 100.0	170 22.3	176 23.1	98 12.9	30 3.9	254 33.3	337 44.2	94 12.3	60 7.9	33 4.3	113 14.8	128 16.8	24 3.1
	女性	1,044 100.0	278 26.6	272 26.1	140 13.4	60 5.7	334 32.0	507 48.6	106 10.2	131 12.5	62 5.9	212 20.3	112 10.7	25 2.4
年齢	20～29歳	156 100.0	14 9.0	12 7.7	21 13.5	23 14.7	42 26.9	72 46.2	13 8.3	9 5.8	17 10.9	26 16.7	35 22.4	1 0.6
	30～39歳	238 100.0	25 10.5	24 10.1	103 43.3	39 16.4	92 38.7	133 55.9	28 11.8	12 5.0	17 7.1	28 11.8	28 11.8	3 1.3
	40～49歳	326 100.0	62 19.0	56 17.2	75 23.0	13 4.0	106 32.5	198 60.7	37 11.3	29 8.9	13 4.0	53 16.3	39 12.0	3 0.9
	50～59歳	325 100.0	83 25.5	93 28.6	28 8.6	9 2.8	114 35.1	163 50.2	38 11.7	35 10.8	15 4.6	72 22.2	38 11.7	2 0.6
	60～69歳	275 100.0	87 31.6	90 32.7	7 2.5	2 0.7	89 32.4	115 41.8	39 14.2	43 15.6	14 5.1	65 23.6	38 13.8	5 1.8
	70～79歳	319 100.0	107 33.5	103 32.3	6 1.9	1 0.3	104 32.6	124 38.9	33 10.3	41 12.9	15 4.7	63 19.7	44 13.8	15 4.7
	80歳以上	199 100.0	77 38.7	74 37.2	2 1.0	0 0.5	56 28.1	57 28.6	16 8.0	27 13.6	7 3.5	24 12.1	21 10.6	23 11.6
地域	JR以南地域	144 100.0	38 26.4	39 27.1	10 6.9	4 2.8	44 30.6	61 42.4	11 7.6	13 9.0	10 6.9	21 14.6	23 16.0	4 2.8
	片山・岸部地域	245 100.0	62 25.3	66 26.9	28 11.4	8 3.3	66 26.9	110 44.9	31 12.7	29 11.8	13 5.3	51 20.8	34 13.9	10 4.1
	豊津・江坂・南吹田	302 100.0	63 20.9	57 18.9	41 13.6	26 8.6	111 36.8	161 53.3	29 9.6	21 7.0	17 5.6	47 15.6	39 12.9	4 1.3
	千里山・佐井寺地域	318 100.0	86 27.0	62 19.5	48 15.1	23 7.2	99 31.1	151 47.5	38 11.9	34 10.7	15 4.7	63 19.8	42 13.2	10 3.1
	山田・千里丘地域	401 100.0	105 26.2	111 27.7	54 13.5	15 3.7	138 34.4	188 46.9	41 10.2	50 12.5	23 5.7	75 18.7	41 10.2	8 2.0
	千里ニュータウン・万博・阪大地域	356 100.0	86 24.2	103 28.9	53 14.9	12 3.4	122 34.3	158 44.4	42 11.8	42 11.8	17 4.8	62 17.4	51 14.3	14 3.9

医療に関する市民アンケート調査 ご協力をお願い

みなさまには、日頃より市政全般にご理解とご協力をいただきまして、厚くお礼申し上げます。

本市では、市民のみなさまが住み慣れた地域で最期までいきいきと自分らしく暮らすことができるよう、在宅医療をはじめとした地域医療の推進に取り組んでいるところで

つきましては、本市にお住まいの方々に、かかりつけ医や在宅医療等についての考えをお聞きし、今後の地域医療の向上に活かすため、アンケート調査を実施いたします。

この調査は、本市にお住まいの20歳以上の方の中から、3,000人を無作為に抽出し、実施しております。ご回答は統計的に処理され、個人が特定されることはありません。また、ご記入いただいた調査票が公表されたり、調査の目的以外に使用したりすることも一切ありません。

調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

令和2年（2020年）11月

吹田市

アンケートのご記入にあたってのお願い

1. 回答は、あて名のご本人が記入してください。ご本人が記入できない場合は、家族の方がご本人の考えを聞きながら記入してください。
2. 答えは、あてはまる番号を○で囲んでください。「その他」を選択する場合は、「その他」の番号を○で囲み、（ ）内になるべく具体的な内容をお書きください。
3. 選択する答えの数は、「1つに○」「3つまで○」「あてはまるものすべてに○」など選び方が指定されていますのでご注意ください。
4. 記入後は、お名前やご住所を記入なさらずに、回答用紙を同封の返信用封筒に入れてポストに投函してください。切手は不要です。

【ポスト投函期限】 令和2年（2020年）11月23日（月）

このアンケート調査に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

（お問い合わせ先）

吹田市 健康医療部 保健医療室
（吹田市保健所内）

電話 06-6339-2225
FAX 06-6339-2058

《回答される方の基本事項について》

問1 あなたの性別を教えてください。(1つに○)

1. 男性	2. 女性
-------	-------

問2 あなたの年齢（令和2年11月1日現在）を教えてください。(1つに○)

1. 20～29 歳	2. 30～39 歳	3. 40～49 歳
4. 50～59 歳	5. 60～64 歳	6. 65～69 歳
7. 70～74 歳	8. 75～79 歳	9. 80 歳以上

問3 あなたは現在、どの地域にお住まいですか。(1つに○)

		吹田市地域別町名一覧表					
		JR以南 地域	片山・岸部 地域	豊津・江坂・ 南吹田地域	千里山・佐井寺 地域	山田・千里丘 地域	千里ニュー タウン・万 博・阪大地域
町 名	あ	1.朝日町 2.内本町	23.朝日が丘町	37.泉町 38.江坂町 1～4丁目 39.江の木町	48.江坂町5丁目	67.青葉丘北 68.青葉丘南	86.青山台
	か	3.川岸町 4.川園町 5.寿町	24.片山町 25.上山手町 26.岸部北 27.岸部中 28.岸部南 29.岸部新町	40.金田町	49.春日	69.樫切山	87.上山田
	さ	6.幸町 7.昭和町 8.吹東町 9.末広町 10.清和園町	30.芝田町		50.佐井寺 51.佐井寺南が丘 52.五月が丘北 53.五月が丘西 54.五月が丘東 55.五月が丘南 56.千里山霧が丘 57.千里山高塚 58.千里山竹園 59.千里山月が丘 60.千里山西 61.千里山虹が丘 62.千里山東 63.千里山星が丘 64.千里山松が丘	70.清水 71.尺谷 72.新芦屋上 73.新芦屋下 74.千里丘上 75.千里丘北 76.千里丘下 77.千里丘中 78.千里丘西	88.佐竹台 89.千里万博 公園
	た	11.高城町 12.高浜町	31.天道町 32.出口町	41.垂水町 42.豊津町	65.竹谷町		90.高野台 91.竹見台 92.津雲台
	な	13.中の島町 14.西御旅町	33.西の庄町			79.長野西 80.長野東	

	は	15.東御旅町 16.日の出町 17.平松町	34.原町 35.藤が丘町	43.広芝町 44.穂波町			93.藤白台 94.古江台
	ま	18.南正雀 19.南清和園 町 20.南高浜町 21.目俵町 22.元町		45.南金田 46.南吹田	66.円山町		95.桃山台
	や		36.山手町	47.芳野町		81.山田市場 82.山田北 83.山田西 84.山田東 85.山田南	96.山田丘

注) 江坂町は1～4丁目と5丁目地域が異なります。

問4 あなたの世帯構成を教えてください。(1つに○)

- | | |
|-------------------------|-----------------------|
| 1. ひとり暮らし | 2. 夫婦のみ (1世代世帯) |
| 3. 2世代世帯 (本人又は本人夫婦と子ども) | 4. 2世代世帯 (本人又は本人夫婦と親) |
| 5. 3世代世帯 (本人又は本人夫婦と親と子) | 6. その他 (具体的に:) |

問5 あなたが加入している健康保険は、次のうちのどれですか。(1つに○)

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 1. 全国健康保険協会 (協会けんぽ) | 2. 健康保険組合 |
| 3. 共済組合 (公務員等) | 4. 国民健康保険 (自営業等) |
| 5. 国民健康保険組合 (医師国保等) | 6. 後期高齢者医療 (75歳以上の方) |
| 7. その他 (具体的に:) | |
| 8. 加入していない | |

【40歳以上の方にお伺いします。】

問6 あなたは、介護保険の要介護認定を受けていますか。(1つに○)

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 1. 要介護認定を受けている ⇒問7へ | 2. 要介護認定を受けていない ⇒問8へ |
|---------------------|----------------------|

【問6で「1. 要介護認定を受けている」を選択した方にお伺いします。】

問7 あなたの現在の要介護度を教えてください。(1つに○)

- | | | |
|---------|---------|---------|
| 1. 要支援1 | 2. 要支援2 | 3. 要介護1 |
| 4. 要介護2 | 5. 要介護3 | 6. 要介護4 |
| 7. 要介護5 | | |

【すべての方にお伺いします。】

問8 あなたの世帯の1年間の収入について教えてください。(1つに○)

- | | | |
|-------------------|----------------|----------------|
| 1. 100万円未満 | 2. 100～200万円未満 | 3. 200～300万円未満 |
| 4. 300～400万円未満 | 5. 400～500万円未満 | 6. 500～600万円未満 |
| 7. 600～700万円未満 | 8. 700～800万円未満 | 9. 800～900万円未満 |
| 10. 900～1,000万円未満 | 11. 1,000万円以上 | 12. わからない |

問9 あなたは、医療に関する情報を何から知ることが多いですか。(3つまで○)

1. 医師	2. 歯科医師	3. 薬剤師
4. 行政機関（保健センター等）	5. インターネット	6. 雑誌や専門誌
7. 市の広報誌	8. テレビや新聞	
9. その他（具体的に：		）

《医療機関の役割分担・選定療養費について》

問10 あなたは、医療機関には役割があり、役割に応じた医療機関を受診することが望ましいことを知っていますか。(1つに○)

1. 知っている	2. 聞いたことがある	3. 知らない
----------	-------------	---------

● **医療機関の役割分担について**

医療機関には以下の3つの分類があり、それぞれの役割に応じた医療機関を受診するのが望ましいとされています。

- 一次医療機関…日常生活での軽いけがや病気の診察をはじめ、予防接種や健康診断等を行っています。主に地域の診療所が担当しています。
- 二次医療機関…入院治療が必要な、重症の患者への対応を行っています。主に地域の大きな病院や、専門の外来を持っている病院が担当しています。
- 三次医療機関…脳卒中や心筋梗塞等、二次医療機関では対応できないほどに深刻な症状の患者への対応を行っています。高度医療・先端医療を提供する病院が担当しています。

問11 あなたは、医療機関からの紹介状なしで大規模病院*を受診した場合には、通常の医療費だけでなく、初診時選定療養費が必要となることを知っていますか。(1つに○)

1. 知っている	2. 聞いたことがある	3. 知らない
----------	-------------	---------

※大規模病院…ベッドの数が200床以上ある病院のこと。

● **初診時選定療養費について**

初診時選定療養費とは、最初の診察は診療所*¹や比較的小さな病院*²で行い、高度で専門的な医療が必要な場合は大規模病院で診察を行う、という医療機関の役割の分担を進めるために定められた費用です。

診療所や比較的小さな病院からの紹介状なしで大規模病院での診察を行う場合は、健康保険による自己負担額とは別に、初診時選定療養費を自費で支払う必要があります。

※1 診療所…ベッドの数が0～19床の医療機関のこと。

※2 比較的小さな病院…ベッドの数が20～199床の医療機関のこと。

(参考)市内の主な大規模病院(一般病床 200 床以上)の初診時選定療養費(令和 2 年 7 月現在)

医療機関	初診時選定療養費	医療機関	初診時選定療養費
国立循環器病研究センター	11,000 円	大阪府済生会千里病院	5,500 円
大阪大学医学部附属病院	5,500 円	市立吹田市民病院	3,000 円
大阪府済生会吹田病院	5,500 円	吹田徳洲会病院	1,650 円

問 12 医療機関からの紹介状なしで大規模病院を受診した場合には、通常の医療費だけでなく、初診時選定療養費が必要となります(救急搬送等を除く)が、この仕組みをふまえた上で、あなたが病気になった時の行動について教えてください。

(1つに○)

1. 初診時選定療養費を払い、大規模病院を受診する	⇒問 13 へ
2. 場合によっては、初診時選定療養費を払い大規模病院を受診する	
3. 診療所、比較的小さな病院を受診する	⇒問 14 へ
4. その他(具体的に:)	

【問 12 で選択肢 1 または 2 を選択した方にお伺いします。】

問 13 初診時選定療養費を払い、大規模病院を受診する理由について教えてください。

(あてはまるものすべてに○)

1. 自宅や職場から近い	2. 高度な機器で検査してくれる
3. たくさんの診療科がそろっている	4. 自分の病歴や健康状態をよく知っている
5. 大きな病院の方が安心する	6. 交通の便がよい
7. いつでも診てくれる	8. 医師やスタッフの対応が好意的である
9. 前から継続的に診てもらっている	10. 特に理由はない
11. その他(具体的に:)	

《かかりつけ医について》

● かかりつけ医とは？

かかりつけ医とは、「なんでも相談できる上、最新の医療情報を熟知して、必要な時には専門医、専門医療機関を紹介でき、身近で頼りになる地域医療、保健、福祉を担う総合的な能力を有する医師」※とされています。普段は、体調に関する相談をしながら軽いけがや病気を診てもらい、必要と判断した場合に大病院や専門の医療機関を紹介してもらうといった関わり方が考えられます。

※日本医師会・四病院団体協議会「医療提供体制のあり方」より

問 14 あなたは、かかりつけ医という仕組みを知っていましたか。(1つに○)

1. 知っていた 2. 聞いたことがある 3. 知らなかった

問 15 あなたには、かかりつけ医がいますか。(1つに○)

1. いる ⇒問 16 へ 2. いない ⇒問 19 へ 3. わからない ⇒問 19 へ

【問 15で「1. いる」を選択した方にお伺いします。】

問 16 あなたのかかりつけ医は、どちらの医療機関におられますか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|-----------------------|------------------|----------|
| 1. 市内の診療所 | 2. 井上病院 | ⇒ 問 17 |
| 3. 大和病院 | 4. 協和会病院 | |
| 5. 北摂三木病院 | 6. 皐月病院 | |
| 7. 榎坂病院 | 8. 甲聖会記念病院 | |
| 9. 市立吹田市民病院 | 10. 大阪府済生会吹田病院 | ⇒ 問 18 へ |
| 11. 大阪府済生会千里病院 | 12. 国立循環器病研究センター | |
| 13. 大阪大学医学部附属病院 | 14. 吹田徳洲会病院 | |
| 15. その他 (具体的に: _____) | | |

【問 16で選択肢1～8を選択した方にお伺いします。】

問 17 その医療機関の医師をかかりつけ医としている理由について教えてください。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------------|---------------------------|
| 1. 自宅や職場から近い | 2. 必要時には、専門医や医療機関を紹介してくれる |
| 3. どんな病気の相談でもものってくれる | 4. 自分の病歴や健康状態をよく知っている |
| 5. 待ち時間が少ない | 6. 交通の便がよい |
| 7. いつでも診てくれる | 8. 医師やスタッフの対応が好意的である |
| 9. 前から継続的に診てもらっている | 10. 病気の予防や介護の相談にもものってくれる |
| 11. 特に理由はない | |
| 12. その他 (具体的に: _____) | |

【問 16で選択肢9～15を選択した方にお伺いします。】

問 18 その医療機関の医師をかかりつけ医としている理由について教えてください。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 1. 自宅や職場から近い | 2. 高度な機器で検査してくれる |
| 3. たくさんの診療科がそろっている | 4. 自分の病歴や健康状態をよく知っている |
| 5. 大きな病院の方が安心する | 6. 交通の便がよい |
| 7. いつでも診てくれる | 8. 医師やスタッフの対応が好意的である |
| 9. 前から継続的に診てもらっている | 10. 特に理由はない |
| 11. その他 (具体的に: _____) | |

【問 15で「2. いない」または「3. わからない」を選択した方にお伺いします。】

問 19 あなたがかかりつけ医をもたない理由を教えてください。

(あてはまるものすべてに○)

1. 医療機関に行く機会があまりない
2. 近くに適当な医師、医療機関がない
3. かかりつけ医をもつメリットがわからない
4. かかりつけ医が必要だと思うが、どこに問い合わせたらよいかわからない
5. 症状によって医療機関を選んでいる
6. 特に理由はない
7. その他 (具体的に: _____)

《かかりつけ歯科医について》

【すべての方にお伺いします。】

問 20 あなたには、かかりつけ歯科医がいますか。(1つに○)

1. いる ⇒問 21 へ
2. いない ⇒問 22 へ

【問 20で「1. いる」を選択した方にお伺いします。】

問 21 かかりつけ歯科医をもった理由について教えてください。

(あてはまるものすべてに○)

1. 自宅や職場から近い
2. 評判がよい
3. 治療方法等について、丁寧に説明してくれる
4. 必要に応じて適切な医療機関を紹介してくれる
5. 予防のための指導やアドバイスをくれる
6. 何でも相談できる
7. 自分の病気や健康状態をよく知っている
8. その他 (具体的に: _____)

《かかりつけ薬局・ジェネリック医薬品について》

● かかりつけ薬局とは？

かかりつけ薬局とは、自分の体質や病状にあった薬の服用についてアドバイスしたり、相談にのってくれる身近な薬局のことです。

薬の服用状況を正確に把握してもらい、適切なアドバイスを受けるために、病院でもらった処方箋は常に一つのかかりつけ薬局に提出することが望ましいとされています。

【すべての方にお伺いします。】

問 22 あなたは、薬をもらう薬局（かかりつけ薬局）を決めていますか。（1つに○）

1. 決めている（1か所） ⇒問 24 へ 2. 決めていない ⇒問 23 へ

【問 22 で「2. 決めていない」を選択した方にお伺いします。】

問 23 あなたがかかりつけ薬局を決めていない理由について教えてください。
（あてはまるものすべてに○）

1. 健康なので、薬局に行くことがない
2. かかった医療機関の近くの薬局に行く方が便利
3. 営業時間など、その時の都合にあった薬局へ行く
4. かかりつけ薬局を決める必要性がわからない
5. 院内で薬を処方される
6. その他（具体的に： _____）

【すべての方にお伺いします。】

問 24 あなたは、お薬手帳（電子お薬手帳含む）を持ち、活用していますか。（1つに○）

1. お薬手帳を持っており、活用している 2. お薬手帳を持っているが、活用していない
3. お薬手帳を持っていない 4. お薬手帳を知らない

● お薬手帳の利用方法について

お薬手帳とは、自分が使っている薬の名前や服用量、服用法などを記録できる手帳です。服用（使用）している薬の種類を把握しやすくすることで、飲み合わせによる副作用のリスクを減らしたり、過去の服用状況を医師や薬剤師に正確に伝えることができます。

＜お薬手帳の使い方＞

- ・お薬手帳は一冊にまとめましょう。
- ・医療機関や薬局へ行くときは、必ず持参するようにしましょう。
- ・市販の薬やサプリメントを買うときにも使えます。
- ・過去にアレルギーや副作用があった場合は、必ず記録するようにしましょう。

● 電子お薬手帳について

電子お薬手帳とは、電子お薬手帳は、みなさまのお手持ちのスマートフォンなどに、お薬の情報を保管し、紙のお薬手帳と同様に活用するために作られたものです。電子版ですので、情報をクラウドに保管し、万一の災害など、さまざまなシーンでの利用も期待されています。スマートフォンと連携していますので、飲み忘れ防止アラーム機能を装備するなど、紙のお薬手帳には無い機能も提供されています。

※日本薬剤師会・eお薬手帳ホームページより

問 25 あなたは、ジェネリック医薬品（後発医薬品）について知っていますか。

（1つに○）

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

● ジェネリック医薬品について

ジェネリック医薬品とは、これまで使われてきたお薬（先発医薬品）の特許が切れた後に、有効性・安全性が同等のものとして製造販売される低価格のお薬です。

問 26 あなたは、ジェネリック医薬品の使用を希望しますか。（1つに○）

- | | |
|------------------------------------|---------|
| 1. 現在ジェネリック医薬品を使用しており、今後も使用を希望する | ⇒問 28 へ |
| 2. 現在ジェネリック医薬品を使用していないが、今後は使用を希望する | ⇒問 28 へ |
| 3. 現在ジェネリック医薬品を使用しているが、今後は使用を希望しない | ⇒問 27 へ |
| 4. 現在ジェネリック医薬品を使用しておらず、今後も使用を希望しない | ⇒問 27 へ |
| 5. わからない | ⇒問 28 へ |

【問 26 で選択肢 3 または 4 を選んだ方にお伺いします。】

問 27 あなたがジェネリック医薬品を希望しない理由について教えてください。

（あてはまるものすべてに○）

- | |
|-------------------------------|
| 1. これまで服用していた薬を変更することへの不安が大きい |
| 2. これまで服用していた薬の方が効果が高いと思う |
| 3. ジェネリック医薬品は安く、信用できない |
| 4. ジェネリック医薬品の使用をすすめられたことがない |
| 5. 病院を受診する機会があまりない |
| 6. その他（具体的に： _____） |

《在宅医療について》

● 在宅医療とは？

在宅医療とは、医療機関に通うことが難しい患者のために、医師や訪問看護師などが居宅等（自宅など）で提供する医療のことをいいます。

【すべての方にお伺いします。】

問 28 あなたは、在宅医療について知っていましたか。（1つに○）

- | | |
|----------|-----------|
| 1. 知っていた | 2. 知らなかった |
|----------|-----------|

問 29 あなたが長期の治療・療養が必要となった場合、自宅での療養を希望しますか。また、それは可能だと思いますか。(1つに○)

- | | |
|--------------------------|---------|
| 1. 自宅での療養を希望し、その実現は可能である | ⇒問 31 へ |
| 2. 自宅での療養を希望するが、その実現は難しい | ⇒問 30 へ |
| 3. 自宅での療養を希望しない | ⇒問 30 へ |
| 4. 現在、自宅で療養をしている | ⇒問 31 へ |

【問 29 で選択肢 2 または 3 を選んだ方にお伺いします。】

問 30 自宅での療養の実現が難しい、あるいは自宅での療養を希望しない理由について教えてください。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|--|
| 1. ひとり暮らし、あるいは介護できる家族がいないため |
| 2. 家族がいるが、負担をかけたくないため |
| 3. 療養のための環境（居室や浴室のバリアフリー等）が整っていないため |
| 4. 経済的な負担がどれほどになるかわからず、不安が大きいため |
| 5. 緊急時の医療体制に不安があるため（入院をさせてもらえるのかわからないなど） |
| 6. 自宅での療養について、情報が少なく、想像出来ないため |
| 7. 訪問介護の体制やサービスが不十分であるため |
| 8. その他（具体的に： _____） |

【すべての方にお伺いします。】

問 31 人生の最期はどこで迎えたいですか。(1つに○)

- | | |
|--|-----------|
| 1. 自宅 | ⇒問 32 へ |
| 2. 安否確認等のサービスが受けられる住まい
(サービス付き高齢者向け住宅・有料老人ホーム《健康型・住宅型》) | } ⇒問 33 へ |
| 3. 24 時間介護サービス等が受けられる住まい
(有料老人ホーム《介護型》、特別養護老人ホーム) | |
| 4. 病院 | |
| 5. その他（具体的に： _____） | |

● サービス付き高齢者向け住宅とは？

サービス付き高齢者向け住宅とは、住宅としての居室の広さや設備、バリアフリー等の条件を備えるとともに、安否確認や生活相談サービスを提供する高齢者向けの住宅です。

● 有料老人ホームとは？

有料老人ホームとは、入所することで高齢者向けの様々なサービスを受けることが可能となる施設です。主に、健康な方を対象とした健康型・介護の可能性のある方を対象とした住宅型・実際に介護が必要な方を対象とした介護型の三種類があります。

● 特別養護老人ホームとは？

特別養護老人ホームとは、常に介護が必要で、自宅での介護が困難な方が入所する施設です。24 時間体制で介護サービスを受けることができ、有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅と比べて経済的な負担が小さいといった特徴があります。

【問31で「1. 自宅」を選んだ方にお伺いします。】

問32 自宅を選んだ理由について教えてください。(あてはまるものすべてに○)

1. 住み慣れた場所で最期を迎えたいから
2. 家族に看取られたいから
3. 家族との時間を多くしたいから
4. 病院・施設等で最期を迎えるのは経済的な負担が大きいから
5. 医療を過剰に受けたくないから
6. その他(具体的に:)

【すべての方にお伺いします。】

問33 家族の人生の最期はどこで迎えさせてあげたいですか。(1つに○)

1. 自宅
2. 安否確認等のサービスが受けられる住まい
(サービス付き高齢者向け住宅・有料老人ホーム《健康型・住宅型》)
3. 24時間介護サービス等が受けられる住まい(有料老人ホーム《介護型》、特別養護老人ホーム)
4. 病院
5. その他(具体的に:)

問34 あなたは、人生の最期をどこで迎えたいかについて、家族と会話することはありますか。(1つに○)

1. よくある ⇒問36へ 2. たまにある ⇒問36へ 3. 話したことがない ⇒問35へ

【問34で「3. 話したことがない」を選んだ方にお伺いします。】

問35 話したことがない理由について教えてください。(あてはまるものすべてに○)

1. 死に関する話は話しづらい
2. 終末医療や看護、看取りのことがわからない
3. 自分の最期を考えたことがない
4. 家族との会話自体が少ない、あるいは家族がいない
5. その他(具体的に:)

【すべての方にお伺いします。】

問36 あなたは、人生会議(ACP アドバンス・ケア・プランニング)という取り組みを知っていますか。(1つに○)

1. 知っている 2. 聞いたことがある 3. 知らない

● 人生会議(ACP アドバンス・ケア・プランニング)とは?

人生会議とは、もしものときのために、あなたが望む医療やケアについて前もって考え、家族等や医療・ケアチームと繰り返し話し合い、共有する取り組みのことです。

※厚生労働省ホームページ「人生会議」してみませんか より

《救急医療について》

【すべての方にお伺いします。】

問 37 市内の救急対応医療機関以外の救急として、次の相談・受診先の内、知っているものを教えてください。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------------------|-------------------------|
| 1. 救急安心センターおおさか（#7119） | 2. 小児救急電話相談（#8000） |
| 3. 大阪府救急医療情報センター | 4. 豊能広域こども急病センター（小児科） |
| 5. 大阪府中央急病診療所（眼科・耳鼻科・内科・小児科） | 6. 大阪府歯科医師会館（休日・緊急歯科診療） |
| | 7. いずれも知らない |

【問 37で選択肢1～6を選択した方にお伺いします。】

問 38 問37の○をした相談・受診先はどこで知ったか教えてください。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------|---------------|
| 1. インターネットの検索から直接 | 2. 吹田市のホームページ |
| 3. 大阪府のホームページ | 4. 市報すいた |
| 5. 医療機関等の掲示物・ポスター | 6. 周囲の人の情報から |
| 7. 覚えていない | |

《医療の充実について》

問 39 市内で特に充実してほしい医療について教えてください。(3つまで○)

- | | |
|--------------------|----------------------|
| 1. 在宅医療について | 2. 終末期医療について |
| 3. 小児医療について | 4. 産科・周産期医療について |
| 5. 救急医療について | 6. 休日・夜間の医療について |
| 7. 重い病気や難病等の診察について | 8. リハビリテーション医療について |
| 9. 精神科医療について | 10. 病院等の相談室・地域連携について |
| 11. 特にない | |

問 40 吹田市の医療施策にご意見等がございましたら、自由に記入してください。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

回答漏れが無いが、もう一度ご確認ください。

確認後は返信用封筒に入れて、11月23日（月）までにポストへ投函くださいますよう、お願いいたします。(切手は不要です)

医療に関する市民アンケート調査
【調査報告書】

発行 吹田市保健所 保健医療室
〒564-0072 大阪府吹田市出口町 19-3
電話 06-6339-2225 FAX 06-6339-2058

発行年月 令和3年（2021年）3月
